協同組合

金沢問屋センター

完成３０周年

記念ＣＤ

⇒

30
Trial for new century.
ing
[イング]

（協）金沢問屋センター設立30周年記念マーク
30周年を祝し、金沢問屋センターのシンボルマークを基本にアレンジデザインされたもの。
力強く翼を広げて飛ぶ鳥を表わし、今日の金沢問屋センターをデザイン化した。

金沢流通会館は私たちの躍動の証。

[金沢流通会館]

kanazawa toiya center amenity

大ホール・パルス
（1階・350坪）

小ホール
（2階・121坪）

役員会議室
（3階・44席）

研修室（視聴覚室）
（4階・112席）

談話室
（4階・28席）

和室
（4階・27畳敷）

⇒

街ができ、人が集まり、金沢駅西センターという大きな輪ができた。
その輪はゆっくりと、しかし大きく回りはじめた。
激しく、ときに緩やかに、大きな輪はとどまることなく走り続ける。
世界を目指してただひたすらに突き進む。
でも、ここらでホッとひと息つくのも悪くない。
こんな身近に、こんな素敵なアートが待っているのだから。

TOIYAお宝ギャラリー

kanazawa toiya center amenity

タイトル
「和」

●作者／小川基次郎　（元理事長）
金沢流通会館・応接室

タイトル
「朱への誘い」
●作者／高光一生（陶芸家）金沢流通会館ホワイエ・陶板

タイトル「さやぐ・おどる」
●作者／由水十久（友禅作家）大ホールバルステージ緞帳

名だたる作家の作品がこの街にある。高光一也、高光一生親子の作品が、中町博志の友禅が、
そして由水十久の緞帳が、この街に残されている。

タイトル
「婦人座像」
●作者／高光一也（画家）
金沢高通会館・役員会議室

タイトル
「赤い屋根の見える風景」
●作者／高光一也（画家）
金沢高通会館・応接室

タイトル
「海」
●作者／中町博志（友禅作家）
金沢高通会館ホワイエ

タイトル
「山」
●作者／中町博志（友禅作家）
金沢高通会館ホワイエ

⇒

CONTENTS

1 9 9 7 [イング] ing OCTOBER

金沢流通会館…… ２
TOIYAお宝ギャラリー…… ４
30周年を迎えて…… １０
祝辞…… １１
歩み篇／Sw-ing…… １７
[座談会/１]30年の足跡をたどる…… １８
躍動篇／Runn-ing…… ２５
年表●昭和３８～４２年…… ２６
●昭和４３～４７年…… ２８
●昭和４８～５１年…… ３０
●昭和５２年以降…… ３２
未来篇／W-ing…… ５３
[座談会/２]未来に向かって …… ５４
30周年特別委員会活動…… ６４
資料篇…… ６７
●協同組合金沢問屋センター組織図…… ６８
●組合役員…… ６９
●歴代役員在任一覧…… ７０
●物故組合員…… ７３
あとがき…… ７５

※30周年の歩みは左表紙から、
メンバーズプロフィールは右表紙からご覧下さい。

Cover

透きとおる球体は
ピュアで無垢な成長を求める我々の精神。
大海原は我々を生み育てた金沢問屋センターを示す。
我々は完成３０周年の節目を迎え、
未来の金沢問屋センターがますますその輝きを増すよう、
組合員一丸となって前進することを誓う。

かくて、未来は創られる。

豊かな創造力と最新のテクノロジー導入が企業の明暗を分ける今日。
金沢問屋センターの誕生から三〇年、今こそ我々が集った意義を思い起こし、
互いの関わりをより一層強化すべき時ではないだろうか。
他では描きにくい夢の構築や新たな創造も、ここでなら可能であるかもしれないことを、いま一度確認し、
今回の節目を、ともに相互共生の道を拓いて未来を探るための一歩と位置づけたい。

30周年を迎えて

協同組合金沢問屋センター理事長

宗廣満夫

Mitsuo Munehiro

私ども、協同組合金沢問屋センターは、お陰様で完成30周年を迎えることとなりました。これもひとえに組合員の皆様のご協力と国・県・市をはじめ関係各位の強力なご支援ご指導の賜物と心より感謝申し上げます。

顧みますと昭和37年3月、金沢駅前、武蔵ヶ辻を中心とする卸問屋の有志が集まり、集団移転を計画し、金沢駅西地区に新天地を求めて集団移転をすることとなり、昭和38年、通産省から全国初の集団化事業の指定を受け、同年10月21日に120社で創立総会を行い、昭和42年10月14日には101社で完成式を挙行、その後、3度にわたる補完事業を実施して、この間、様々な経済環境の変化に見舞われましたが、現在は137の組合員が北陸を中心に活動をし、今日に至っております。

今、流通構造の変革の中で私ども卸売業は、大きな岐路に立っております。時代の変化とともに、流通の流れの中での卸売業の役割と位置付けが変わりつつあります。

昨年、来るべき21世紀に向けての新しい方向性や在り方を模索し、研究するために、30周年特別委員会を発足し、現在、勉強中であります。これまでの事業をここで再検討し、これからの進むべき道を考えていくべき時期のようであります。今こそ、30年前に先輩の皆様がこの地にやってきて、集団化を行った頃の初心にかえり、新たなる次の時代を切り開いていかねばなりません。

この30周年をひとつの節目とし、組合が、そして組合員の皆様が新しく生まれ変わり、未来を創り上げるためのスタートのときとして、さらなる飛躍を期するところであります。今後とも皆様のご協力とご指導ご鞭達を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

祝　辞

集団化事業の根幹である共同化の力を十分に発揮され、一層その社会的使命を果たされることを期待します。

中小企業庁長官

林　康夫

Yasuo Hayashi

この度、協同組合金沢問屋センターが完成30周年を迎えられましたことに対し、心からお祝いを申し上げます。

顧みますと、貴組合は、経営の近代化・合理化を目指した集団化構想の下、組合員企業の経営基盤を強化し、さらには北陸地域経済の発展に寄与するため、昭和38年に設立、昭和42年に貴センターが完成されました。

以来、貴組合におかれましては、各種事業を積極的に推進されるとともに、流通の合理化を積極的に推進され、石川県内はもとより北陸地域の一大流通拠点として、経済発展に大きく寄与されました。

ここに、宗廣満夫理事長を始め関係各位のご努力に対しまして、改めて敬意を表する次第であります。

さて、御高承のとおり、中小企業をめぐる景況は、我が国経済が緩やかな回復の動きを続けている中、依然厳しい状況にありますが、最近の景況感、生産指数の動きなどには持ち直しの動きもみられております。

しかしながら、我が国の流通の中で重要な役割を担う卸売業は、近年における流通構造の変化、商慣行の見直し、情報化の急速な進展等、大きな変革期に直面しており、依然として厳しい状況にあります。

こうした認識のもとに、一昨年５月には、産業構造審議会・中小企業政策審議会合同会議の中間答申として「我が国流通の現状と課題（21世紀に向けた流通ビジョン）」が出されたところですが、今後の中小卸売業政策のあり方として、水平的・垂直的連携の強化、異業種連携の推進、卸売機能の革新などに対し、積極的に取組む卸売業者の方々を支援する必要性が示されたところであります。

中小企業庁といたしましても、地域の中小卸売業の担う役割の大きさにかんがみ、意欲のある中小卸売業者が、厳しい環境変化に対応しつつ、更なる発展を遂げるために、高度化事業の円滑な運用に努めるとともに「中小企業流通業務効率化促進法」を柱とした物流効率化対策を推進するなど、各般の支援策を着実に展開してまいる所存であります。

最後に、貴組合及び組合員の皆様方が、今般の貴センター完成30周年を新たな契機として、集団化事業の根幹である共同化の力を十分に発揮され、一層その社会的使命を果たされることを期待するとともに、貴組合及び組合員の皆様方の益々の御発展を祈念いたしまして、私のお祝いの言葉とさせていただきます。

今日の流通基盤の礎が築けたのは、
皆さんのご尽力の賜物であると認識しています。

中小企業事業団理事長

木下博生

Hiroo Kinoshita

このたび、協同組合金沢問屋センターにおかれましては、団地完成30周年の輝かしい年を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。

顧みますと、貴組合の皆様方は、金沢市の中心部の過密化に伴って店舗・倉庫の狭隘化、交通事情の悪化や駐車場の確保難などの卸売業の発展に障害となる様々の問題を解決し、経営の合理化・近代化を実現するために、昭和38年に協同組合を設立されて以来、周到な計画の下に団地建設を進められ、昭和42年に卸商業団地を立派に完成されました。

そして今般の記念すべき日を迎えられるまでの間に、数次にわたる団地の拡張を行って組合員の増加や金沢流通会館を初めとする共同施設の充実を図られるなど、組合員各位の固い団結とたゆまぬ努力により貴団地は順調に成長・発展を遂げられ、北陸地域を代表する流通拠点として確固たる地位を築かれるに至り、地域経済に大きな貢献をされていると承知いたしております。

これもひとえに、宗廣理事長を初め、歴代の理事長やその他の組合役員並びに組合員、従業員の方々のこれまでの御努力・御尽力の賜物と、深く敬意を表する次第であります。

さて御高承のとおり、最近の我が国経済は、設備投資の増加などによって、引き続き緩やかな回復傾向が続くとの観測がなされておりますが、中小卸売業に従事する大部分の方々にとっては、依然として厳しい経営状況にあるのが実態ではないかと思われます。

また構造的にも、現在、中小卸売業は、消費者ニーズの著しい変化、取引先小売店の減少、流通経路の短縮化などの流通変革の時代に直面しており、非常に困難な環境に置かれております。

このような厳しい状況下におきましては、中小卸売業の皆様が、経営戦略の明確化、商品政策の強化、積極的な業態開発等に努められ、併せて各種の共同事業に積極的に参加されて、より経営の効率化に取り組まれることが、この変革の時代を乗り越える有力な方法ではないかと確信いたしております。

また私ども事業団といたしましても、中小卸売業の果たしている社会的経済的重要性に鑑み、今後とも高度化事業の成果が十分に発揮できるよう積極的に協力させていただく所存であります。

終わりに当たり、貴組合の皆様が、団地完成30周年を契機として団結を更に強固なものとし、名実ともに他の卸商業団地の模範となられるよう期待するとともに、貴組合並びに組合員の方々、さらに関係各位の一層の御発展を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

伝統も最初は革新の連続から。
30年の日々は、県史に残る大きな足跡。

石川県知事

谷本正憲

Masanori Tanimoto

協同組合金沢問屋センターの完成30周年記念誌が発刊されるにあたり一言お祝いを申し上げます。

貴センターは、昭和42年10月に全国に先駆けて、卸団地として101社の加盟により発足されて以来、30年間、第2次オイルショックによる経済不況など幾多の苦難を乗り越えられながら、3度にわたる拡張、再整備事業を実施され、常に本県の商業流通の安定に寄与されてこられました。

その結果、現在では約140社を擁する全国有数の卸団地に成長され、本県はもとより北陸における物流の中枢基地としての重責を果たされているところであり、これもひとえに、歴代理事長をはじめとする、役職員及び組合員の方々のご尽力の賜であり、ここに深く敬意を表する次第であります。

中小卸売業を取り巻く環境は、近年の流通構造の急激な変化に伴い、情報ネットワーク化や高度物流センターによる効率的卸売業の集積、顧客の利便性を追求した新たな業態集積等が求められております。

このような状況下、貴センターにおかれましては、他に先駆けて、卸売業の情報化や物流効率化を目指した共同物流システムの研究、また、国際交流による仕入れルートの開拓や会員企業の新業態の開発など先進的な取り組みを積極的に実施されております。

また、平成9年度においては、卸団地の将来の在り方や活性化策などのビジョン作りを積極的に推進されているとのことであり、今後の成果を大いに期待しております。

最後に、この記念すべき30周年を新たな契機として、貴センターがさらに結束を固められ、益々発展されますとともに、組合員の皆様の一層のご活躍を祈念いたします。

完成に導いたそのすばらしい先見性と卓越した団結力、行動力に対し、深く敬意を表します。

金沢市長

山出　保

Tamotsu Yamade

協同組合金沢問屋センターがこのたび完成30周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

また、この「完成30周年記念誌」は先達の功績を知り、今後の活動の道標となる大変貴重な資料であり、その発刊を誠に喜ばしく思います。

振り返りますと、皆様方におかれましては、昭和38年に協同組合を設立し、全国にさきがけて集団化事業に取り組まれ、42年に完成をみて以来、事業の拡大に合わせた団地の拡張、再整備を重ねてこられました。また、販路の拡張、近代化の研究、各種研修等、時宜に即して様々な事業を展開され、30周年を迎えられる今日では、北陸の流通拠点として大きな役割を担っております。

集団化事業に取り組まれた当時は、全国でも同様の事例がなく、事業の推進には数々の困難も伴ったことと存じます。しかし、万難を排し、団地を完成に導きましたそのすばらしい先見性と卓越した団結力、行動力に対しまして、深く敬意を表します。

更に、今日までの様々な事業を展開されております歴代役員の皆様をはじめ組合員のたゆまぬご努力に対し、改めて敬意を表しますとともに、本市産業の振興発展に対しますご功績に心から感謝いたします。

さて、最近の流通業界を取り巻く環境は、消費者ニーズの多様化、大型店や新業態店の伸展等による小売業界の変化、流通主導権の消費者サイドへのシフト、流通システムの変化等厳しい状況が続いております。

卸売業界におきましても、こうした状況に対応するため、リテールサポート・商品企画機能の強化、販売チャネルの拡大、情報化の推進、物流の共同化・効率化といった小売業、製造業も視野に入れた取り組みが求められております。

皆様方におかれましては、今後とも北陸における業界の先導役として英知を結集し、こうした課題に取り組まれますとともに、本市産業の振興発展にご尽力賜りますようご期待申し上げます。

最後になりましたが、この30周年という節目の年を契機とし、協同組合金沢問屋センターが更なる飛躍を遂げられますとともに、組合員各位の益々のご繁栄をご祈念いたしまして、お祝いのご挨拶といたします。

30周年の偉大な節目を契機に、英知を結集し、来たる21世紀へさらなる挑戦を続けられんことを。

金沢商工会議所会頭

宮　太郎

Tarou Miya

協同組合金沢問屋センターが完成30周年を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。

思い起こしますと、同センターの建設された昭和40年代初頭は、日本経済が高度成長期から安定成長期へと一大転換を果たした激動の時代であります。その時期に、流通機構の変革に対応するため、また今日のモータリゼーションの進展を予見されて、敢えて将来発展のための土地を求め駅西地域へ集結されたその英断と行動力に対し、まずもって心から敬意を表する次第であります。また、商業団地の建設は当時、全国的に見ても前例のない事業であり、ご関係各位のご苦労はいかばかりかと推察するところであります。

早いもので、その後すでに30年の歳月が流れ、わが国経済は、円高の進展、産業構造の歪み、国際競争の激化など、取り巻く環境の急激な変化にもよく耐え、力強い生命力で成長を続けてまいりました。

この間、貴センターにおかれては、組合員企業の経営の近代化はもとより、総合見本市の開催、第2団地の建設、海外先進地の研究等の事業を積極的に推進され、特に、昭和59年4月には金沢流通会館を建設、平成2年8月にはVAN推進のための㈱ヴァンガード金沢を設立されるなど、流通業界に対する時代の要請に的確に応えるための諸事業を実行され、今日まで会員企業の成長と地域経済の振興に多大な貢献をしてこられました。また、貴センターが今日、全国有数の問屋センターとして発展を遂げられ、団地としての信用を高めておられますことはご同慶にたえないところであり、これもひとえに献身的に事業に取り組んで来られた歴代の理事長様をはじめ役員・組合員の皆様方のご努力とご精進の賜物と深く敬意を表する次第であります。

現在、わが国は非常に長期におよんだ平成不況のトンネルから抜け出したところでありますが、いまだ産業の空洞化という危機的状況に直面し、また雇用の安定や高齢化社会への対応といった火急の課題もあって、経営環境は良好とは言い難いものがあります。しかし、このような中においても私ども企業は、そのもてる力を遺憾なく発揮して、わが国経済の閉塞感を払拭し、明るい経済展望を切り開くために努力を続けてまいらねばなりません。

どうか、貴センターにおかれては、この30周年という偉大な節目を契機に、組合員各位の英知を結集してより一層の繁栄を目指し、来る21世紀へ向けたさらなる挑戦を続けられ、地域経済の発展のためにご尽力頂きたいと期待をするものであります。

最後になりましたが、貴センターおよび組合員企業の皆様方の今後ますますのご発展を心からお祈り申し上げまして、お祝いの言葉にかえさせていただきます。

過去、幾多の困難を乗り越えてきた北陸経済。
その中枢を担って来た我々への期待は今も大きい。

全国卸商業団地協同組合連合会 会長

伊藤　學

Manabu Itou

この度、協同組合金沢問屋センターが団地完成30周年を迎えられるに当り、全国卸商業団地協同組合連合会を代表して心からお祝いを申し上げます。

顧みますと貴センターは、市内に散在する中小卸売業者が直面する店舗・倉庫の狭隘化、駐車難等の諸問題を解消するとともに組合員企業の経営基盤強化を図り、流通を通じて地域経済発展に寄与するため他団地に先駆け店舗等集団化事業の第1号指定団地として昭和38年集団化計画に着手され、昭和42年に完成を見られました。

爾来、30年の永きにわたり幾多の困難を克服し、金沢流通会館(組合会館)、共同駐車場等の共同施設の設置はもとより、共同金融事業、高速道路別納事業、情報化促進事業、福利厚生事業等各種共同事業を積極的に推進し、文字通り北陸地区の一大流通拠点として今日の隆盛を見られましたことは、誠にご同慶に堪えません。

これはひとえに、歴代理事長をはじめとする組合役職員並びに組合員の皆様の強固な団結と努力のたまものと深甚の敬意を表します。

とくに、山田藤太郎氏は商団連初代会長として、また小川甚次郎氏は永年副会長として全国の卸団地発展にご尽力いただくとともに現宗廣理事長は商団連理事として本連合会の事業推進にご協力いただき厚く感謝申し上げます。

ご高承のとおり、今日卸売業を取り巻く経営環境は、消費の伸び悩みによる売上げ不振、人件費・物流費等のコストの上昇に加え、大手小売業等による卸の選別化、ディスカウントストア等の新業態小売業の急激な進出、高速交通網・高度情報化に伴う流通機構そのものの短絡化等、流通変革の波は卸売業の存立基盤そのものを大きく揺るがせており、かつて例を見ない程卸売業の合理化・近代化が強く要求されております。

一方、卸団地も、団地の狭隘化・施設の老朽化等、団地開設時とは大きな様変わりを見せており、卸団地が地域流通の要として発展するためには、ハード・ソフト両面にわたる団地の再整備が急務の課題となっております。

貴センターにおかれましては、この30年を一つの節目として、ますます結束を固められ、より一層の発展に努められんことを祈念して私のお祝いの言葉といたします。

それは、彼のひとことから始まった。

Swing

疾風怒濤の草創期から切磋琢磨の成長期と、紆余曲折を経ながらも、金沢問屋センターがひとつの運命共同体ともいえる共通目的をもつ組織へと歩んできた過程は、時計の振子のように右へ左へと大きく振れる、その揺れの歴史ではなかっただろうか。

⇒

座　談　会

困難を切り拓くパイオニア精神と人間的ふれあいを次代へ伝えたい。

Round-table discussion

金沢問屋センター30年の足跡をたどる

理事長　宗廣満夫／Mitsuo Munehiro
副理事長　高桑健治／Kenji Takakuwa
前理事長　越原哲郎／Tetsurou koshihara
前相談役理事　荒木　登／Noboru Araki
相談役理事　川上嘉一／Kaichi Kawakami
参　与　金子哲夫／Tetsuo Kaneko
司　会　若林智雄／Tomoo Wakabayashi
(順不同)

わかばやし ともお
1938年生まれ。㈱寿商会社長
金沢問屋センター理事

司会　本日はお忙しい中、30周年誌の座談会にご出席いただき、誠にありがとうございます。「十年のあゆみ」以来の座談会になりますが、今日は30年の記録としていろいろなお話をお聞きできればと思っておりますので、よろしくお願いいたします。金沢問屋センターは商業団地としては全国初のスタートであり、昭和38年に準備委員会が設立されましたが、そのあたりの経緯からお願いしたいと思います。

荒木　当時私は三十代で、設立発起人世話人会に選出され、その後すぐに小川甚次郎さんが建設委員長で私が副委員長になり、団地造成の建設・配列の決定やいろんなことをさせられました。その前から高田さんや吉野さん、小川さん、山田さんなどと仲良くさせていただいていて、一番若いものだから何かあると引っ張りだされたものです。その中で一番鮮明に記憶しているのが、当時七ツ屋のガード下にお寺があってそれを移転するのに大変な思いをしたことです。お寺の前の道は車１、２台がやっと交差するぐらいの広さしかなく、これを移転させたかったけれど檀家の方々のご了解を得ないと動かせないという。それも海外に行ってしまっている方も何人かいて、１年ぐらいかかって檀家全員を回って話をしたんです。これには往生しました。

越原　この団地は我々が発起して創ったというのではなく中小企業庁から県の方へ創ってみないかと打診があり、はじめは受け身だったんです。繊維の組合の方が主体になり非常に力を入れられ、高田甚造さんが委員長になって努力されたわけです。当初、団地の候補地は今の野々市、鶴来、松任の付近だったのが、県の土地公社に任せてあったら結局現在地になり、皆落胆した。というのは将来発展するのは西、南だというのに北へ行ってどうするんや、ということなんです。38年の暮れに現在地に決まって土地の坪数など具体的な話が出た矢先に集団脱退が起こった。当時は資金委員といったんですが初代資金委員だった方も脱退組で、その時は高田さんから山田さんに理事長が交替していた。120社申込があったのが結局30社ぐらいになってしまったんです。

高桑　田んぼの真ん中に作ったものだからあそこへ行くと倒産するという噂が出た。だから本当に心から信じ切っていける人だけが集まったので、適当にやってだめなら元に戻ってもいいな、という人は集団で引き揚げたと私は思っています。

司会　財務のほうではいかがでしょうか。

越原　資金面からみると、敷地を埋め立てて全部埋まる予定で出発したのがガラッと変わったから、吉野さんが主力になってあらゆる面の面倒をみていた。もし埋まらなかったら住宅公団に買い上げてもらおうかというところまでいったんです。

荒木　場所の問題と土質が悪かったので、トラック何千、何万台分の土を突っ込んだんです。倒産するという噂が出たのは、皆それくらい心配だったのだろうと思います。先の話が収まり、いよいよ人数も確定して場所の配置を決めることになり委員長と副委員長で当たるわけですが、これが大変。2人で何日かかりましたかね。まず繊維の人を集めて右と左に分けないといけない。それが決まっても今度は百貨の方が決まらない。誰も隅っこへ行きたくない、みんな表通りに出たいんですから。本当にひどい目に遇いましたよ。私の所は完成第一号なんですが一番最初に入られたのは若林さん。ところが水が出ない。亡くなられた社長にお聞きすると、尾張町からバケツや一升瓶に水を入れて持ってこられた。私の所はとてもそんなことはできないので、水がきれいになるのを待って来たんです。

越原　資金面で一番問題だったのは助成額をどれだけもらえるかです。その書類をもってまず県へ助成をお願いにいき、今度は県が本庁へお願いにいくのですが、こちらからお願いするという立場で非常にやっかいだった。で、誰が使うんだという話が出たけれど、結局第一共同倉庫を田んぼの真ん中に建てたんです。

川上　私の参加は集団脱退があった頃に小川甚次郎さんから声が掛かり、それに乗ったんです。ですから本当の始まりのことは初めてお聞きしますが、どうやってこれだけの土地を決めたのですか。

金子　昭和38年に決まったんですが、先に挙がっていた東南の候補地は金沢市でないものだから上水道が引けない。それじゃ金沢市にということで今の第二合同庁舎のところが候補地に挙がったんです。この辺りの農協のリーダーで橋場さんという方がお偉方で、当時の農協の信連の会長と吉野さんが個人的に親しかったこともあり、決まったんです。当時田んぼの値段が坪3,000円。ところがどうしても売らないという人がいて4,000円出した。新神田の方は1,000円高くて、それは払えないということでここにしたんです。

越原　三分の一助成で土地の値段にも制限があり、中小企業庁の指導で坪3,000円が上限だったんです。それまで積立てはしていたけれど、一番の問題は団地が整備でき、道路や汚水処理場、側溝・排水施設もでき、土地割りができ、いよいよいくらで土地を分けるかという時になって８万坪のうち道路・会館用地などを除くと金になる土地は４万何千坪で、それを全工事費用で割ると１社当たり20,000円近くになる。しかし吉野さんは15,000円で分けるといってある。しかし私としては資金を預かっていて原価を割って赤字を出すことはできない。それで積んだり崩したりしていたけれど、強引に15,000円にしたんです。

こしはら てつろう
1916年生まれ。㈱コシハラ 会長
金沢問屋センター前理事長

金子　吉野さんがなぜ越原さんにそういうことを言ったかというと、結果的に土地が余ったんです。150～160社で満パイになるところを100社で出発しているので、一番金沢寄りの道路が約１万坪まったく余ってしまった、これは助成の対象にならないんです。だから抱えておいて、将来増えてくるだろうからその時に高く売って補填しようという考え方だったんです。

越原　それは聞いていましたが将来のことで、その時点では将来のことを言っても始まらない。しかし最終的には15,000円に決まった。それが頭に残っているんです。だから大変な赤字で、組合が引っくり返るかもしれないというので加入金を取ろうということになったんです。

司会　当初100%の予定が60%でのスタートとなったことも含めて、事務局として一番ご苦労された金子さんからその間の経緯を。

金子　吉野さんという人は割と大雑把な計算をするけれど当たっている。最初から土地を余分に買うんだと盛んに言っていたんです。というのはここは田んぼの真ん中で値段は坪3,000円、そのうちたくさん寄ってくれば増えるに決まっていると。だけど赤字の組合でなぜ１万坪も余分な土地があるのかと県や国にずいぶん痛めつけられました。結局将来のためであり自分のところで始末するなら仕方ないということになったんです。先ほど荒木さんが言われたように水道が来ていないのは、市でも問屋団地がどんなものかという認識がまったくなく、何度市へ陳情にいってもなかなか付けてくれなかったんです。昭和36年度には工場集団化の制度ができましたが、その頃はまだ商工会議所に卸商業部会がなく、慌てて組織化し初代部会長の高田さんが初代理事長になったんです。

荒木　土地を１万坪オンして８万坪にしたのは吉野さんの大英断ですね。吉野さんという人は偉い人だと思いましたね。

川上　実際、１号店、２号店ができたときは舗装もなにもない、自動車が走ると砂塵濛々の場所ですよ。で、田んぼの真ん中でしょ。こんなところで事業が成功するのかなあとほとんどの人が思ったと思いますよ。

越原　各銀行へ資金を頼みにいくのですが、ある金融機関で「問屋センター、そんなもの問屋の墓場やないか、そんなところへ金を出せるか」といわれ、暴言を撤回してもらわないと、と当時商工会議所会頭の吉田次作さんに進言したところ、翌日謝罪にきたんです。それくらい田んぼの真ん中へ行って一体どうなるんだという雰囲気が業界の中にありました。

たかくわ けんじ
1928年生まれ。㈱キョー・エイ会長
金沢問屋センター副理事長

司会　草創期には大変なご苦労があったと思いますが、10周年までの間で何か思い出に残ることがありましたらお願いします。

高桑　当時私の親父はナショナルの販売会社の社長もしていて電気業界でリーダー的なことをやっておりまして、武蔵町の狭いところで商いをやっていたのでとにかく広いところへ変わりたいという思いだけがあったんです。それで喜んでいたのが、ある日突然「おい、健治、やめたぞ」と。電気業界は出店をやめるというお達しが出たというんです。それは困った、よそはよそ、うちはうちで何とか出たいから、最初800坪予定していたのを半分にしたらどうかといって話すと、そんなら出そうかということで、現在の表通りの400坪を買わせていただいたという思い出があります。先輩方が大変なご苦労をされたということは「十年のあゆみ」に出ていますし、その当時の方たちのご苦労を思うと、よかったな、という思いが今でもあります。

司会　では、理事長から10周年までで一言を。

宗廣　10周年記念誌ならびに先輩の皆さん方から大変ご苦労なさったということをお聞きして、もちろんこれだけの大事業を達成するということは並大抵ではないという思いでおりますが、私たち第二世代が協同化の中でどう一生懸命やっていくか、先輩方が苦労して作られたものをどう残していくかを前向きにとらえ、若者同士で話し合い、勉強を重ねてきました。小川前理事長が若手は若手で一つのグループを作っていかなければならないのではないかという話をされ、また若手にもそんな気運が出てきた。若手同士で問屋センターをどう成功させていくかを語り合い、勉強しあう時代に入ってきたのではないかと思います。

川上　大袈裟に言えば西部劇に出てくるパイオニア精神でどうなるかわからない事柄にみんなで突進してきたわけですよね。土地の値上がりというラッキーな要件も加味されてパイオニア精神は今でも残っていると思うんです。やればある程度のことはできるんだということをこの団地の創世記は語っていると思います。

宗廣　逆に苦労があればあるほど団結力は強くなってくるんじゃないでしょうか。苦労の結果できたからこそ全国の団地、商団連の皆さんが、今でも金沢がどういう方向を向いていくかを注目しているのも事実ですね。

高桑　今でも驚いているのは各社それぞれに個性ある建物を建てたことです。普通、団地というと型にはまることが多いと思うんです。それをそれぞれの企業の自由に任せたことで日本全体でも特異な問屋センターになったのだと思います。

川上　役所というのは一つの案を持っていて、それを全国均一に押しつけるという性格があるんですが、初期の指導者が一つ一つ自分の物を建てるんだという決定をなさった先見力は大したもんだと思いますね。

宗廣　それもありますが、地方問屋として、全国の地方問屋業の中でも各お店が力を持っていたということではないでしょうか。全国の問屋の中で金沢は総合で２、３位の中に入っているはずです。

越原　あの当時繊維が主体で、120社のうち60社が繊維でした。

金子　10周年の時にも言いましたが、昭和35年に「流通革命」という本が出て、繊維の組合でどうしたらいいかを模索していたところへ工場団地制度ができ、これを商業団地に適用してもらおうと中小企業庁長官に要望したんです。そうしたら面白いからおおいに前向きに考えますと。役所の人が前向きに考えるというのは何もしないということなんですが、これだけは珍しくすぐ予算がついた。それで富山、金沢、高崎、彦根の食品市場と宮崎の卸商店街組合の5つが第一号です。富山はすぐに東大の教授に聞いて連棟式にしたんですが、吉野さんはそれは駄目だと、一軒一軒土地を分譲しては建てた。ただし繊維関係は売出しの関係があるからこの道路だけは繊維関係中心で頼むということで、小川さんや丸与さんのある通りへ繊維が集まった。ここで忘れてならないのは、当時長岡市に非常に初期の融雪装置があったんですが、皆さんが融雪装置をどうしても入れないといかんとお考えになったことと市が屎尿処理場を作ってくれないので、自分のところで作るという、先達の先を見る目が凄かったことです。

荒木　今の融雪装置の件ですが、団地ができて融雪装置がないのは非常に残念だ、どうしても作らないといかんということで、当時の徳田市長が長岡市が公共特許をとって作った融雪装置で、外へは出さないというのを、公共の施設に特許があるかとわんわん言って取ってきたんです。徳田さんのやんちゃ精神が功を奏した。さすが徳田さんだなと感心しました。

金子　吉野さんが徳田さんとずいぶん親しかったということもありますね。たしか研究開発補助として市が百万円出してますよ。

司会　金沢で一番最初に融雪ができたのは問屋センターですか。

金子　そうだと思います。

司会　今のお話を聞くと改めて先達の素晴らしい前向きな発想、それと経済情勢が成長期にあったこと、また団結力は開拓者精神として脈々と流れていたことが窺われますね。それでは10周年から20周年への変化について伺いたいと思います。

宗廣　10周年から20周年というとちょうど近代化研究会のお世話をさせていただいていた時期なんです。初代は上野さんで非常に熱心な方で、周りを見なくちゃいかんという発想でアメリカ、ヨーロッパへ近代化研究会で勉強に行った。帰国後、これから若手はどう考えていくべきかと、確か3つの委員会を作って進めてきました。上野さんは2期ほど代表幹事を務められ、その後私が引き継いで共同事業をやろうと。その前から私はビジョン委員会の方をやっていまして、ガソリンと機械ガードの共同事業を、それから高速道路の共同事業をやりましょうと理事長の了解を取り、3つの事業に取り掛かりました。その高速道路事業が今も残っていますが、浜松の団地研修から帰るとさっそく行動を開始したのです。苦労したのはガソリンの方で、値段を決めても安定した価格を守れないため、組合員同士がいがみ合ってもしようがない、心の方が大事だというので取り止めました。それから将来を考えて会館建設に取り組み始めたんです。そういうことで、若手から発想した事業に取り組んだのです。

高桑　一番最初に小川理事長から上野さんと私が呼ばれ金子専務についていっていただいたのですが、とにかく大いに飲んで仲良くやれといきなり言われ、勉強せいということは言われない。凄いおとっつぁんだなと思った記憶があります。何でもいいから一杯飲んで仲良くしろといわれるとなかなかそうできないもので、何か勉強しないといけないと考えるものなんですね、人間は。今の冨木社長が２、３年労務委員長をなさった後私が担当しまして、社員の勉強会をどうしたらいいかということで上野さんと相談して強烈なトレーニングをやろうということになりました。旧会館で２泊３日の泊り込みをし、夜は内灘のお風呂屋さんへ行って食事もすべて問屋団地で取るという具合で、互いに喧々諤々、一つのテーマをあらゆる角度から見て話し合ったり、問屋団地の将来についてどう思うかを2班に別れて討議した経験が忘れられない思い出ですね。それと上野さんからアメリカの流通を勉強しないといけないという提案があり、17、18人の視察団を結成しサンフランシスコとロスを中心に、宗廣理事長がよく勉強されていたのでリーダーになっていただき大手スーパーや流通関係を視察しました。この10年間でアメリカ流になってきたことで世の中の移り変りの速さを感じている次第です。

宗廣　この団地に入って思ったのは、先輩方がうまく若い人を抱き込んでいるなということです。堅いことを言わずに小川さんなどは麻雀や温泉に誘ってくださり、その中から仕事の話も出てくるし勉強ができる。そんな印象が今でもありますね。亡くなった来馬さんの先代さんなんかいつもお正月になると20人ぐらい呼んで麻雀大会をする。みんなそれを楽しみにしてね、若い人を抱き込んでいく。森佐の亡くなった社長にしてもそうで、心の温かみのある先輩が非常に多かったですね。そういう意味では我々がもっと若い人と裸の付き合いをしなきゃならないなと思います。形だけでなく本音で語れる場所を作ってあげないといけないと感じています。

司会　ちょうど昭和56年に会館建設委員会が設置され、59年に会館が完成しましたが、あの時のお話をしていただけませんでしょうか。

宗廣　小川さんが12、13人で会館建設委員会を設定され、たまたま私が指名を受けて副理事長をしていたんです。苦労というより私には勉強になったんですが、日が経てば経つほど、具体化すればするほど、それぞれの理事に報告をするといろんな意見が出てくるんです。たとえば地下に駐車場を作ったらどうだとか夢の希望が非常に多くなってくる。その当時予算が10億円でしたか。

金子　この会館は昭和59年に完成しまして、その先に近代化の時に結構細かい計画を立てて理事会に出したら、10年ほど前ですから時期尚早だということになった。でもその基盤があったから、建設時には当時の近代化のメンバーが皆理事会の主だった役員になっていてスムーズにいった。これくらいの会館を建てるには普通は３年ぐらいかかるのが１年半でできたんです。

宗廣　ビジョン委員会の中で、今の丸西さんの隣の駐車場に、下にスーパーを入れて３、４階は会館が使うスペースに、４～６階をホテルにしたらどうだという案を私が提案したんです。その時は景気が非常に上向きで若手も勢い込んでやろうじゃないかといっていたのが景気が悪くなった。それで３、４年して景気が戻ってきて、会館が狭くなってきたというので、場所を団地の中心だろうという現在地で進めたのです。

越原　あの時は通りに面したところがいいという意見と中心がいいという意見で相当もめました。

宗廣　10億円もかけるんですから成功するかどうかは大変な問題ですよ。とりあえず理事会でやることに決定したんです。今でも忘れられないのは、オープン前日に翌日のことがどうにも気になって、小川理事長に「自分は一生懸命になってやったつもりだけれど、果たして組合員の皆さんにどういう見方をされるか、評価を受けるか心配で」というと「何言うとるんだ、人はそれぞれ思いがあっていろんなことを言うけれど、気にせんでもいい、わしがみんな引き受ける」という言葉をいただきまして、安心して眠れたんです。翌日、思ったよりもいいのになったという声を聞いてホッとした、その気持ちは今でも忘れません。ただ、先程申し上げたよ

むねひろ みつお
1934年生まれ。山和㈱社長
金沢問屋センター理事長

あらき のぼる
1924年生まれ。荒木商事㈱会長
金沢問屋センター前相談役理事

うに、それぞれ思いがあってもっとよくしてほしかったというご意見もたくさんありました。それで一番苦労したのは言葉です。組合員同士が刺のあることを言っちゃいかんというので、その当時いつも「限られた土地と限られたお金しかないんだからその中で最善を尽くします」といって突っ張りました。これも皆さんが後ろで協力してくださったおかげですし、こういうお世話をさせていただいたことが私個人にとっても非常に勉強になったと今でも感謝しています。

荒木　昭和42年に百貨同業会ができたんですが、繊維中心できているものですからすべてが繊維ベースなんですね。ところが会館ができてから百貨が増えてきた。そこで車輌体制を整えないとうまくいかないんじゃないかというので、吉野さんが百貨同業会を作れと言われ、当時私も若いので諸々考えて石黒伝六さんを引っ張りだしたんです。それで金城楼で石黒さんと私とでお金を全部もち、創立総会をしたことを覚えてます。それから何年かして、メイン道路で能登へ行くダンプとの事故がしょっちゅうあり、交通安全対策のための交通安全対策協議会を作ったんです。昭和45年に吉野省吾さんが亡くなり、いよいよ小川甚次郎さんの時代に入ってのことです。その中で感じたのは、自分が役員をしていると自分の会社では絶対に交通事故を起こしてはならないということです。それで社内でも車輌委員会や交通安全委員会を作らせて交通安全を徹底させ、非常にうまくいったことがあります。東署から荒木商事へ行って勉強してこいといわれたくらいよかったときもありました。小川さんとは金商の先輩、後輩の関係で団地へ来る前から親しくしていて、何かあると電話が掛かってくるんです。小川さん時代になって互いに言いたいことを言いましたが、第一次小川内閣が発足したときには、山田藤太郎さんという非常に人間味あふれるやり方で団地を運営されてきた方の後を引き受けたのだから、すぐに人事異動はしない方がいい、第二期に入ってから小川流の人事異動をした方がいいと提言したことがあります。

川上　この会館を建てるときはパルスの面積はもっと狭かったんですね。

宗廣　当初パルスの展示場を300坪に設定していたんですが、小川理事長がどこかのコンベンションを見ていらっしゃって、300坪じゃ狭いぞ、ぎりぎりでどれだけある、350坪ですと申し上げると、じゃそうしようということで350坪になったんです。今から考えるとその英断は大したものだと思います。

川上　まさに先見性だと思うんですよ。

宗廣　その発想からヒントを得て、２階と１階をつなぐ展示場にする方法論で現在の設計をしたんです。今考えてみると小川さんはいろんな意味で先見的に我々を見、指導していたのではないかと思います。

司会　この流通会館は問屋センターの顔であり、金沢市の流通会館というとらえ方をされている気がします。その意味では会館建設は問屋センターの歴史の大きな流れの一つになったのではないかと思います。その中でお金の面もさることながら、いろんな意見を一つにまとめて完成したわけで、事務局のご苦労も多かったでしょうね。

金子　この土地は公園だったんです。でも公園にこれ以上金を掛けることはまかりならぬというので土だけ敷いた。園遊会でちょっと使ったことがありましたが、当時の市議会議員の宇野さんに何かいい方法はないかと相談したら、運動場との交換というアドバイスがあった。こちらの目的を用途変更し、公園を外し向こうを運動公園として今もってやっているわけです。それがなかったらいくら我々がこの土地を選定してもうんといってもらえなかった。実は国の公園法に基づいた大変難しい問題があるんです。それと20周年ぐらいまでの間は好況不況が一定のパターンで来てるんです。それで好況の時に計画して、できあがると不況のどん底になっていた。この会館を建てるときはそれじゃいけないというので不況の真っ最中に建てて、出来上がって運営をはじめたら景気が良くなって意外と収入もあり、運が良かったというより先見の明があったと思います。これは大事なことです。

宗廣　私はこの会館を建てて基盤が固まるまで運営委員長をやらされたんですが、一番気になったのは運営を成功させることですね。器はできたけれどもお客さんが来るかどうかが一番大事で、我々は言いたいことを言いますが一番苦労したのは事務局ではないかと思います。横柄な態度を取るなとかあしまめに通えとか、お客さんに対してはああだこうだと我々は商売人だから言えますが、事務局が実行しなければならない。１年間夢中で過ぎ去り、事務局は本当に苦労されただろうなと思います。その１年目の苦労があって今日があろうかと思います。

司会　第二団地についてお聞かせください。

川上　第二団地を作ったとき売れなくて、小川さんは頭を抱えていたよ。

宗廣　こちらにいて第二団地を買われた方もいらっしゃいますね。

高桑　私が第一号です。

金子　あの時は運動場を中心にして周囲を買い増しした。地主の人たちは前と大体同じで一度ここへ売っているわけでして、安いからなかなかうんと言わないんです。それより、30社ぐらいが入れるようにして、いざとなったら入る人がいない。あの当時は制度上20社以上でないと助成金がつかないんです。それを集めるために菓子箱持ってお願いにいきましたが、６年以上かかって12,000坪ほど買い足したんです。

司会　川上さんの方で何か思い出はございませんか。

川上　第二団地を作って困っている最中に、ボウリング場が経営に困って団地で買ってくれないかという話が起こったんです。こっちは第二団地を持て余しているもんだから気持ちが動かない。

金子　あの頃は川上さんが財務委員長だったと思いますが、決して胡麻をするわけではないけれど、当時の川上財務委員長の最大の功績は信連からメインバンクを商工中金へ持っていったことだと思います。信連にはここを作ったときには何とも言えないご恩になりましたが、コンスタントに取引のできる金融機関はと考えると商工中金しかないだろうということになり、商工中金の方でも団地を重要視していて取引をしなくちゃならんと考えていた。本当は金融機関は他の金融機関の肩代わりを一番嫌がるんですが、スパッと変えた。たぶん２、３年かかって変えています。

司会　次に20周年から30周年に入りたいと思いますが、高桑さんいかがでしょうか。

高桑　20周年が昭和62年で、この年から経済は上り坂になり平成に入りバブルが弾けましたが、私は常々30年が大きな改革の一つの節目であると自分で感じているんです。明治から今年で130年になるんですが、これを４つに分けると平均して30～35年になり、大きな変化が表れているんです。日清・日露戦争や昭和のはじめの大恐慌、それから終戦、昭和30年頃から一つの成長時代に入ってくる。こんなことで30年が節目の時期だと感じているんです。この20年までは企業でもお互いがうまく乗れた時代だと思います。その中でバブルが弾けたという変化もありましたが、大きな構造の変化が起きていたということです。そんな中で問屋センターは140社の社長さんがまとまって活発にそれぞれの委員会活動をされた、その委員会を通じて人と人との交流が深められたと思います。時代が変化しても人と人との関係だけは何年経っても変わらない。仕事や世の中の流れは変わってきますが、節目というものは時代で仕方なく我々に与えられるものと自分で作っていく節目といろいろな節目があるんじゃないかと思うんです。そういう中でのよき時代が昭和62年から後半ですね。30年経ってみて、大きな歴史の流れの中での一つの節目だと思っております。これからは若い方が新しい問屋センターのビジョンを現実のものとし、電子メールやメディアを駆使し、21世紀を担っていっていただきたいと思います。

司会　それでは最後に、30年を問屋センターとともに歩んでこられた皆さんに、未来を担う若手の方々に一言ずつメッセージをいただければと思います。

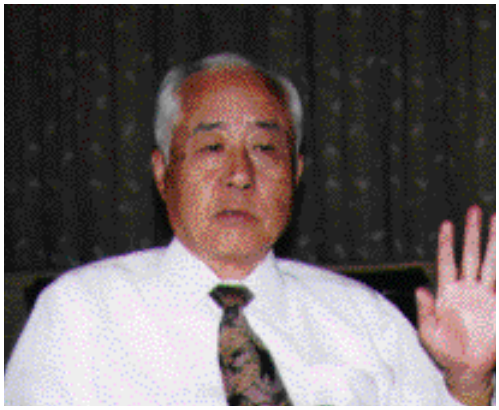
越原　高桑さんのおっしゃるとおり、今はちょうど曲がり角の時期だと思います。発展したお店は外へ出られる、逆に余りうまくいかなくて撤退される方もいる。そうすると団地自体どうなるのかという問題があります。これについては我々がどう申し上げるか難しいのですが、非常に難しいときに来ていると思います。

荒木　十年の歩みにも“多くの目による開眼政治”と書きましたが、今読んでみても同じようなことをしていますね。まさしく、みんなで努力し、みんなで育成し、みんなで運営して30年がたったんだなあという感を深くしているんです。将来に関してみんなの声を聞き、10周年を一つの契機としてみんなで発展しようじゃないかと書いてあるんですが、まさに30周年もそうで、みんなの声を聞く、理事会というのは最高の決議機関であり、協同組合は協同精神がなければいけない、ここに一本筋があって初めて前進できると思うんです。老兵は去るのみです。老兵は去らなきゃいかん。そして新らしい人によって新しいやり方をやっていくのがまさに開眼政治だと思っています。新しい問屋センターの発展を願っております。

川上　30周年経って、これからの10年間は非常に苦労の多い10年間のような気がします。というのは社会の劇的な構造変化と申しますか、皆さんも恐らく会社の構造改善に一生懸命になっていらっしゃると思いますけが、今、一番私どもが知りたいのは我々の先輩が持っていた先見性です。何かしなくちゃいけないのに先が見えない状態でみんな苦しんでいますが、冒頭に申し上げたように我々はこれだけの団地を築いてきた、そのパイオニア精神と人間的に仲良くやってきた、この二つを軸にしてまず会社の構造改善、そして団地の構造改善をやっていく。大変苦労の多い10年間になると思いますが、やればできるんだというパイオニア精神さえ持っていれば何とか生きぬいて次の40周年までいけるんじゃないかと思います。若い人に頑張ってほしいと思います。

宗廣　今3人の方がおっしゃった通り、周りの変化が余りにも速い。その一例として、ヴァンガードをつくって未来にかけて発足したわけですが、結果として思うように次の展開ができないことを取ってみても、いかに時代が速く進んでいるかということですね。その変化を受けて団地をどのようにしていくかということは是が非でもやらなくちゃいけない。そういう意味で、私は理事長になって30周年を一つの危機としてとらえていただいて、未来へこれから歩む方向をみんなで模索の中で勉強しよう、できればそれを実行に移そうと申しました。それには団地は団地だけで

かわかみ かいち
1924年生まれ。川上産業㈱社長
金沢問屋センター相談役理事



かねこ てつお
1929年生まれ。
金沢問屋センター参与

物を見る時代ではない、行政も含めて勉強しなくちゃいかん。ということは、地域も絡んだ物の見方をしていかなくてはならない時代に変わったんじゃないかなということで、東京からコンサルタントに入っていただいて、真剣に勉強をしてきた。冨木副理事長に委員長をお願いし、2つの部会の中で21世紀部会では伊藤さんが中心となり、もう一つのニューネットワーク推進部会の方を矢部さんに担当してもらい、やがて１年になろうとしています。これは金沢の団地だけの問題ではなく、全国の団地が周りの変化の中で一つの節目として方向転換しなければならない時に来ていることも事実です。金沢だけが苦しいのではなく日本のすべての団地が危機に瀕していることを考えると、別に恐れることもなければ変えていくのも我々の時代の使命だろうな、たまたまこういう時代に生まれたことを受けとめて頑張ってやらなければいけないなという気持ちで、皆さんにご協力いただき勉強し、何とか先輩のご苦労したことをつないでいきたいと、マラソンの中間ランナーの気持ちで頑張っていきたいと考えています。

金子　私はもう現役を引退した身なので将来についての発言は控えさせていただきますが、日頃思っていることで悪い話も記録に残しておかなければいけないということで少しお話したいと思います。僕らの年代の方達は何にもない敗戦の年から今日を築いてきた功績を皆さんお腹のなかに秘めていて、それを前面に出しすぎたかなと反省しているんです。その間に学校はもちろん家庭の躾もあまりよくできなかった、忙しくて家を顧みる暇がなかったために日本固有の文化がどんどんなくなってきた。それで神戸の少年による事件が起こったのではないか。そこでこれからの若い人にお願いしたいのは、間違っていたことは間違っていた、その件については申しわけないがこういう時代が来てあなた方にこんなひどい仕事を承継させた。誠に申しわけないが、ひとつよろしく頼むよということではないでしょうか。

川上　私はこの50年というのは繁栄を追い求め、着実に手に入れてきた50年だと思うんです。ところがその繁栄の裏側にウィルスがくっついていて、最近になってそのウィルスが表側へ出てきたと思うんです。我々の50年は何だったのかと思いますね。要するに繁栄というものは必ず裏側にウィルスを付けて成長していく。それが衝撃的に出たのが神戸の事件です。私は、我々はあの事件の第三者ではなく、ある意味においては加害者の一員であり、ある意味においては被害者の一員だという認識を持っています。ですから次の時代の人たちがそれをすべて退治してやっていくのは大変ご苦労で申し訳ないけれど、我々はそんなことを意識して繁栄を求めたわけじゃないが結果的にそうなったことに大きな反省を感じています。

金子　心ならずもこうなったという自分たちの負い目というか、現実に認めるものは認めて、こういう点については確かにできなかった。我々が悪かった点を率直に謝れば若い人はなるほどそうかという気になると思う。それが各界各層誰も言わない。だからしらけてしまう。今の若い人にとっては生れながらにして日本はこうなってたわけですから、古い人の苦労を考える基盤がないんです。繁栄の裏にウィルスがくっついているというのはいい言葉ですが、私は荒廃がついて回ると考えています。こういう状況を現出したことについて詫びるものは詫びて、あとは老兵の時代ではないですから、若い人たちでどう、よりよい方向へ持っていくかを考えていただく。もう一つは、それと同時に開設時代からの皆さん方のパイオニア精神を、経済環境も流通環境も難しい時期ですが、負けずに持ってほしいと思います。

荒木　個々の企業は変化に対応するためスケールメリットを求めて団地を作ったんです。ではそのスケールメリットは何だと模索しながらやってきたのですが、老兵は去って新しい人たちが新しいやり方でやっていかないと物の考え方や価値観が変わってきているのだから、やはり反省は反省、やるべきことはやるべきこととしてみんなに納得してもらってやっていくということが一番大事だと思います。それを言えない理事会であったり、何か言うとバカヤローでは進まない。みんなで言いたいことを言いあい、みんなが納得して、よし、やろうじゃないかという気持ちになればどんなことでもできるんじゃないか。パイオニア精神じゃないがみんなで頑張ればできる。将来に夢を持たないといけないと思います。

司会　ありがとうございました。先程からお話を聞かせていただいて、最初の10年はパイオニア精神でやってきた疾風怒涛の草創期、そして20周年までの切磋琢磨で着実な発展をした成長期、そしてこの30周年を一つの節目として大きな転機に立ち、いろいろなご意見をいただきながら21世紀をめざす力強い問屋センターを築き上げていきたいと思います。今日は本当にありがとうございました。

走り続けた日々がある。

Running

その歴史は、果てしない目標に向かい、一つ一つハードルを越えてきた挑戦の歴史でもある。絶え間なく変化する風の中をひたすら走り、走り続けながら世界へと視座を変え、新たなビジョンを描き続けてきた日々がある。

⇒

38年／42年

38年／日米間で初めてのテレビ中継成功。ケネディ大統領が暗殺される。ソ連初の女性宇宙飛行士テレシコワ打上げ。三井三池三川鉱で爆発事故。横浜市鶴見区で国鉄列車二重衝突。『38豪雪』。39年／中国で初の核実験、中ソの対立は激化。東京オリンピック開催。東海道新幹線もこの年10月に開通。新潟地震が発生。40年／ベトナム戦争に突入。

あ ゆ み

●37．４／石川県繊維製品卸商業組合内に団地対策委員会設置

●38．８／第１回設立発起人会を開催、104社を確認

●９／120社の設立同意者に達し、県繊維会館集会室で創立総会開催

●10／組合員全員協議会で建設用地を現在地に決定

●12／繊維同業会結成

●39．４／進入道路造成工事完成

●５／第１回通常総会開催

●６／起工式を挙行

●40．３／敷地盛土工事と整地工事完成

●４／組合員店舗第１次新築地鎮祭挙行

山田藤太郎理事長による起工式鍬入れ。
（39年6月）

問屋センターができる前の旧市街地問屋群。
上から武蔵ヶ辻付近。十間町･下堤町。
旧鍛治片原町。

取付道路建設工事風景。（39年４月）

ボーリング工事風景。

41年／中国では文化大革命と紅衛兵旋風が吹き、ミサイル核実験を成功させる。全日空機羽田沖墜落、カナダ航空機富士山上空で空中分解、墜落。県内では7月に金沢市中央卸売市場がスタート。42年／佐藤首相のベトナム訪問に反対する羽田乱闘時代が続く。東京では初の革新都知事が誕生。吉田茂元首相の国葬行われる。

あ ゆ み

●41．９／新町名が「問屋町」に決定

●11／杭打完了

●42．１／問屋町会館新築工事が完成

●２／百貨同業会結成

●５／幹線道路造成工事完成

●６／水道施設工事完成

●10／完成式挙行
完成記念石川県総合見本市を開催

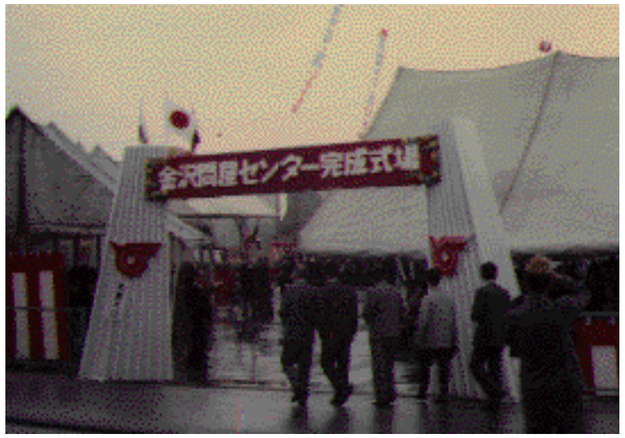
●12／融雪設備工事完成

敷地全景（41年１月）

コンクリート工事（42年２月）

杭打ち完了風景（41年11月）

第１倉庫鉄骨組



晴れやかに問屋センター完成式を祝う組合員とその従業員ら（完成式場前）。

43年／47年

43年／ニクソンが米大統領に。日本経済はGNP2位に進出、『昭和元禄』に。3億円強奪事件発生。北陸自動車道が起工。東大安田講堂の攻防。アポロ11号が人類初の月着陸に成功。金沢市街にジエット機が墜落。45年／大阪万国博覧会開催。赤軍派の学生が日航機よど号を乗っ取り北朝鮮へ。三島由紀夫が割腹。日本の人口1億人を突破。

あ ゆ み

●43．８／初の納涼盆踊り大会開催

●10／富山県民会館で第１回総合見本市開催

●11／第22回北国文化賞を受賞

●44．11／集団健康診断を実施

●45．２／吉野省吾副理事長組合葬

●３／新入社員歓迎会と社員研修会を開催

●４／求人に関する説明会を開催

●５／幹部従業員研修会を開催

●10／問屋神社奉鎮祭を挙行
３周年記念事業として問屋神社鎮座大祭、記念式典、記念特別販売大会、招待園遊会、ファッションショー、阿波踊り、自動車ショーなどを開催

●各商社従業員の運動会を開催

３周年を祝う

昭和45年10月７日、午前８時半より問屋会館で完成３周年式典を挙げ、９日までの記念フェスティバルを開幕した。

問屋会館前の特設ステージで行われた記念式典には、役員、組合員各社から約700人と中西県知事、今井県議会議長、吉田金沢商工会議所会頭、江川助役らの来賓が出席した。

また、10年以上勤続者、３年間皆勤者合わせて366人の優良従業員表彰が行われ、それに応えて小川(株)の前田秀造さんが宣誓し、風船約2,000個が青空高く放たれた。

問屋神社完成

第１回総合見本市開催

昭和43年完成１周年記念行事として販売大会、ガーデンファッションショー、写真コンテスト、自動車展示会、野田経済研究所・野田豊会長を講師とする記念講演会を開催した。

第22回北国文化賞を受賞

昭和43年11月「全国初の問屋団地を実現、北陸の流通センターの地位を固めた」との功績で、協同組合金沢問屋センターが第22回北国文化賞を受賞した。賞金は精薄児施設「希望が丘」へ寄付した。

46年／アメリカでドルショック起こる。沖縄返還決定。自衛隊機と全日空機が空中衝突。スモン訴訟。環境庁発足。47年／ニクソン大統領が訪中、訪ソ。テルアビブ空港での乱射事件。ミュンヘン五輪イスラエル選手団が襲撃。連合赤軍によるあさま山荘事件が起きる。田中内閣が発足。横井庄一さんがグアムで発見される。北陸トンネルの大火災が発生。

あ ゆ み

●46．４／ＢＧＭ施設を新設。放送開始

●５／第１回麻雀大会を開催

●８／ドルショックに伴う経済講演会を開催

●10／石川県中小企業団体中央会から優良組合として「西川記念賞」を受賞

運転資金の転貸開始に備え、金融委員会を新設

●11／第１回ボウリング大会開催

●47．10／完成５周年事業として、故吉野省吾氏顕彰碑の除幕式を挙行

５周年記念事業挙行

昭和47年、完成５周年事業として第６回総合見本市や特別販売大会のほか、塩月弥栄子さんの講演とお茶の会、大関輪島関を囲む会や化粧回しの贈呈、記念式典、ＮＨＫ解説委員長・緒方彰氏の記念講演会などが多彩に繰り広げられた。

吉野省吾氏顕彰碑完成

昭和47年、団地造成に多大な貢献をされた故吉野省吾前副理事長のご功績に対し、B公園地内に顕彰碑を建立。その跡地に昭和59年金沢流通会館が建設されるのに併い、会館前にその石碑を移築。

48年／51年

４８年／ベトナム和平協定調印。石油ショック起こる。ウォーターゲート事件発覚。県内で日本海博の開催、横綱輪島の誕生。米ソ核戦争防止協定締結。列島改造で地価高騰。４９年／ニクソン大統領辞任。韓国朴大統領狙撃事件。戦後初のマイナス成長。狂乱物価。小野田寛郎さん帰国。三菱重工爆破事件起こる。三井物産爆破事件起こる。能登海浜道が全通。

あ ゆ み

●48．１／36名が出席して近代化研究会が創立総会を開く

●７／理事会で開発委員会の設置を決める

●８／日本海博協賛フェスティバルを開催

●10／全国中小企業団体中央会から優良組合として表彰を受ける

●11／卸商業団地制度創設10周年記念式典で中小企業庁長官表彰を受ける

●49．２／団地内に居住する事業主を中心に「商和会」結成

●９／男子話し方教室、女子話し方教室を開催

●10／ＮＨＫ解説委員・家城啓一郎氏を招き「参院選後における政界」をテーマに経営者研修会を開催

●12／中西知事と語る会を開催

社員園遊会開催

昭和50年、問屋センター完成８周年を祝う社員園遊会が行われた。公園横の通りを歩行者天国とし、30数社から格安商品が提供され、好天も手伝って近隣の主婦や子供たちがつめかけ、飛ぶような売れ行きを見せた。また、「日本列島ここが真中」のＭＲＯラジオカーが駆け付け園遊会の模様が中継され、演出効果満点の社員園遊会となった。

第１回ソフトボール大会開催

昭和50年10月10日・12日の両日、金沢問屋センター初めてのソフトボール大会が行われた。25チームが参加して力一杯のプレーに汗を流し、共栄電機㈱が優勝の栄冠に輝いた。

５０年／南ベトナム降伏、サイゴン陥落。英エリザベス女王来日。完全失業者100万人突破。５１年／毛沢東主席死去。カーター大統領の登場。モントリオール五輪開催。南北ベトナム統一。国内ではロッキード事件で前首相ら逮捕。自治体汚職が相次ぎ、『汚職列島』の新語も。戦後生まれが総人口の半数を突破。兼六園の有料化、甲子園の星陵旋風も話題に。

あ ゆ み

●50．７／近代化研究会の提唱で進めてきた広報紙第１号を発刊

●10／第１回ソフトボール大会実施

●11／理事会で第２団地の地名を「問屋町３丁目」とする

●51．２／参議院議員・斉藤栄三郎氏を招き「日本経済と景気の見通し」について経営者研修会を開催

●４／近代化研究会会員15人がアメリカ流通機構を視察

●７／参議院議員・山東昭子氏を招き政治経済問題の現状について経営者研修会を開催

●９／山田藤太郎名誉理事長の合同葬を行う

広報紙第１号完成、発刊

昭和50年、近代化研究会の提唱で進めてきた問屋センターの機関紙が遂に完成、発刊された。センター完成以来８年の歳月を経、第２団地も完成し、組合員は170社を超えるまでに拡大した。そこで大所帯となった金沢問屋センターの発展のためにも、共通の連帯感を持ち続け、組合の存在意義を再確認するための手段として、発刊の運びとなったものである。

山田藤太郎名誉理事長の合同葬行われる

昭和51年9月25日、金沢問屋センター設立の功労者である名誉理事長、故山田藤太郎氏の金沢問屋センター、石織株式会社合同の告別式が執り行われた。山田氏は全国の商業団地造成を目指す11の協同組合の連絡協議会初代会長に選ばれ、持ち前の豪気と巧みな統率力で金沢問屋センターを完成に導いた。その後も意欲的に活動され、数多くの要職にも就かれ、藍綬褒章、勲五等双光旭日章を授与された。米寿を迎えられた山田氏は9月21日、眠るようにその生涯を閉じられたが、告別式には中西知事、岡市長はじめ各界の名士が参列し、生前の功績の偉大さが偲ばれた。

52年 [10周年]

昭和52年4月1日～昭和53年3月31日

西欧諸国では失業者が増加。企業倒産、負債総額も過去最高となる。200海里時代が食卓を直撃、生鮮魚介類が大幅値上げ。全国サラリーマン世帯の実質収入は6カ月実質ダウン。消費需要は落ち込んだ。ロッキード事件の後、日韓癒着問題浮上。小売業界では『ニューファミリーを狙え』が合言葉となった。宇宙戦艦ヤマト、ピンクレディが人気を博する。

あ ゆ み

- ●6.10／魚津経営労務研究所所長 魚津欣司氏を講師に迎え「環境変化に対応するための企業体質づくり」と題して経営者研修会を行った
- ●6.21／山田藤太郎前理事長の胸像を問屋町会館役員会議室に安置した
- ●10.2／金沢東別院にて物故組合員の追悼法要が遺族24名、各社代表80余名が出席して営まれた。(物故組合員24名)
- ●10.4／完成10周年記念式典が行われ、各社社員から一般募集し、新たに制定された「金沢問屋センターの歌」が披露された
- ●11.8,9／青壮年経営者及び幹部従業員による自衛隊小松航空基地、千歳戦車隊体験入隊を行った
- ●3.15,16／近代化研究会で静岡機械金属工業団地と協同組合沼津卸商社センターを視察した

●52年度

物故組合員の追悼法要行われる

秋晴れの10月２日(日)午前10時より、金沢問屋センター10周年行事の一環として、金沢東別院において、遺族24名、各社代表80余名が出席して、物故組合員の追悼法要がしめやかに営まれた。

本堂内陣の仏前には、物故者24名の遺影が飾られ、坂川栄一氏の司会により法要が始まった。まずはじめに小川理事長の、遺族ならびに参詣者への挨拶に始まり、東別院出雲路善嗣輪番導師のもとおごそかな読経に入り、小川理事長より物故者への追悼の言葉を頂戴し遺族ならびに各参詣者の焼香が行われ、その後、輪番より「今現在皆さんが元気で幸福に暮らしているのも、問屋センターおよび各社が順調に発展しているのも、故人のお蔭であることを忘れてはならない。先祖の心を大切にしていくならば、皆さんが仲良く生きていくのを故人は必ず見守ってくださいますよ」との心の法話を頂戴し、遺族一同感激ひとしおのひとときであった。

最後に遺族を代表して、石繊㈱社長山田治男氏より追悼法要のお礼の挨拶があり、その後、御堂前で遺族ならびに参詣者一同の記念撮影を行い、物故組合員追悼法要をとどこおりなく終えた。

問屋町会館役員会議室に安置された山田藤太郎前理事長の胸像

53年

昭和53年４月１日～昭和54年３月31日

米中が国交樹立、日中平和条約を締結。赤ヘルグループによる成田空港・管制塔の占拠で成田空港開港大幅に延期、日本経済は石油危機から立ち直りをみせる。一方では大企業の人員削減の動きも強まった。また有事立法問題が表面化。野球界では『江川トレード』問題も。金沢市長に江川氏が無投票当選。全国初・北陸スモン勝訴。

あ ゆ み

- ●8.1／高速道路通行料金別納制度を開始した。
- ●8.10／伊藤萬㈱社長 河村良彦氏を講師に迎え「我が社は難局にかく立ち向かう」と題して経営者研修会を行った
- ●12.1／日本光電㈱副社長 井原隆一氏を講師に迎え「ためてふやす経営哲学」と題して経営者研修会を行った
- ●3.22／金沢大学医療技術短期大学部教授 橋場裕規男氏を講師に迎え「管理職の健康管理について」と題して経営者研修会を行った

金沢問屋センター 完成10周年記念式典行われる

10月４日(火)10周年式典が、約120名の来賓のほか問屋センター関係者や加盟各社の社長並びに従業員ら800名が出席して行われ、加盟147社の団結と協調を祝福、今後の発展を力強く誓った。

国歌斉唱の後、24人の物故組合員に対し全員黙とう、故人の冥福を祈った。続いて小川理事長より式辞が述べられ、永年勤続従業員442名を表彰し、また、地域発展のために多大な貢献をされた若林保四、中嶋捨吉両氏を特別功労組合員として讃えた。続いて来賓各位から祝辞が述べられ、最後に各企業社員から一般公募した「金沢問屋センターの歌」がＭＲＯ合唱団により披露され、会場を会館２階へと移し、パーティーが行われた。

近代化研究会、自衛隊へ体験入隊

近代化研究会の若手メンバー約50名が、小松航空自衛隊基地よりＣ1輸送機に機乗(映画でよくみる落下傘部隊が乗る輸送機で、音がきく話もできない１時間であった)、一路北海道千歳航空自衛隊基地へと向かった。

千歳基地では当時の最新鋭の戦車に乗り野外訓練に参加(戦車の中は狭くて鉄カブトがゴツンゴツンと当たり、外から見るのとは大違い)。自衛隊員と一緒に二段式のベッドに宿泊、11月とあって洋服の上に着た戦闘服も何のその、朝まで寒くて眠れなかったこと、自衛隊の日常の生活に触れたことなど、今一度経験してみたい思い出多い体験入隊であった。(松村克雄記)

●53年度

恒例の納涼盆踊り大会が開かれる

７月22日、組合員企業の従業員らが多数集って開かれた恒例納涼盆踊り大会では、色とりどりの浴衣姿も艶やかな男女が幾重にも踊りの輪をつくり、夏の夜のひとときを楽しんだ。

54年

昭和54年4月1日～昭和55年3月31日

石油輸出国機構（OPEC)の相次ぐ原油値上げによる第二次石油ショックで世界がインフレに。『東京サミット』が開かれ、カーター米大統領夫妻来日。朴韓国大統領暗殺。グラマン疑惑、環境庁、郵政省、大蔵省などのカラ出張などが次々に表面化。県内では手取ダムが完成、能登島大橋が着工、金大移転が決定。甲子園での星陵対蓑島高校の延長18回が話題に。

あ ゆ み

- ●7.10～21／近代化研究会で欧州5ヵ国・6都市（ロンドン，パリ，ローマ，ミラノ，ウィーン，フランクフルト）を視察した
- ●10.13／通産省産業政策局長矢野俊比古氏を講師に迎え「80年代を迎える流通業の在り方」と題して経営者研修会を行った
- ●3.29／防衛庁統合幕僚会議事務局第5室中期班長一等陸佐工学博士　志方俊之氏を講師に迎え「日本の防衛問題について」と題して経営者研修会を行った

●54年度

近代化研究会、欧州５ヵ国を視察

近代化研究会では流通機構視察のため、欧州５ヵ国・６都市(ロンドン・パリ・ローマ・ミラノ・ウィーン・フランクフルト)を歴訪した。総勢16名により、約10日間にわたる視察となった。建設土木工事や建設機械でみると、日本の技術水準がヨーロッパをはるかに上回っているが、各国にそれだけ必要性がないこと、また経済力の問題も影響していることもあることがわかる。しかし唯一ドイツは第二次世界大戦後、壊滅的状況から復興したことを考えると、日本の感覚にもっとも近い国であり、フランクフルト周辺の高速道路網整備には目を見張るものがあった。

日本は経済力、日常生活ではヨーロッパに比べ非常に恵まれた環境ではあるが、古いものをすぐに切り捨てるのではなく、伝統を重んじ歴史を重視し、それを現代にどう生かすかを第一に考える姿勢は、これからの日本が学ばなければならない大きな課題だと身をもって学んだことが大きな成果であった。

55年

昭和55年４月１日～昭和56年３月31日

レーガン米大統領に就任。ソ連がアフガニスタンに侵攻、イラン・イラク戦争勃発。モスクワ五輪に日本は不参加。日本経済への国際的評価の高まり、対日外人投資が急増。自動車の生産台数が過去最高、日本はアメリカを抜いて世界一の自動車生産国となる。大平正芳首相が死去、鈴木内閣が誕生。県内では史上初の衆参ダブル選挙。

あ ゆ み

- ●7.27／1,150名が参加し社員と家族の親睦を図るため「ミステリー列車の旅」が行われた。目的地の敦賀に到着し、敦賀港より日本一大きいフェリーに乗船し船の旅を楽しんだ
- ●9.10／金沢経済大学教授 奥村実氏を講師に迎え「これからの流通業をどう見るか」と題して経営者研修会を行った
- ●11.21／財団法人北陸経済研究所常務理事 杉本正享氏を講師に迎え「これからの経済動向について」と題して経営者研修会を行った
- ●2.13／金沢経済大学教授 奥村実氏を講師に迎え「今後の経済動向について」と題して経営者研修会を行った
- ●2.20,21／近代化研究会で協同組合岡山県卸センターを視察した
- ●3.19／サンリット産業（株）社長 小池俊二氏を講師に迎え「我が社の経営について」と題して経営者研修会を行った

●55年度

ミステリー列車が発車

組合では、社員とその家族の親睦を図るため国鉄の援助のもと、ミステリー列車の旅を実行した。７月27日（日)、1,150名の参加者を乗せ、列車は金沢駅を出発。北陸本線を一路南下した。

午前８時、金沢駅ホームでは発車式が行われ、小林金沢駅長と小川理事長の挨拶の後、児童代表５名がテープカットをし、12両編成のミステリー列車は発車し、秘密の目的地敦賀駅に到着。その後一行は敦賀港から１万６千トンの日本一大きいフェリーに乗船し、約４時間日本海を回遊し、船の旅を楽しんだ。帰りの車中ではさまざまなお楽しみが用意され、楽しみながら友情を深め、午後７時、無事金沢駅に帰着した。

近代化研究会 岡山県卸センターを視察

近代化研究会では2月20日、21日の両日、共同事業の運営と青年部の活動について学ぶため、協同組合岡山県卸センターを視察訪問した。

うまくやれるかなぁ？電話教室

3年前から実施している新入社員の電話教室は、年毎に受講者が増え、予想をはるかに超え、140名の申込があり、この年は従来の2日間を3日間に延長し、金沢電話局の専門職員が指導に当たった。

56年

昭和56年4月1日～昭和57年3月31日

サダト・エジプト大統領暗殺、レーガン政権発足、フランス大統領にミッテラン氏、韓国大統領に全斗換氏が就任。国内では中国残留日本人孤児が来日、肉親探し始まる。敦賀原発で放射能漏出が発覚。校内暴力、銀行のオンラインを利用した犯罪多発。チャールズ皇太子とダイアナ妃が結婚。県内では56豪雪、北陸新幹線が優先着工で決定、輪島関が引退。

あ ゆ み

●会館建設特別委員会を設置し県外施設を視察

●7.24／石川県警察学校講師 増田金一氏を講師に迎え「観点を変えて物を見よう」と題して経営者研修会を行った

●9.28／㈱TKC京都計算センター センター長 山田義則氏を講師に迎え「継承者の教育をどう考える」と題して経営者研修会を行った

●2.1／生産技術研究所理事長 高橋正典氏、常務理事 長谷川森十氏を講師に迎え「地方企業の今後のあり方」と題して経営者研修会を行った

●3.30／北國新聞社論説委員長 米田満氏を講師に迎え「最近の国際情勢について」と題して経営者研修会を行った

●56年度

子供みこし練り歩く

揃いのはっぴにねじり鉢巻きでみこしを担ぐ子供たち。組合員や従業員の子供たちが百万石祭りに参加し、市内を練り歩いた。

駐車場増設

7月24日、従業員車輌の増加に伴い、その後の駐車状況も考慮して㈱永井商店裏に増設。215台を収容できるようになった。

57年

[15周年]

昭和57年４月１日～昭和58年３月31日

ブレジネフ・ソ連共産党書記長が死去。フォークランド紛争、イスラエルがレバノンに侵攻。不況深刻、失業者。反戦・反核運動で国連特別総会に100万人がデモ。日本は欧米との通商摩擦に対応するため、市場開放策を決定。中曽根内閣が誕生。参院全国区に比例代表制を導入。日航機羽田沖に墜落。県内では能登島大橋が開通、安田隆明氏が科学技術庁長官に。

あ ゆ み

●7.1／第2共同倉庫撤去し、駐車場にした（170台収容）

●10.4／完成15周年式典開催、金沢市に対して救急業務の手助けとなるよう救急車を贈呈した

●11.4／医事評論家 ドクトル・チエコ氏を講師に迎え「管理者の健康管理について」と題して、経営者研修会を行った

●3.1／金沢流通会館新築工事の地鎮祭が行われ、着工した

●57年度

完成15周年記念式典が挙行される

10月4日、金沢問屋センター完成15周年記念式典が会館ホールで行われた。式典には組合員商社の代表や来賓ら約180名が出席した。団地完成時には約100社であったのが15周年時には約10万坪の敷地に154社が集まるまでに規模が拡大した。

小川理事長は式辞の中で「団地づくりの目的であった経営の合理化と近代化はほぼどの企業も達成したものとみて、全組合員とともに喜びたい。しかし、内外の経済環境は厳しいため、卸売業としても予断を許さない。一層気を引き締め、心を新たに進みたい」と述べ、さらに翌年度には約1,320㎡のコンベンションホールをはじめ、社員教育用の研修センター、特産品常設展示場をもつ、日本海側最大の新流通会館建設を発表した。

金沢市に救急車を贈呈

完成15周年を記念し、石川県や金沢市からの日頃の指導へのお礼として、金沢市に対し、救急業務の手助けになるよう救急車１台を贈呈し、感謝にかえた。

金沢流通会館の地鎮祭執り行われる

３月１日、午前９時より金沢流通会館新築工事の地鎮祭が行われた。当日は関係者約100名が出席し、小川理事長が鍬入れを行ったあと、代表者等が玉串を奉納し、工事の無事を祈った。

58年

昭和58年4月1日～昭和59年3月31日

大韓航空機がソ連戦闘機に撃墜される。フィリピンのアキノ氏、マニラ空港で暗殺。PLO内戦でアラファト議長派敗北。OPECが原油初値下げ。3年におよぶ世界不況もアメリカの景気回復で明るい兆しが。田中元首相に懲役4年の実刑判決。日本海中部地震発生。日本初の体外受精児誕生。県内では天皇陛下をお迎えし植樹祭が行われる。県立美術館が完成。

あ ゆ み

- ●9.9／作家 戸部新十郎氏を講師に迎え「戦国武将に見る人の使い方～前田利家を中心として」と題して経営者研修会を行った
- ●9.12～14／企画委員会、事業委員会、近代化研究会の合同で先進事例として協同組合盛岡卸センター、協同組合八戸総合卸センターを視察した
- ●3.31／金沢流通会館完成

●58年度

金沢流通会館が完成

昭和58年３月から１年をかけて建設が進められていた金沢流通会館が完成した。旧会館では2階にあった展示場が狭隘化し、搬出入が困難だったため、より大型で機能的なホールと研修施設を兼ね備えた、組合のシンボルとなる新会館を建設したものである。

旧会館

新入社員研修会開催

4月12日～14日の3日間、根上町立青年の家で、28社101名の新入社員が参加して研修会が行われた。新入社員は2組に分かれ(財)修養団の講師より指導を受け、講話や正座など、充実した研修会となった。

59年

昭和59年４月１日～昭和60年３月31日

ガンジー・インド首相暗殺、アフリカでは3年続きの干ばつで食料不足が深刻化。ロス五輪はソ連諸国などのボイコットで政治的対立。全斗換・韓国大統領が初来日。グリコ・森永脅迫事件発生。紙幣が一新され肖像画に文化人トリオが。県内では内浦町のイカ釣り漁船が北朝鮮にだ捕。大手町病院の脱税、穴水町長の汚職、繊維不況による倒産相次ぐ。

あ ゆ み

- ●4.21／関係者、来賓約400名を招き金沢流通会館竣工記念式典を行った
- ●10.18／日本経済新聞流通経済部部長牧田正一路氏を講師に迎え「消費市場の現状と将来」と題して経営者研修会を行った
- ●3.15／労働省より自主的労働条件改善モデル集団の指定を受ける
- ●近代化研究会にて問屋業の在り方を再認識し、今後の経営の指針とするため「流通業界の新しい流れ」を作成し全組合員に配布した

●59年度

金沢流通会館竣工記念式典・披露パーティー開かれる

３月31日に完成した金沢流通会館の竣工式が、午前９時30分より行われ、引き続き11時より関係者、来賓約400人が出席して竣工記念式典が開かれた。

式はファンファーレと女子社員20名による「金沢問屋センターの歌」で始まり、小川理事長が「卸売業界を取り巻く環境は厳しいが、21世紀に向かっていっそうの研鑽に励み、北陸流通業界の中心として繁栄と発展を期して前進していきたい」と式辞を述べた。

正午からのパーティーでは、三廓合同による素囃子が披露され、歓談の場に花を添えた。

きものファッションコンサート開催

金沢流通会館の完成を記念して、じゅらく帯新作発表会の着物ファッションコンサートが開かれた。特別ゲストに磯村みどりを迎え、笛と鼓の音色をバックに、格調高い古典美とダイナミックで個性的な現代の着物が次々と披露された。

60年

昭和60年4月1日～昭和61年3月31日

ソ連書記長にゴルバチョフ氏。6年半ぶりに米ソ首脳会談が実現、核不戦で合意。アメリカは巨額の対日貿易赤字を抱え、対日報復措置を採択。国内では日航機が群馬県に墜落。豊田商事会長が報道陣の前で刺殺され問題に。つくば科学万博開催。県内ではインターハイが開催され、皇太子ご夫妻、礼宮さま、紀宮さまが来県。香林坊に109が完成。

あ ゆ み

●11.26／近代化研究会で兵庫県尼崎市の先進商業施設「つかしん」を視察した

●12.７／東京経済大学教授、財団法人流通政策研究所専務理事　宮下正房氏を講師に迎え「60年代情報武装型卸売業とは」と題して経営者研修会を行った

●３.25／石川労働基準局より自主的労働条件改善モデル事業の終了認定証の交付を受けた

●60年度

石川労働基準局より自主的労働条件改善モデル事業の終了認定証の交付を受けた

昭和59年度より取り組んでいた自主的労働条件改善モデル事業が終了し、76社が改善目標を達成し、3月25日、石川労働基準局より認定証の交付を受けた。

商社対抗ソフトボール大会開催される

秋晴れの空の下、恒例の商社対抗ソフトボール大会が開催された。女性ピッチャーも活躍し、打って、走って、思いっきり体を動かし、充実の一日だった。

福利厚生事業の一環として着付教室を開講している

毎週1回、流通会館4階和室で教室が開かれ、若い女性が多数受講している。

61年

昭和61年４月１日～昭和62年３月31日

チェルノブイリで原発事故が起こる。フィリピンではアキノ女史が政権獲得。レーガンとゴルバチョフによる米ソ首脳会談が行なわれたが物別れに。エイズが世界的に広がる。円が戦後最高値を記録、急激な円高に揺れる。社会党委員長に土井たか子氏、初の女性党首に。県内ではアトリオがオープン。文化功労者に高光一也氏が選ばれる。松田権六氏死去。

あ ゆ み

●10.２／近代化研究会でＹＫＫ黒部工場を視察した

●10.23／国際エコノミスト 長谷川慶太郎氏を講師に迎え「最近の国際情勢と日本経済の進路」と題して経営者研修会を行った

●12.３,４／企画委員会で活路開拓ビジョン調査事業に伴い高崎卸商社街協同組合、大阪船場繊維卸商団地協同組合、コクヨ（株）を視察した

●駐車場不足に対処するため、老朽化した共同倉庫を取り壊し駐車場を増設した

●活路開拓事業として組合情報化の現状と将来について研究、将来ビジョンをまとめて報告書を作成した

●61年度

近代化研究会でＹＫＫ黒部工場見学

近代化研究会は10月定例会として、10月２日にＹＫＫ黒部工場を見学した。

工場内にはＹＫＫの専用バス通路があり、バスの中から工場見学ができるようになっている。ここはファスナーでは世界の50%のシェアを占めているが、ネジや釘からガスケット、網戸の糸を自社内で生産、段ボール製造工場まで敷地内にあり、まさに「よい製品を作るには、原材料から厳しい品質管理が必要である。と同時に、自社内で使うものはたとえネジ１本にいたるまで内製しなくては、本当の意味での責任のもてる製品は作れない」という考え方が貫かれており、よい製品づくりの一点に集中していった結果この理想的なシステムができあがったことを知り、その徹底ぶりに一同改めて驚かされた。

62年 [20周年]

昭和62年4月1日～昭和63年3月31日

韓国の大統領に盧泰愚氏が当選。ニューヨーク株式が史上最大の暴落。国内でも株価が大暴落、円高・ドル安が進む。住宅地が1年で倍になり、地上げ屋が暗躍した商業地では2年で28倍につり上がった土地も。日本国有鉄道が分割、民営化。竹下政権が発足。53年にわたる日本の商業捕鯨の歴史に幕がおりた。金沢市公設花卉地方卸売市場の開場。

あ ゆ み

●4.4／完成20周年記念「社員と家族春ののみの市販売大会」を実施した

●8.2／完成20周年記念社員と家族親睦旅行を行い、57社412名が白馬へ行き北アルプスの街を散策した

●10. 3 ／第15回　社員園遊会

●10.25／金沢東別院にて物故組合員の追悼法要が遺族20名、各社代表60余名が出席して営まれた（物故組合員20名）

●10.28／来賓及び関係者500名を招き、完成20周年式典が行われた

●10.29／国際問題評論家 角間隆氏を講師に迎え「21世紀への生き残り戦略」と題して完成20周年記念講演会を行った

●11.7,8／近代化研究会でトヨタ自動車（株）高岡工場(豊田市)を見学した

●12.14,15／企画委員会で業界VAN運営会社である（株）プラネットを視察した

●1.27,28／近代化研究会で物流システムの先進事例として（株）リテイルサポート大阪、岡山県総合流通センター卸協同組合､天生堂㈱､岡山共和物産（株）を視察した

●2.18／企画委員会で地域VAN運営会社である(株)オリオンを視察した

●62年度

金沢問屋センター完成20周年式典挙行される

金沢問屋センター完成20周年記念式典が10月28日、金沢流通会館大ホールで行われ、奥田衆議院議員、杉山副知事、江川金沢市長、宮商工会議所会頭をはじめ多数の列席のもと、組合員、関係者500人が出席して20周年の節目を喜びあった。

式典では、物故組合員に対する黙とうのあと小川理事長が式辞を述べ、越井清太郎副理事長に中小企業庁長官表彰、宗廣満夫、荒木登、川上嘉一、高桑健治の各副理事長に中小企業事業団理事長表彰が授与された。続いて勤続20年以上の52社、277名の永年勤続優良従業員が表彰され、受彰者を代表して㈱マツモト南保弘氏より謝辞が行われた。このあと来賓各氏より祝辞をいただき、盛大に記念式典を喜びあった。

物故組合員追悼法要

金沢問屋センター20周年行事の一環として、物故組合員の追悼法要が10月25日午前10時より、金沢東別院で遺族20名、各社代表60余名が参列して営まれた。

本堂内陣の仏壇には物故者20名の遺影が飾られ、おごそかな読経に入り、小川理事長の物故者への追悼の言葉のあと、遺族ならびに各参列者の焼香が行われ、藤谷輪番導師より法話をいただいた。最後に遺族を代表して共栄電機㈱社長高桑健治氏よりお礼の挨拶があり、御堂前で記念撮影をし、物故組合員追悼法要をとどこおりなく終えた。

63年

昭和63年４月１日～平成元年３月31日

イラン・イラク戦争が国連の調停で停戦。ソ連がアフガニスタンから撤退開始、兵力50万人削減を決める。米大統領にブッシュ氏が当選。ソウル五輪開催。国内ではリクルート疑惑が噴出。天皇陛下ご重体。消費税の導入が決まる。青函トンネル、瀬戸大橋開通。県内ではオーケストラ・アンサンブル金沢が旗揚げ。北陸自動車道が全線開通となった。

あ ゆ み

●4.27／社団法人ソフト化経済センター企画調査部長 岡田康司氏を講師に迎え「ソフト化時代の企業戦略」と題して経営者研修会を行った

●10.8／第16回社員園遊会

●11.3／第１回ゴルフ大会を片山津ゴルフ倶楽部西コースて開催し33社94名が参加した

●11.14,15／近代化研究会で松下興産（株）ツイン21、コクヨ（株）、大阪船場繊維卸商協同組合を視察した

●11.23,24／企画委員会で地域流通ＶＡＮの事業具現化に向けて協同組合仙台卸商センター、南東北総合卸センター協同組合を視察した

●近代化研究会では毎月1回定例会を開催し、情報化をふまえたインテリジェントゾーンとしての街づくりについて調査研究した

20周年記念家族親睦旅行実施

団地完成20周年を記念して、社員とその家族を対象にした親睦旅行を、ＪＲ西日本の協力により企画・実施。8月2日、57社412名が参加した。

一行は朝７時９分の列車で金沢駅を出発、目的地の白馬へと向かった。現地では晴天に恵まれ、参加者は八方尾根方面、みそらのエコーランド方面、グリーンスポーツの森方面に分かれて約４時間、北アルプスの町を散策し、楽しい１日を過ごした。

第15回園遊会実施

恒例の社員園遊会が10月３日、開館前道路を歩行者天国にして賑やかに開催された。好天に誘われ近隣の主婦たちも繰り出し、近来にない人出となった。「のみの市販売大会」では団地商社38社が会館前道路とパルス内にテントを張り、格安商品の販売にあたった。

また、おなじみの模擬店や手相鑑定のほか、トライアルバイクのデモンストレーションとチビッ子ＢＴＲの妙技も披露された。

近代化研究会、トヨタ自動車㈱高岡工場(豊田市)を見学

近代化研究会は設立15周年を迎え、その記念行事として11月７日、トヨタ自動車㈱視察研修旅行を行った。総勢27名が早朝金沢駅を出発し、豊田市郊外にあるトヨタ自動車㈱高岡工場へと向かった。

到着後工場内を見学したあとトヨタ会館へ案内され、創業以来50年の歩みや車の未来を学び、体験し、特別に懇談の時間を設けていただき、質問に丁寧に答えていただいた。また厳課長より「人間の働くところ、必ず改善すべきところがある」と“トヨタイズム”の真髄を聞かせていただいた。

●63年度

第１回ゴルフ大会開催される

11月３日、あいにくの雨の中、33社94名が参加して「片山津ゴルフ倶楽部西コース」において、第１回ゴルフ大会が開催された。午前７時、ようやく小降りになったところで１組目がスタートし、日頃の腕前を競いあった。

1年

平成元年4月1日～平成2年3月31日

ベルリンの壁が崩壊。米ソがマルタで会談、冷戦体制に終止符を打つ。中国天安門で流血事件が起こる。イラン・ホメイニ氏死去。サンフランシスコでM7.1の大地震。フロン全廃の動きへ。昭和天皇が崩御、元号が平成に。2ヶ月の間に竹下、宇野、海部内閣と交代が続いた。戦後最大のスター美空ひばりが死去。テレビ金沢、エフエム石川が設立。

あ ゆ み

●5.30／政治評論家　俵孝太郎氏を講師に迎え「今後の政治・経済の行方」と題して、経営者研修会を行った

●情報武装化に対応すべく、受発注オンライン化を中心とした地域流通VAN構築の推進を図るため、２回にわたる情報化セミナー及び小売店との意見交換会を行い新会社設立に向けて調査研究した

●金沢市の街づくり構想の中で21世紀における金沢問屋センターの在り方について研究した

●平成元年度

政治評論家、俵孝太郎氏を講師に迎え、経営者研修会を行った

従業員の福利厚生として華道教室や書道教室が開講されている。

　いずれも週1回、流通会館4階和室で開かれている。

2年

平成2年４月１日～平成3年３月31日

ニューヨークで株暴落。イラクがクェートに侵攻。国連加盟国はサウジアラビアに軍隊を派遣。ソ連では中央からの離反を求める共和国が相次ぎ、連邦崩壊の危機に。東西ドイツ統一。サッチャー英首相辞任。湾岸危機に際し自衛隊海外派遣で憲法論議、協力法案が廃案に。株価が暴落、バブル経済の一角に亀裂が入る。礼宮さまご結婚、紀子さまブームが。

あ ゆ み

●5.30／NHK解説委員 岡村和夫氏を講師に迎え「激動する内外情勢」と題して経営者研修会を行った

●9.18,19／情報化特別委員会で地域流通VAN運営会社として㈱ヘリオスを視察した

●3.7,8／近代化研究会で大阪のインターナショナルマーケットプレイス、天保山ハーバービレッジ、神戸ファッションセンターを視察した

●3.13,14／物流改革推進委員会で地域中小卸売業活性化推進事業に伴い、協同組合横浜マーチャンダイジングセンターを視察した

●２年度

ＮＨＫ解説委員、岡村和夫氏を迎え、経営者研修会を行った。

[人材確保検討委員会]

人手不足の環境下での人材確保に対処するため雇用管理、雇用環境、採用活動等の改善に関し、セミナー開催、資料の提供を行い、金沢問屋センターのイメージアップ策として紹介のビデオとパンフレットを作成するとともに、働きがいのある街づくりの方向性について調査研究した。

[情報化特別委員会]

地域流通ＶＡＮ構築の推進を図るため８月２日に情報処理会社との共同運営方式による㈱ヴァンガード金沢を設立し、12月には小売店との受発注オンラインの実験稼働を開始した。

[物流改革推進委員会]

地域中小卸売業活性化推進事業として物流の効率化・高度化をテーマに当組合の組合員の現状、機能強化の具体的方向性、共同してこれを実施する場合の問題点等につき、調査研究及び基本計画策定を行い報告書を作成した。

新入社員電話教室開催

　新入社員が参加して電話のかけ方を学ぶ教室が開かれた。ＮＴＴ金沢オペレーターセンターより講師を迎え、ビジネス電話の応対、マナー、敬語の使い方など、2時間にわたって指導を受けた。

3年

平成3年4月1日～平成4年3月31日

ソ連大統領にエリツィン氏当選、ソ連邦は解体。湾岸戦争では多国籍軍がイラクに勝利。日本は湾岸戦争へ90億ドル支援。ユーゴで民族紛争激化。国連和平維持活動（PKO）協力法案不成立。宮沢政権発足。証券や金融不祥事が相次ぎ、蔵相・トップが辞任。バブル崩壊で地価が下落。エイズ感染拡大。雲仙噴火で死傷者多数。石川国体開催。百番街オープン。

あ ゆ み

●5.23／ＮＨＫ解説委員長　小浜維人氏を講師に迎え「国際情勢と政局の動向」と題して経営者研修会を行った

●8.26～28／物流改革推進委員会で地域中小卸売業活性化推進事業に伴い、（株）ナシオ札幌物流センター、協同組合石狩新港卸センター、ダイカ（株）石狩センターを視察した

●2.3,4／物流改革推進委員会で地域中小卸売業活性化推進事業に伴い、（株）菱食岡山物流事業所、協同組合広島総合卸センター、広島共和物産（株）を視察した

●3.5,6／近代化研究会で福岡・ももち地区、神戸・六甲アイランドを視察した

●3.16～18／物流改革推進委員会で地域中小卸売業活性化推進事業に伴い、神奈川流通サービス協同組合、（株）インテック横浜ビル、協同組合東京ベ・マルシェを視察した

●3年度

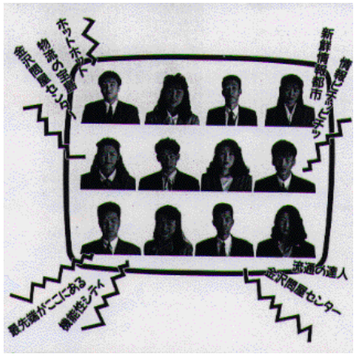
[物流改革推進委員会]

地域中小卸売業活性化推進事業として平成２年度に策定した共同情報・物流センターのマスタープランを具現化するため事業計画及びシステム設計を行い報告書を作成した。

[人材確保検討委員会]

人材確保に対処するため雇用管理、雇用環境、採用活動等の改善に関し、セミナー開催資料の提供を行い、また、金沢問屋センターのイメージアップ策として紹介のビデオとパンフレットを作成するとともにテレビCM放映を行った。

●4年度



初めて､テレビ番組の提供をする

組合のイメージアップを図る目的で、この年初めてCMを制作、4月からゴールデンタイムの「プロ野球ナイター情報」の番組提供を行った。このCMは広告代理店の㈱博報堂に制作を依頼したもので、各社の若手社員が出演し「物流の」「宝島」「金沢」「問屋」「センター」等と一言ずつ語る内容となった。

完成25周年記念 社員と家族親睦旅行を実施

団地完成25周年を記念して、厚生委員会では社員とその家族参加による親睦旅行として、ＪＲ列車を貸し切り、東京ディズニーランド旅行を実施した。69社494名が参加し、8月7日、夜8時30分、金沢駅を出発し、翌日１日たっぷりとディズニーランドを楽しんだ。

[25周年] 4年

平成4年４月１日～平成5年３月31日

米大統領にクリントン氏が当選。バルセロナ五輪開催。国内では佐川事件で政界に激震、金丸副総理が議員辞職に。またPKO協力法案が成立、カンボジアに自衛隊を派遣。ロシア大統領訪日中止。日本経済はバブル崩壊で不況一色。天皇・皇后両陛下が史上初めて中国を訪問。皇太子さまが県の国民文化祭にご出席。星稜の松井選手が巨人軍に入団へ。

盛大に団地完成25周年を祝って

金沢問屋センター完成25周年式典が10月15日、金沢流通会館大ホール・パルスにおいて多数の来賓を迎え、組合員・関係者280名あまりが出席して開催された。

越原副理事長の式辞の後、宗廣副理事長に中小企業庁長官表彰、八田・冨木両副理事長に中小企業事業団理事長表彰が行われた。また、永年勤続優良従業員の表彰も行われ、37社128名の受彰者を代表し、㈱湯浅惣兵衛本店の小倉捷さんより謝辞が述べられた。

続いて大島中部通商産業局部長、北川中小企業事業団理事、杉本石川県出納長山出金沢市長、安田石川県中小企業団体中央会会長、中村金沢商工会議所副会頭、三井商団連会長より祝辞をいただき、式典を終了した。

引き続き、隣接会場で懇親パーティーが開かれ、宇野石川県議会議員の音頭による万歳三唱で宴を閉じた。

近代化研究会発足20周年記念 ビジョン発表会ならびに記念懇親会開催

２月20日金沢ニューグランドホテルにおいて、谷本石川県副知事、山出保金沢市長、宇野邦夫石川県議会議員の来賓を招き、越原副理事長や組合役員、組合員、会員、その家族も含め、97名の出席を迎えて行われた。

第１部では近代化研究会模擬幹事会を設定し、会員８名がパネルディスカッション形式で「消費者が変わった!!～街が変わる、人が変わる」と題して討論を行い、続いて吉田一彦氏(有吉田一彦企画室社長)がスライドで概要説明をし、打田栄一ビジョン委員会委員長がビジョンをまとめ発表を行った。

第２部懇親会では、シャンパンショーやハープ＆フルートの演奏が行われ、最後に歴代代表幹事を代表して宗廣満夫氏の中締めで宴を終えた。

[物流改革推進委員会]

共同物流システム事業を現実のものとするため事業化までの整備事項の対応状況や問題点、並びに物流コスト算定方法について検討を行い報告書を作成した。

〔人材確保検討委員会〕

平成２年度より３年間の継続事業の最終年度として、従来の各社改善策に加え、金沢問屋センターのイメージアップ策として年間を通じテレビＣＭを中心とした公告戦略の展開と、組合紹介のビデオやガイドブックを制作し学校に配布、側面から組合員企業採用活動の援助を行った。

あ ゆ み

●5.25／政治評論家 三宅久之氏を講師に迎え「ズバリ直言～内外情勢を語る」と題して経営者研修会を行った

●7.１／中日本卸商業団地厚生年金基金が設立される

●はじめてＴＶ番組提供

●8.７～９／完成25周年記念「社員と家族親睦旅行」として69社494名で東京ディズニーランドへ行った

●10.　3／第20回社員園遊会開催

●10.15／完成25周年式典が関係者・来賓約280名を招き行われた

●2.７／小川甚次郎前理事長の㈶金沢問屋センター、㈶加賀染振興協会及び小川㈱の合同葬が金沢東別院本堂で営まれた

●2.20／近代化研究会発足20周年記念ビジョン発表会並びに記念懇親会が行われた

5年

平成5年4月1日～平成6年3月31日

イスラエルとパレスチナ解放機構(PLO)が歴史的和平調印。極地的に民族・宗教紛争が続く。ロシアのエリツィン大統領が砲撃で反対派を一掃。カンボジアで総選挙が行なわれる。国内では自民一党支配が崩壊、細川連立政権が誕生。ゼネコン汚職で金丸氏を逮捕。北海道奥尻島で大地震が発生。皇太子さまが小和田雅子さんとご結婚。Jリーグがスタート。

あ ゆ み

- ●4.28／第1回合同企業説明会を開催し、約200名の学生が参加した
- ●5.28／（株）現代科学研究所所長 飛岡健氏を講師に迎え「日本の未来大予測～急激に変わりつつある社会と日本のビジネス」と題して経営者研修会を行った
- ●11.4／小川甚次郎前理事長の顕彰碑建立除幕式
- ●3.11,12／近代化研究会で本田技研工業（株）鈴鹿工場を見学した
- ●3.18／ＮＨＫ解説主幹 藤田太寅氏を講師に迎え「出口さぐる日本経済」と題して経営者研修会を行った

●5年度

小川甚次郎前理事長の顕彰碑建立除幕式行う

平成5年１月28日逝去された小川甚次郎前理事長の偉大な功績を称え、またいつまでも感謝と我々組合員の励みとして後世に伝えるため、組合員の総意により11月４日、顕彰碑の除幕式が執り行われた。

この顕彰碑は石柱・陶板張りで、陶芸家高光一生氏の指導のもと、金沢美術工芸大学田村一博氏との共作で、石柱のなかには氏の旧友であった高光一也氏の婦人レリーフがはめこまれている。床面は氏の好きな緑色を基調とした陶板で、向かい側に設置されている金沢問屋センターの生みの親である丸与商事㈱創業者、吉野省吾氏顕彰碑と対照をなしている。

第１回企業説明会を開催、約200名の学生が参加

4月28日、「個性派企業合同研究会」と銘打った合同企業説明会を開催した。当日は188名の学生が参加し、各ブースごとに面談を行い、参加者は熱心に話を聞いていた。

[物流改革推進委員会]

共同物流システム事業についての研究成果を現実のものとするため輸送業者の施設、ノウハウの利用方法を全組合員へ提案した。

6年

平成6年４月１日～平成7年３月31日

北朝鮮の金日成主席死去。ルワンダでフツ族とツチ族の内戦が発生、ツチ族50万人が虐殺。ボスニア内戦でNATO軍が空爆開始。南アフリカでマンデラ氏が大統領に、アパルトヘイト政策に終止符。村山政権誕生。新進党結成される。ドル100円の大台を突破、国内産業の空洞化が懸念される。いじめ苦に自殺が相次ぐ。大江健三郎氏にノーベル文学賞。

あ ゆ み

- ●12.２／近代化研究会で上越ウィングマーケットセンターを視察した
- ●英会話教室開催
- ●21世紀へむけての団地活性化の基盤となる道路整備網、具体的には国道8号線南新保交差点の渋滞解消と問屋団地東口交差点より対岸の松寺町へ団地より直線となる橋梁架設及びそれに続く東山・内灘線に至るまでの道路建設要望書を関係当局へ提出した
- ●情報物流委員会が共同物流システム事業の第1ステップである集荷配送サービスの実施方法を全組合員へ提案した

●6年度

新しいテレビCMを制作、放映される

前年度のものに変わり新しいCMが制作され「ジャイアンツ戦ナイター情報」を中心に放映された。

これは新入社員歓迎式前のわずかな時間にロケしたもので、参加者が一勢にジャンプし、躍動感を表わしている。

福利厚生の一環として囲碁教室を開講

毎週1回、流通会館4階和室で開かれており、同好の士が集い、楽しいひとときを過ごしている。

商社対抗ボウリング大会を開催

マンボウ金沢店で商社対抗ボウリング大会が開かれ、心地よい響きとともに参加者の歓声があがった。

7年

平成7年4月1日～平成8年3月31日

シラク仏政権が南太平洋で核実験を強行。米・ベトナムに国交樹立。ミャンマーのスーチー女史が6年ぶりに軟禁解除。韓国では全斗煥、盧泰愚の元大統領を逮捕。阪神大震災が発生、未曾有の大惨事に。地下鉄サリン事件発生。米リーグで野茂選手が大活躍。県内では星稜高校が甲子園で北陸で初の準優勝。松任市にユニー、ジャスコが相次ぎオープン。

あ ゆ み

- ●９.22,23／近代化研究会でパワーシティ四日市、マイカル桑名、つるみはなぽーとブロッサム、プラント２を視察した
- ●２.17,18／第1回スキーツアーを実施し妙高杉ノ原スキー場、新赤倉温泉スキー場へ82名が参加した
- ●２.21／（株）インサイダー 社長 高野孟氏を講師に迎え「これからの国際情勢と日本の課題」と題して経営者研修会を行った
- ●３．４ ／インターネットのデモンストレーション開始
- ●３.13／企画・事業委員会、情報物流委員会でマルチメディア関連施設として通信・放送機構　奈良リサーチセンター、財団法人新世代通信網利用高度化協会を視察した
- ●30周年特別委員会が発足
- ●今年度より３年間短時間労働者雇用管理改善等事業を実施
- ●共同物流システム事業の第１ステップである集荷配送サービスの実施について物流事情実態調査、組合員倉庫見学会を通じてその可能性を追求、また、マルチメディア関連施設の視察研修を実施

●７年度

第1回スキー大会開催

第１回スキーツアーが妙高杉の原スキー場、新赤倉温泉スキー場で行われ、82名が参加した。

経営者研究会

㈱インサイダー社長 高野猛氏を講師に迎え、経営者研修会を行なった。

インターネットのデモンストレーション開始

インターネットという言葉は通信の世界では重要なキーワードの一つではあるが、知名度に比べてその実体は明確ではなく、パソコンを持っていない人にとっては皆目見当のつかないものであることが多い。しかし実体を知らなくても手軽にインターネットを楽しむことは可能で、インターネットによってどんな情報を得られるのか、どんな活用の仕方があるのかよりも、まずどんなものか知りたい人や積極的に活用したい人のため、金沢問屋センター3階ロビーにパソコンが設置され、誰でもインターネットの世界を体験することができるようになった。

8年

平成8年４月１日～平成9年３月31日

ペルーの日本大使公邸を左翼ゲリラ組織が襲撃。アトランタオリンピック開催。英国では狂牛病が猛威を振るう。国内では厚生省福祉汚職で前次官ら逮捕、また薬害エイズ、住専問題など官僚腐敗。橋本政権誕生。病原性大腸菌O‐157発生、カイワレ騒動起きる。県内では珠洲で海づくり大会開催、天皇皇后両陛下をお迎えした。セ･MVPに松井秀樹選手。

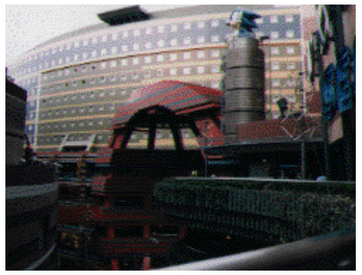
あ ゆ み

- ●11.14,15／近代化研究会で街づくりの先進事例としてキャナルシティ博多、ホークスタウンを視察した

●８年度

近代化研究会、キャナルシティ博多、ホークスタウンを視察

近代化研究会では、先進商業施設の事例として複合大型施設の「キャナルシティ博多」を。また、街づくりの事例として「ホークスタウン」へ行き、視察研修を行った。



動きはじめた30周年特別委員会

[ニューネットワーク推進部会]

今後必要不可欠となる社内及び組合員間の情報通信ネットワークの基盤構築と運用方法などについて研究、有志により電子メール使用開始。

[21世紀部会]

21世紀に向けて当組合のあるべき姿について調査研究した。

9年 [30周年]

平成9年4月1日～

ペルーの日本大使公邸人質事件が解決したが改めて日本の危機管理の在り方が問題に。イギリス労働党の勝利。ブレア首相誕生。米大統領クリントン氏再選。ダイアナ元皇太子妃交通事故死。マザー・テレサ死亡。

あ ゆ み

●4.2　／平成9年度新入社員歓迎式が行われる

●4.3　／新入社員電話教室開催

●4.8～11／根上町立青年の家で新入社員研修会行われる

●5.7　／第30回商社対抗野球大会開催

●5.12　／30周年特別委員会ニューネットワーク推進部会が「初心者のためのパソコン教室」を 開催

●8.9　／「完成30周年記念」社員と家族親睦旅行実施。東京ディズニーランド へ

●8.29～9.7／近代化研究会米国流通視察

●9.23　／第23回商社対抗ソフトボール大会実施

●9年度

パソコン教室開催

30周年特別委員会ニューネットワーク推進部会により開かれたパソコン教室は、パソコンにさわったこともないという組合員企業の方に勉強していただく機会を設けたもので、140名を超える申し込みがあった。

近代化研究会米国流通視察

近代化研究会では、８月29日から９月７日にかけて米国流通視察を行った。ニューヨーク、シカゴ、ミネアポリス、ロサンゼルスの４都市を訪問し、日本の10年先を進んでいるといわれる国の様々な店舗や業態を見学し、「街づくり」と「流通」という観点から学んだ。

輝ける未来に向かって。

Wing

世紀末から21世紀へと未知の世界へはばたく翼のように、若手の台頭、ニューメディア対応など、新たな活動を開始した金沢問屋センター。およそ140社に能らんだ加盟各社の目指す先は、水平線の彼方に、どんな姿で待ち受けているのだろうか。

【座談会】

未来に向かって

(株)アイネックス　社長　伊藤　淳蔵
荒木商事(株)　社長　荒木　徹
石繊(株)　社長　山田　治作
小川(株)　社長　小川甚次郎
冨木医療器(株)　社長　冨木　昭光
フィドニー(株)　社長　矢部　嶺男
北陸通信工業(株)　社長　辰川　伸一
(株)堀川商店　社長　堀川　善昭
(株)マツモト　社長　岡本　輝明
(株)丸一商店　社長　黒梅　吉英
山和(株)　社長　宗廣　満夫(理事長)
社名50音順
司会 (株)東山商会　会長　道上　明

みちがみ　あきら／1935年生まれ。金沢問屋センター副理事長。21世紀部会委員

見るべきは消費者 企業二極化の中で将来を探れ

夢とか希望とか 期待感ばかりのビジョンより 喜びの実感があってこそ ビジョンではないかと 常々思っています

冨木　昭光／Terumitsu Tomiki

司会　本日は宗廣理事長はじめ副理事長、30周年特別委員会の委員の方々にお集まりいただき、21世紀を目前に夢のあるお話をいただければと思っております。この30年間、先輩の方々がさまざまな困難に前向きに立ち向かい問題を解決され、しかも、これだけの数の企業をまとめ結束力を深め、良き伝統をつくってこられました。しかもこの10年の流通業界の変化は非常に激しいものがありました。我々は今後、金沢問屋センターをどんな姿に再構築していけばよいのか、皆さん、いろいろとお考えがあると思いますので、将来につなげていけるようなお話を伺えればと思っております。

宗廣　先輩たちの努力で築かれた問屋センターの心は今も変わっていないと思います。しかし好むと好まざるとにかかわらず環境が大きく変わりました。流通構造変革というか、川下の変化が流通業界にもたらす影響を考えると、受け継いできたものがそのまま21世紀にも継続されていくだろうか、この大きな節目にチャンネル替えをしなければならない。問屋センター、組合員、地域の活性化のためにしなければならないことを、私は3つの視点でとらえ取り組んでいかなくてはならないと考えています。

司会　昨年3月につくられた30周年特別委員会の委員長を務めておられる冨木副理事長さんは、今までいろんな研究会などをされご苦労なさっていますが、今どんなお考えをお持ちなのかをお伺いしたいと思います。

冨木　私は今を戦国時代と明治維新が一緒に来たようなものだととらえています。過去の栄光は栄光であって、これからもっと激変が起こり、過去の延長でないということは皆さんよくわかっていらっしゃると思う。そういう意味で今後どうあるべきかを本当に真剣に考えなくてはなりません。協同組合という団体としての立場と個人・企業としての立場でのものの考え方がある。川上へいくのか川下にいくのかは各企業の考え方ですが協同組合としてどうあるべきなのか。問屋センターには大きく分けて繊維と百貨があり、繊維は共通項がありますが百貨の場合は1社1様で最大公約数の絞り込みが難しい。1つは問屋センターとしての最大公約数が何か、次にグループとしての最大公約数は何か、そして個人・企業としての3つのとらえかたがあります。市場では国内、アジア圏などで考え方もいろいろですが、自分なりの変わったやり方をやらないとゴーストタウンになる。人さえ集まればそれでいいわけでもない。つまるところは各企業が変わらないとだめなんであって、相対としてどうとらえるかは浅学非才の身、私としても皆さんのご意見を伺いたいと思っています。2点目は単なる従来の踏襲で終わっていいのか、どういうデザインの下にどういう行動をせねばならんのかです。私は夢とか希望といった期待感ばかりのビジョンより喜びの実感があってこそビジョンではないかと常々思っています。

司会　30周年特別委員会の中の21世紀部会の部会長をしていらっしゃる伊藤副理事長さんには、昨年の組合員を対象とした意識調査では、これほど厳しい状況の中でも非常に前向きで拡大志向が強いという結果が出ていますが、その点も踏まえてお話をいただきたいと思います。

伊藤　調査は「このままでいいのか！」という意識の向上が第一の目的でした。30年前にここに皆さんが集まってこられたという存在価値が現在の発展を生んだと思う。しかしこれからは集まったという存在価値だけでは絶対に発展はあり得ない。今後の問屋センターの存在価値の追求を何に求めるかと考えたとき、最近、ＮＴＴがコンピュータのバックアップセンターを有楽町に持っていった上、さらに万一に備えて辰口にも建設予定があると聞きました。問屋センターもそういう意味で各企業を対象としたバックアップ機能を事業として起こしたらどうか。もしそれができれば問屋センターの存在価値の1つになります。

とみき　てるみつ／1929年生まれ。金沢問屋センター副理事長。30周年特別委員会委員長

できるか、できないかではなく、やるか、やらないか それだけの事です

堀川　善昭／Yoshiaki Horikawa

ほりかわ　よしあき／1942年生まれ。金沢問屋センター前副理事長。ニューネットワーク推進部会委員。

皆さんは案外、コンピュータソフトをぞんざいに扱ってらっしゃるんじゃないかと思うんですが、どうですか。神戸の震災のときに大変な被害を被ったと聞いていますが。

司会　新ソフトの関係でNTTの例が出ましたが、昨年だけでも光ファイバーで世界を結ぶとかパソコン通信、インターネットとかたくさんありました。そこでニューネットワーク部会の最初の部会長を務められた堀川さんに、パソコン教室開催も含めて将来についてのお考えをお願いします。

堀川　将来どうするかは矢部部会長にお聞き願うとし、私は30周年を迎えるにあたっての街づくりという大きな目標の中でどう対応するかという戦術の一つとしてマルチメディア化社会に対して光ファイバーを活用したインフラ整備を行うべきだと考えたわけです。次に通信を体験しよう、3000名の社員にパソコンに触ってもらう機会をつくろうと始めたのがパソコン教室です。できるかできないか、やるかやらないかだけです。全体でできなく

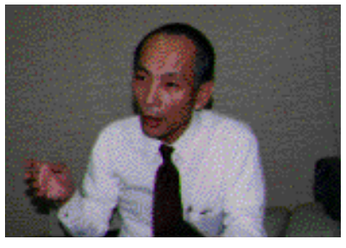
てももし1社でもあれば、その人がこの地域のリーダーになれるだろうなという希望は持っています。

矢部　将来に何が必要かを見据えたとき出てきたのが21世紀部会とニューネットワーク部会で、それぞれの部員がテーマに沿って21世紀の問屋センターのあるべき姿を描き出しつつあります。世の中はどんな業種業態にかかわらず大変大きく変化している。企業はその変化に対応・順応・適応しなければ社会から相手にされずこの世から抹殺されることは間違いありません。変化対応できる体質・体勢を各社は持たなくてはならない、卸、私の言う卸業には直販流通機能も含まれていますが、現在の組合加盟企業には卸のみの企業、逆に直接ユーザーに結び付いた企業、それが四分六、五分五分の形態の企業といろいろあります。自らが情報武装し流通革命を図りニューメディアを駆使して推進しなければ21世紀には生き残れないというのが私の考えです。パソコン教室は4期目で、マウスの使い方、ワード、エクセル、インターネットの4講座を受けて初歩クラス卒業です。今後、金沢問屋センターを世界に発信するホームページを作成し、同時に各企業にもホームページを開いて世界に発信する機会をつくることも30周年を機会に考える事業の一つで、大事なのは委員会活動が各企業がやろうとしていることを支援、サポートする活動でなければ意味がないということです。

司会　関連して、ソフトのエキスパートでいらっしゃる岡本さんから。

商品も開発、業態も開発生き残るには変身すること その武器は情報武装です

矢部　嶺男／Mineo Yabe



やべ　みねお／1941年生まれ。金沢問屋センター理事。ニューネットワーク推進部会部会長

在庫減らし、人材確保のローコスト化、ここへ来てわが社はずいぶん変わりました

岡本　輝明／Teruaki Okamoto

おかもと　てるあき／1942年生まれ。金沢問屋センター理事。ニューネットワーク推進部会委員

岡本　自分の会社のことはよくわかるけれど組合としてどう使えばよいのかはまだ分かりませんが、私が45年に問屋団地へ来て一番勉強になったのは物流です。問屋センターとしてはまだできていませんが、私どもの会社としては随分変わりました。在庫は半減したし、人材確保もローコスト化を図れました。ソフトそのものはいくらでも自分の会社でつくれますが、それを連結して問屋センターとしてどう使えば良いのかが問題です。伊藤さんが言われたコンピュータのバックアップセンターの話は大変おもしろいなと思いながらお聞きしていました。

司会　組合活動の中からメリットを引き出して自社に生かされた例ですね。

矢部　堀川さんが言われたように、同魂異才の中小のメンバーが一緒に立ち向かうとしたら共有しかないんじゃないですか。情報なら共有、物流なら共同化で両者は車の両輪です。従来、情報物流委員会がやってきたことはすべて共有化の追求です。それが各社への支援につながることを目的にしてきました。流通業の時代背景の最大のポイントは規制緩和です。出店自由、海外からの資本導入が市場をどんどん変えています。

司会　私の企業で言えば為替の変動で非常に大きい影響を受けました。繊維関係でも最近は安売り品の裏を返すとほとんどがMADE IN CHINAですね。一時はMADE IN TAIWANだったけれど、地域によっても違いが出ていますが、その辺をいち早く取り入れているのが 黒梅さんの所じゃないですか。将来を読むのはとても難しいとは思いますが、実際に仕入先が大きく変わってきてるんじゃないですか。

企業の力は商品力であり、営業力であり物流であり、対お客さん戦略であるパワフルでインパクトのある集団に

黒梅　吉英／Yoshihide Kuroume

くろうめ　よしひで／1942年生まれ。金沢問屋センター理事。21世紀部会委員

黒梅　団体と個人の話がありましたが個人の企業が栄えてこそ団体の繁栄があると私も思います。個人としてはこの30年で売上の内容がほとんどと言っていいくらい変わりました。為替も今日は118円を超えてますが、昨年は110円で、今年は130円で原価計算を起こしていますが、正直なところちょっと怖い。今は海外とか国内とか、まして石川県とか北陸とかいうエリアを区切っては商売は成立しません。北陸の中心の金沢の問屋センターという地域メリットはそういう意味では通用しません。私は交通アクセスがとれた所から発展すると思います。背景は国内の大企業が扱っているものの扱い高だけで競争をやっていては値段競争になるだけなので、いかにオリジナルをつくってすき間をねらって生き伸びるかです。人件費、民度の違いがあるので相当な格差があるでしょう。うちとしては、今日も小牧からセーターの検品に社員が上海に向かいますが、航空機のアクセスがほしい。

司会　いずれにしても来世紀には海外を外し

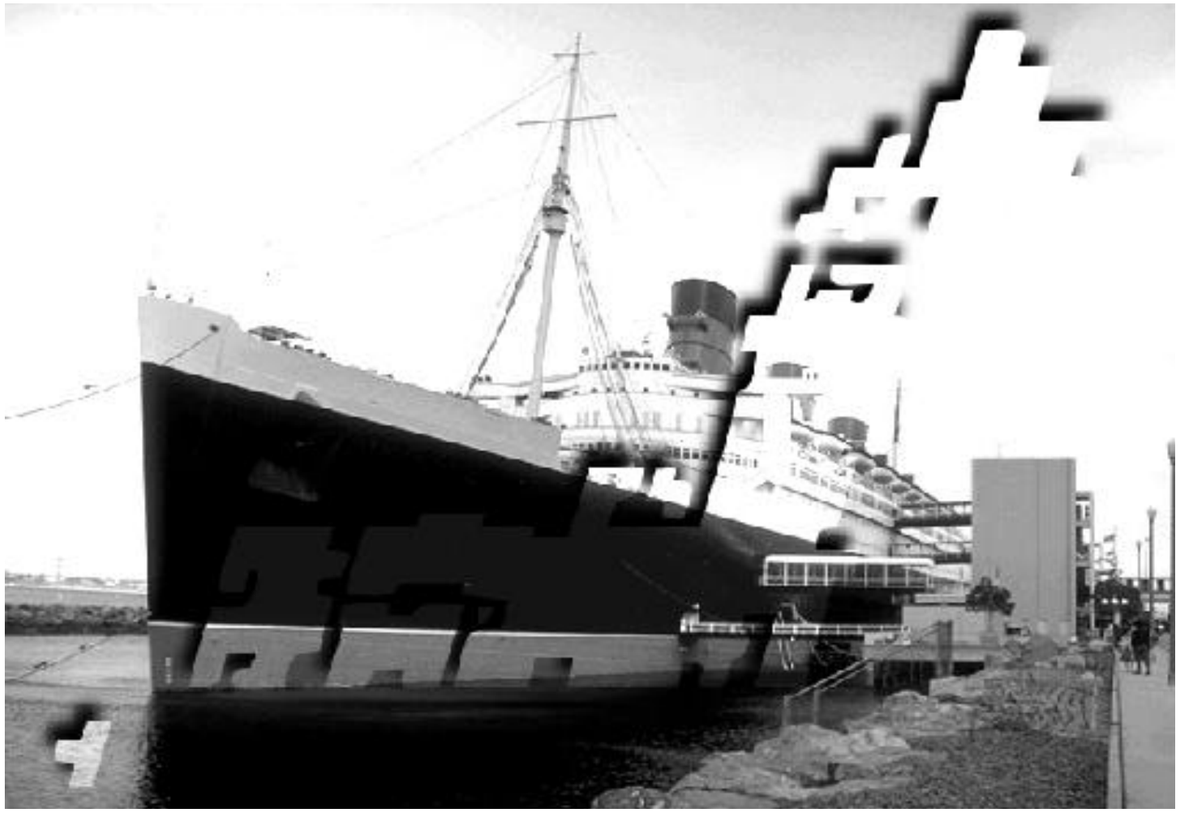
ての商売は考えられないということですね。今日ご参加の方々には草創期に理事長、副理事長を務められた先代、先々代の跡を継がれて現役でバリバリ仕事をされているかたも多いですね。

山田　問屋センターの繊維同業会の会長を八田前会長からお引き受けさせていただいて、今日ご出席の小川さん、黒梅さんのお力を借りて何とか進めさせていただいているわけです。私の場合、AFC（全日本卸サークル、現在は東北から九州までの17社で構成）という会に入っており、全国の団地を見る機会がありますが、例えば仙台の場合、東北新幹線ができたことで東京勢の支店開設が相次ぎ地元の既存の企業とバッティングする中で、それぞれの団地、それぞれの企業がどういうスタンスでやっていくかというのを見ていますと 、その企業にしかないという付加価値の高い商品の開発を進め、従来の問屋機能からメーカー機能へとスタンスを変える動きが非常に目立ちます。またメンバーの1社で年商230億ほど、問屋規模としては上位3位に入る福岡の企業では、販売エリアを九州から四国、中国から交通アクセスに伴い台湾なども攻めています。われわれ問屋センターとしても北陸3県の金沢問屋センターから環日本海の金沢問屋センターとしてとらえ、機能・情報の集積を行政も巻き込んで21世紀をどう作っていくかという思いです。また伊藤さんからはNTT、黒梅さんからは中国というお話が出ましたが、商社も最近川上から川下へとシフトの最中で、例えば当団地も三井物産あるいは住友商事などの商社とジョイントし集積した情報を、すべて当問屋センターに降ろしてもらうことで、団地としてのオリジナル商品の開発や情報化の促進を図ることができないかということも団地のビジョンの1つに付け加えられるのでないかと思います。

さまざまなことをやってきましたが
現実にまずできることから取り組むことが大事です

辰川　伸一／Sinichi Tatsukawa

たつかわ しんいち／1949年生まれ。21世紀部会委員



司会　交通アクセスに伴う変化で仙台の例が出ましたが、静岡・浜松・岡山もよく話題になりましたね。

辰川　うちの会社も100%卸という形態ではないのですが、問屋センターのスケールメリットを生かしてどうするかという点で、夜間、土・日の人の集積の問題、ハードも含めてセンターに対して行政も含めた外部が何を求めているかという視点も重要だと思います。内部だけ、外部も含めた両面で考える必要もあると思います。ただ過去にもさまざまな取り組みが打ち出されましたが、理想論的なことを言っていても仕方ないし21世紀も4年後ですから、現実にまずできることからやっていくことが大事です。

小川　釈迦に説法かもしれませんが、我々の先輩がここに来た頃とは比べものにならないほど激しい厳しい時代です。変化を見極め知恵を絞っていかんと企業そのものが無くなるよという認識のもとにあります。自分の会社でさえどうやって切り抜いていこうかというときに非常に高邁な話ですが、日本人は創業者を非常に高く評価する民族ですが、受け継いだものを守り育て、かつ拡大発展させていくことのほうが遥かに難しい。その真っ只中に我々はいる。よく言われる人・物・金・情報をいかに駆使していくか、まず各企業、各組合員がメーカー寄りに生きていくのか、エンドユーザー寄りに生きていくのかいろいろあるでしょうが、まず企業ありき、ですよ。その上で組合というスケールメリットを何で生かすか。エリアの問題については行政とどうからんでいくか、その辺をきちんと区分けして行かないとダメ。少なくとも問屋センターに行ったら近未来が見える、50年も先のことではなく3年、5年、10年先は商品、人を通して見えてくれば自然に拡大発展しますよ。昔、近代化研究会で京都へ行ったが、京セラとか立石電気とか島津製作所とか小さくてもピリッとした企業があった。今はスケールメリットの時代じゃない。小さくともそこにしか無いという商品を持っている会社、問屋センターへ行けばそういうものが見えるという魅力的なものでなくてはならない。魅力とは夢でありロマンであり商品力、人です。富山のスギノマシンも世界にそこしかないモノをもっている。問屋センターもそういう企業がある所でないと魅力がない。そういう企業になるには自社努力だけではできないこともあるだろう。そこをセンターとしていかにサポートするか。1社でできないことは山ほどありますよ。一言で言うと、問屋センターに行くと近未来が見える。そういう会社があるし、そんな問屋センターだといわれる魅力あるセンターになることに尽きると思う。

荒木　30年前には確かにスケールメリットを求めて皆さんが集まって来た。そのスケールメリットとはなんだったのかと考えると1つは物流だったような気がします。当時はいくつもの会社が集まることによって物流をまとめましょうという考え方もあった。では今後

問屋センターに行くと近未来が見える
世界中にそこにしかないモノがある
そんな魅力ある場所になるしかない

小川　甚次郎／Jinjirou Ogawa

おがわ じんじろう／1949年生まれ。金沢問屋センター理事。21世紀部会委員。

5年10年先を考えると、今から物流をメインに取り組んでもどこまでできるのかと疑問に思う。卸業の要素にはいくつかありますが情報流、物流、商流の中では商流か情報流をメインにもっと取り組みを前面に押し出していかないと生き残ること、いや生き抜くことはできないんじゃないかという気がして仕方がない。

矢部　問屋センターの将来ビジョンは物流にメスを入れなくては発展はあり得ないと私は考えています。直接ユーザーにものを届けられる物流の構築、メーカー、問屋、小売の流通３段階が一本化して物流に対応できることによりローコストオペレーションを図る。こうして問屋は商流のみをやることにする。効率的広角的な配送体勢を構築するにはどんな視点に立たなければならないかが戦略として個々の企業で具体的に上げられること、もしそれができなければ消費者に全視点を合わせた業態開発をやればいい。商品も開発、業態も開発、生き残るなら変身することだし、その武器は情報武装だと考えています。

情報流、物流、商流の中で、これからは何をメインにしていくか、もう物流では生き抜くことができないんじゃないか

荒木　徹／Tooru Araki

あらき　とおる／1950年生まれ。問屋センター理事。ニューネットワーク推進部会委員

宗廣　これからの問屋業に何が必要なのかをまず見いだすこと。次にこの数千坪の問屋センターがこのままでいいのか、集約するのもいいし、また石川県内にはまだまだ強い問屋がいっぱいあり、そういう問屋が入ってくるくらいの武器を何で見つけていくのか、これが優先で、次に地域の発展にいかに寄与していくかがくると思う。私はもう問屋センターの敷地内にこだわる必要はないし時代でもないと思っています。回り及び他の地域も巻き込んでいく、行政も含めて考える必要もある。そういう意味で3点と初めに申し上げたんです。

黒梅　私も昭和50年にここへ入れていただいて非常に勉強させていただいたし実際に企業も伸びました。しかし北陸3県の枠はすでに取り外され県外勢がどんどん入り、わずか300万人口のエリアを区切っての代理店業や下請け業で商売は成り立ちません。仕入れも地元から大阪、東京に移り、日本全国からアジアに移っています。アジアでも南か西かというレベルの話です。問屋センターは情報交換の場として、商流の場として、頭脳集団としては栄えるでしょうが、残念ながらここで伸びた企業が問屋センターから出ていく１つに物流コストが高くつく点が上げられる。しかし商流面ではまだまだ安い。高岡の人も福井の人もまだ「金沢はいいなあ」と言う。しかし大阪、東京からみるとあまりメリットはない。そういう意味では福岡などいい例ですが私としては商売上、新幹線より外に向けた航空機の時代だと考えています。小松から香港やソウルへ行ける。台北に行けるなら魅力がある。強いて言うなら現在の1日8便の東京往復が小松空港の魅力と言えます。せめて関西空港に直結すれば魅力になるのに。また物流に関しては単独ではなく問屋センターとして新しい広い土地を取得してみんなでそこへ出る。もちろん行政とのタイアップが必要ですが。商流、物流、情報を分けて考えることが全体の底上げになると私は考えてます。そうしていかないと優秀な企業が抜けて歯抜けになった部分を小さな企業では埋められない。

宗廣　この近辺が小売業に適した地域になる可能性はいくらでもあるし、おっしゃるように逆に卸業が別の地域に移るというのも、考え方の段階で出てくることはあり得るという考え方も大切だと思います。

黒梅　自分の会社の視点でいってるだけですが、同じ中国でもどこでもいいということではありません。見るべき所を見る。活気があるかどうかです。活気のある企業、活気のある土地と付き合うことで自分たちも栄える。私はここを他の土地に先駆けてそういう所にしたい。

冨木　黒梅さんの言われる通りで小松を交通アクセスの要として国際空港にする必要性は私も仕事上強く感じています。で、問屋センターという集団をどう活用するかを考えることが必要で、行政が何をしてくれるかではなく、何をしてもらいたいかは我々自身が考えなくてはならないことです。バックアップセンターも商社とのジョイントも一方法ですし、せっかく集まってるんだからこれだけは追求しようというメリットを絞りこむということは最大公約数を見つけると同様なかなか大変ですが、固有の企業に魅力があるごとく問屋センターにも魅力があってはじめて国も県も応援してくれるのです。その知恵をお互いに出し合おうじゃないですか。

環日本海の問屋センターとして機能と情報の集積をどうつくっていくかが問題です

山田　治作／Jisaku Yamada

やまだ　じさく／1948年生まれ。問屋センター理事。21世紀部会委員

岡本　それぞれのご商売で不都合な点を団体として取り上げることができるのもメリットですね。

司会　岡本さんのいわれるように各組合員の情報を上げていただくということも非常に大事です。情報が無ければ組合の執行部としても何をしたらいいのか分からないということもありますからね。

宗廣　山田さんの言われたように買うにしても売るにしても開発力を集めて何か見いだすことができないか。ここだけではなく全国の団地が土俵ぎわで踏ん張っている状況が多い。その点、金沢は問屋団地のレベルで見るとまだ強い。今ならまだ力がありますから共同開発は可能です。小川さんが言われるように、ものを右から左へ動かすだけの問屋業では弾き出される。ものを動かすにもトータルコーディネイトして特徴をつけられないと駄目です。それには従来の日本の問屋業の縦割り発想からアメリカのような横割り発想に変えないと世の中の変化にはついていけない。団地も横思考でやらないといけない。

司会　繊維と百貨と区別していても実際には仕入れも扱い商品もユーザーさんも違い1社1業種みたいなもんですから、抱えている問題は全部違ってるでしょうね。

黒梅　最大公約数でまとめて行う事業と対2社で行う事業といろいろありますから、できることから提携してより良い方向へ行けばいい。うちの例で言えば物品の配送は市内なら1個300円、10個以上なら200円とか運送業者と契約する。日に2回も3回も配送がありますから社員を使うよりよほど良い。カラーコピーも単価や時間コストを考えると他社に任せたほうがいい。こういうことは２社ですぐできることです。物流も建物を建てるには時間も費用も莫大なものがかかるし、同じものをたくさん作って回すより、地元でちょっとオリジナルを付加して発送すれば、大きな企業だけでなく小さな企業でも対応できるしメリットも生じる。企業の力は商品力であり営業力であり物流であり対お客さん戦略である。お客さんを金沢に絞るのか全国か海外かというのはエリアの選び方によって企業によってどうにでもなります。ここでこういう話をしているのも情報公開のひとつですし、もっと頭脳を持ち寄って情報公開し集めた切り口で政治力をもって行政を動かせばいい。そういう動かし方ができれば非常にパワフルな集団になれるしインパクトもある。金沢市内では問屋センターという名前の信用はまだまだ絶大ですよ。

伊藤　そういうメリットを意外と感じていない人が多いんじゃないですか。うちのような小さい企業がかわいがってもらえるのはその力が大きい。問屋センターも同じで存在価値があればそこに繁栄もある。

黒梅　私共のように昭和38年代からの安売り攻勢で瀕死の重傷を受けたものは、現在のディスカウントなどはそれほど恐れることはありません。当時の方がよほどひどかった。もまれる中から知恵も生まれるし、実際に扱い品目も商売のやり方もお客さんも変わっています。扱い品目も企業が体力を付けるに応じて変えていけばいいんです。

伊藤　以前はライバルは時流だと言ったけど、今は違う。時流と仲良くしなけりゃいかん！です。存在価値を見いだすのと同じ意味ですが、私のところでは従来、ネクタイは発注から納品まで1カ月かかったものを2週間で納めるようにシステムづくりを工夫した。時間もコストもかかったけれど小さいところは小さいなりに企業規模に見合った存在価値を作ることでお客さんに現在かわいがっていただいています。

宗廣　要は川下が大きくなったということです。消費者が主導権をもったということ。その前はメーカー、もっと前は我々のような地方問屋がそれだった。消費者が主導権をとった市場では消費者に対する市場競争しかなく価格設定の競争になりますから、中間の我々卸流通のものには景気の高揚が実感として響いてこない。商品が動いても儲けを感じられない。以前はものづくりには段階があり、その段階から需要が生まれた。例えば電気製品の日立がある日立市では日立という企業が活性化することでまずその街が潤い活性化され、次に全国に派生していった。ところが企業二極化と言われる現在は二極化の中で自分の企業はどうなんだと考えることで初めて自社の将来の姿が見えてくる。これは個々の問題、では二極化の中で団体としてどうするかということをこれから探っていかなくてはなりません。

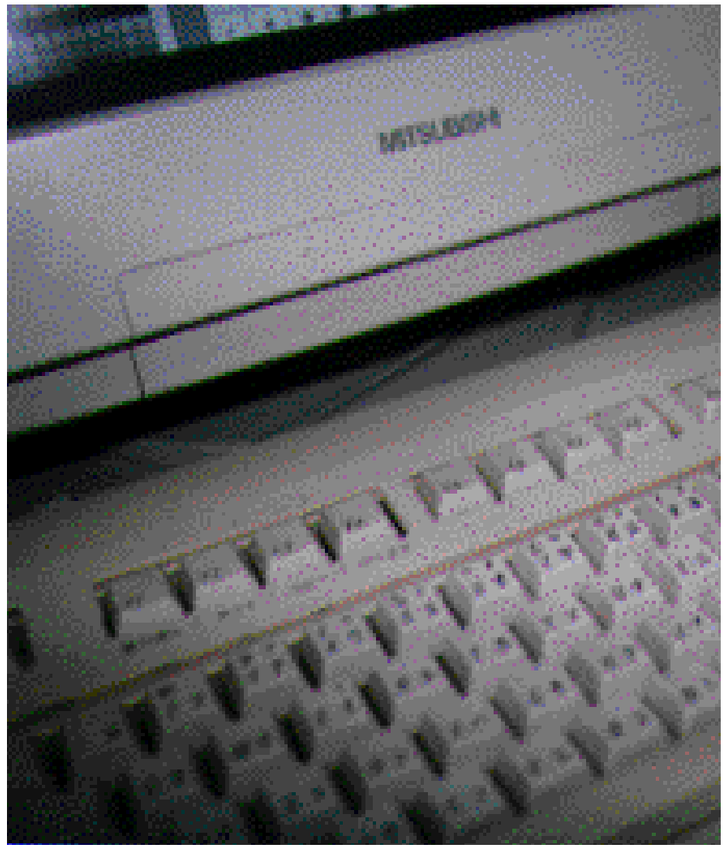
矢部　ディーラーとユーザー間の情報化が進み、卸は情報武装をしてないと置いてきぼりをくらうと思います。顧客と販売店の接点の変化で、販売店と卸、卸とメーカーの変化を促す大きな力を消費者が持つ。我々は今まで同業者あるいはメーカーばかりを見ていました。コペルニクス発想で180度視点を変え、見るべきは消費者。アメリカのウオルマートの壁には「YOU ARE BOSS」「あんたが王様」という標語が掛かっているそうですが、お客様の満足のために最大の努力をするという意味です。変化のスピードは昨年が10なら今年は100だと言えると思います。

冨木　21世紀はボーダーレス時代。時代的に見れば幕末の尊王攘夷みたいなもので自分の

時流と仲良くすることは存在価値を見いだすのと同じ企業規模に合った存在価値を

伊藤　淳蔵／Junzou Itou

いとう　じゅんぞう／1944年生まれ。金沢問屋センター副理事長。21世紀部会部会長



元気のいいお客さんをもっている所は自ずと元気商品の流れを見極め決断するのは結局はトップの責任です

宗廣　満夫／Mitsuo Munehiro

企業だけ守っていれば生きていけるかといったらそうじゃない。当時の開国に目をむけるような意識改革が必要です。

黒梅　人間教育は共通ですから非常に優秀な営業社員を教育する機会を共同でつくればいい。うちは全社員を一枚板にしようとパソコン教室には交替で通わせ4月から一斉にスタートさせたんですが、実際にジャスコのオンラインシステムには全営業社員が対応できた。もうひとつは中国人を雇ったことで現地の情報が非常に早く入手できるようになったことです。

冨木　各新聞社ではインターネットを利用して膨大な情報の中から必要なものだけをセレクトしてくれるサービスが好評です。

矢部　冨木さんの所はすでにPC-LANを採用してオフコンでできない即時の情報処理加工をして営業ツールとして活用されています。通信の世界では電子メールは現在の問屋センターのメンバーのうち25社が使っています。近い将来、事務局から各社への通信が当たり前のように電子メールでいくようになるでしょう。

黒梅　東京有利、北陸不利というけれど北陸だからこそという逆発想もある。海外からの商品の検品を地代の高い東京でスペースとってやっていたんじゃ合わない。まだまだ土地の安い北陸ならコスト的にも可能です。

宗廣　それは市場も問題ですね。社会に貢献する企業より社会に必要とされる企業になっていないといかんということですね。

小川　加賀友禅の世界は登録されている作家だけでも300余名はいますし伝統産業の中で後継者の心配はないんですが、和装産業の市場は根強いものがあるとはいえ、市場の四分の一をナショナルチェーンが占めていて商品の切り替えがものすごく速い。我々中小としては他社との違い、つまりは商品開発力しかないという傾向は顕著に感じています。

荒木　私は卸はメーカーに近寄るか小売に近寄るかどちらかだと思う。加賀友禅なら作家に独自のものをつくらせてどう販売していくかだし、逆に私の所だったら家庭用品のメーカーさんに近寄ってどう販売していくか。もしくは小売店に近寄ってメインとなるお客さんがどういうものを欲しがっているかを購買するか、どっちに個々の企業が近寄るかはわかりませんが私としては小売に近寄って購買したいと思っています。加賀友禅だけでなくものの流れは同じような気がします。どの業界でもいいところはいいんです。時流に適応している企業は元気がいい。

宗廣　元気の良い企業をお客にもっているところは自ずと元気がいいんです。自社の商品が将来どこへ流れるか見極めて決断することです。私が35年に今の取引先に流れを変えたとき、社員は猛反対するし銀行は手形を受け取ってくれなかった。企業は最後はトップの責任ですからね。

矢部　元気のある専門店をいかにして獲得し関係強化をいかにして図るかをベースに、勢いと価格とサービスに総合的に対応できる企業が生き残れるでしょうね。金沢と珠洲のお客さんを一緒にしているようではだめです。消費者を視点におき、一方ではデータを加工して販売店を通じて消費者に提案できる体質の企業を目指しましょう。問屋センターとして情報物流委員会やニューネットワーク部会としてお手伝いできるのはそういう点で、今後もこの基本は変わりません。

司会　今日のお話で課題は尽きないことがよく分かりましたが、結局はトップの責任ということでますます経営は難しくなりますね。それだけ商売は難しいものですが、将来に希望をもって立ち向っていきたいと思います。今日は長時間、本当にありがとうございました。

むねひろ　みつお／1934年生まれ。金沢問屋センター理事長。

30周年を迎えるにあたり「30周年特別委員会」が設置され、21世紀部会、ニューネットワーク推進部会の２つの部会が発足しました。新世紀を真近に控え、従来の慣習にとらわれず新しい発想で新生問屋センターをめざす活動がスタートしました。

【30周年特別委員会の抱負】

30周年特別委員会
委員長　冨木昭光

変わろうとするその意識改革こそが原動力となって活性化をもたらすものと確信しています。

今回図らずも金沢問屋センターの30周年特別委員長を拝命致し、21世紀を見据えての今後の問屋業の在り方を検討し、方向付けをするように命じられ、光栄に思うと共に身の引き締まる思いであります。

冷戦終了後、社会主義経済が根底からくつがえり、修正資本主義から市場原理に基づく消費者経済が主流をなし、グローバル的に世界市場が連動するようになってまいりました。物のない時代はメーカー主導型でしたが、物質文明の豊かさは個性的な消費者心理で経済が左右されるようになりました。メーカーから直接消費者まで物が届くことも可能となり、経済の変革時代は流通が激変し、乱世で価格破壊、ボーダレス時代は垣根をなくし規制緩和とともに容易に異業種が他業種に自由に参入出来るようになって参りました。

加えて脱工業化社会は情報化社会を現出し、マルチメディア、パソコン、インターネットで夜も日も明けず、一刻を争う先手必勝の時間差勝負の時代と云われるようになりました。このような世相の中で、我が問屋センターが如何にあるべきかが問われています。従来一世代20～30年で、又企業の寿命も30年説が唱えられてきました。その意味で我々の先達に育成して頂いた問屋センターも当然曲り角に来ているとも云え、国の内外と共に重大な危機にさらされているのが現状です。

まず現状認識から始めますと、我が金沢問屋センターは繊維関係の企業約50数社と百貨関係企業約80数社からなるという団地構成面からいうと特殊な関係であり、なかなか共通点を見いだせないというのが実状です。創生期には国や県・市の指導の下新天地を求めて、それなりに意気込みや活気があり、時代の発展・進展と共に名実共に日本で一流の問屋センターとして隆盛の一途を辿って参りましたが、年月の経過と共に過去の慣習にとらわれ改革的な発想に転換出来ないきらいがないわけではありません。世代交代でその殻を破っている企業もありますが、大方の企業は現状維持指向で、なかなか時代にあった転換ができないものもあります。現代は先が見えにくい状態にありますが積極的に立ち向かう企業は活路を見いだしているようです。しかし成功とリスクは裏腹です。よくなければ運がなかった、悪ければ破滅ということになりかねません。

そのような悪条件の中でどうすればよいか。我々は平野デザイン設計の平野先生をコーディネーターに迎えていろいろ勉強会をしておりますが、

ｌ．組合活性化のために今一度組合と組合員の関係、在り方を見直すべきではないか。

２．総論賛成、各論反対といった硬直性を打破するには、全体的な活動のみならずグループ活動に対しても組合が積極的に支援するという方向性を打ち出す必要がある。

３．実績を作っていくことが重要である。一部の企業でもグループでも成長すれば他社を引っ張ることができる筈である。

４．これらの組合支援の方向性の変革をＣＩを通じてプロモーションすべきである。

検討課題として

①物流→協同、小口、商品管理（温度管理等）

②情報→受発注システム

③業態開発→リテールサポート、小売化、メーカー化

④商品開発→オリジナルブランド

大きく整理して以上の４項目をそれぞれの企業の実体にあわせて組合わせていけば、一層活性化されて様々なタイプの卸売業が出現するのではないでしょうか。

大局的には立地条件の整備、とりわけ小松空港の利用拡大等政治的、経済的な問題もありますが、この町が将来どのような形を保っていくか、老齢化、少子化、幸せ条件をどうするか、集客地にして人を集めるのが得策か、夜間人口はどうなるか、情報ネットワークをどうとらえるか、情報発信基地にするにはどうすればよいか…というふうに色々考えねばならない問題が山積しています。

一方、県庁の駅西移転は交通インフラが更に整備され、また駅西地区の開発も一層進むという明るい見通しがあります。

団地内の多くの企業に共通する問題をとらえて、問屋団地再生の足がかりになるものは何かと再度考えてみますと、物流と情報インフラの基盤整備ではないかと思います。

30周年特別委員会には21世紀部会とニューネットワーク推進部会がありまして、委員の方々に汗をかいて頂いておりますので、何とか方向付けが出来るのではないかと考えておりますし、夢が実現するように努力せねばなりません。

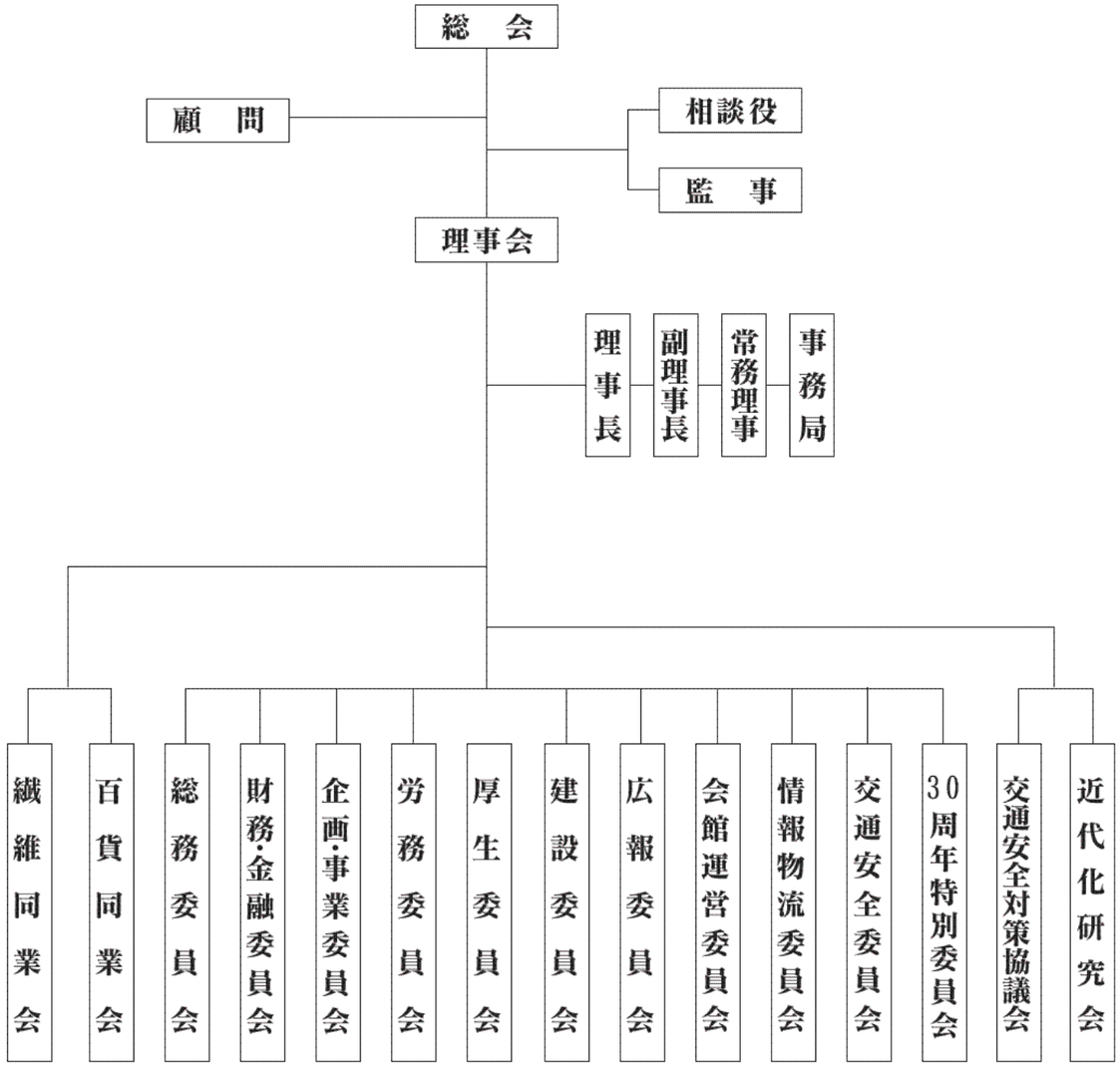
周囲の環境や現象は変わっても本質的な価値観は変わりません。もっとも必要なことは変化に対応して変わろうとする意識ではないでしょうか。その意識改革こそが原動力となって活性化をもたらすものと確信しています。

それぞれが意識改革、自己改革を始めようではありませんか。そうすれば21世紀はバラ色に輝くことになることを信じて止みません。

資料篇

全国に先駆けて卸商業団地第１号としてスタートした金沢問屋センターが、この30年の間にこれほどの発展を遂げてきたのは、それを支える確固とした組織が築き上げられていたからである。

【協同組合金沢問屋センター組織図】



【組合役員】

理事長
宗廣 満夫
山　和(株)

副理事長
高桑 健治
(株)キョー・エイ

副理事長
冨木 昭光
冨木医療器(株)

副理事長
伊藤 淳蔵
(株)アイネックス

副理事長
道上　明
(株)東山商会

相談役理事
川上 嘉一
川上産業(株)

常務理事
関戸　孝
(協)金沢問屋センター

理事
来馬 満春
(株)丸　昌

理事
玉井 義昭
(株)タマイ

理事
高桑 茂雄
北陸通信工業(株)

理事
楠　幸雄
クスノキ(株)

理事
野尻 安司
丸与商事(株)

理事
西谷 憲三
丸西食品工業(株)

理事
丸岡 信一
(株)マルシン

理事
田川 孝三
理光商事(株)

理事
若林 智雄
(株)寿商会

理事
川崎 晃
川　崎(株)

理事
八木 孝男
(株)ヤギコーポレーション

理事
矢部 嶺男
フィドニー(株)

理事
黒梅 吉英
(株) 丸一商店

理事
松村 克雄
尚和印刷(株)

理事
岡本 輝明
(株)マツモト

理事
島田 良造
島田商事(株)

理事
加藤 肇夫
ウィルビー(株)

理事
田村 憲司
(株) タムラ

理事
成瀬　巖
成瀬電気工事(株)

理事
岡本　進
岡　本(株)

理事
小川 甚次郎
小　川(株)

理事
越原 悠三
(株)コシハラ

理事
北村 武司
北村電機産業(株)

理事
小川 榮一
小川商事(株)

理事
山田 治作
石　織(株)

理事
多田 利明
多田与(株)

理事
永井 外志明
(株)ナガイ

理事
荒木　徹
荒木商事(株)

理事
大西 憲治
大　宗(株)

理事
土谷　守
(株)土谷九兵衛商店

理事
森　昭夫
森　佐(株)

監事
大田 敬祐
北日商事(株)

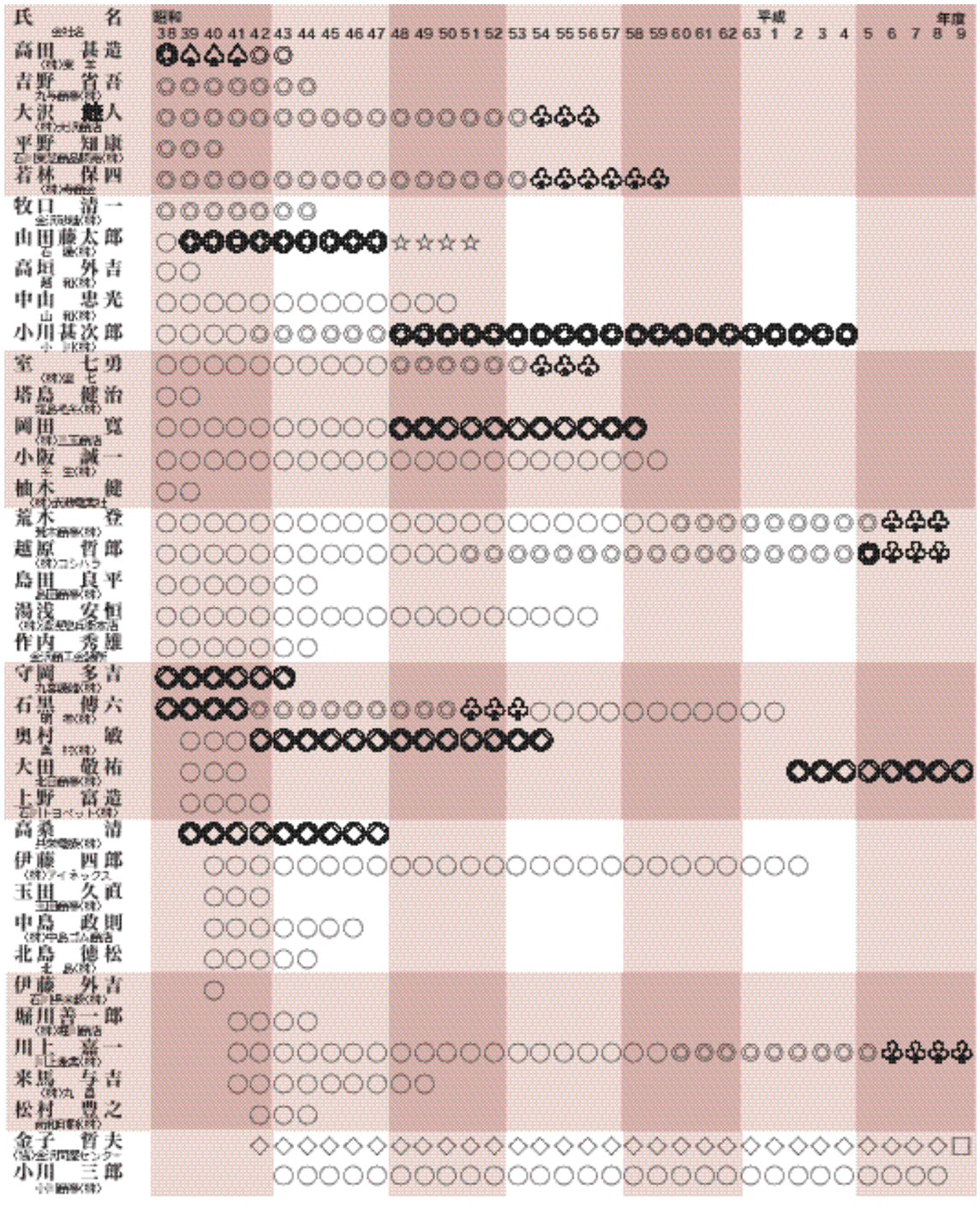
監事
多田 成喜
(株) 賛　協

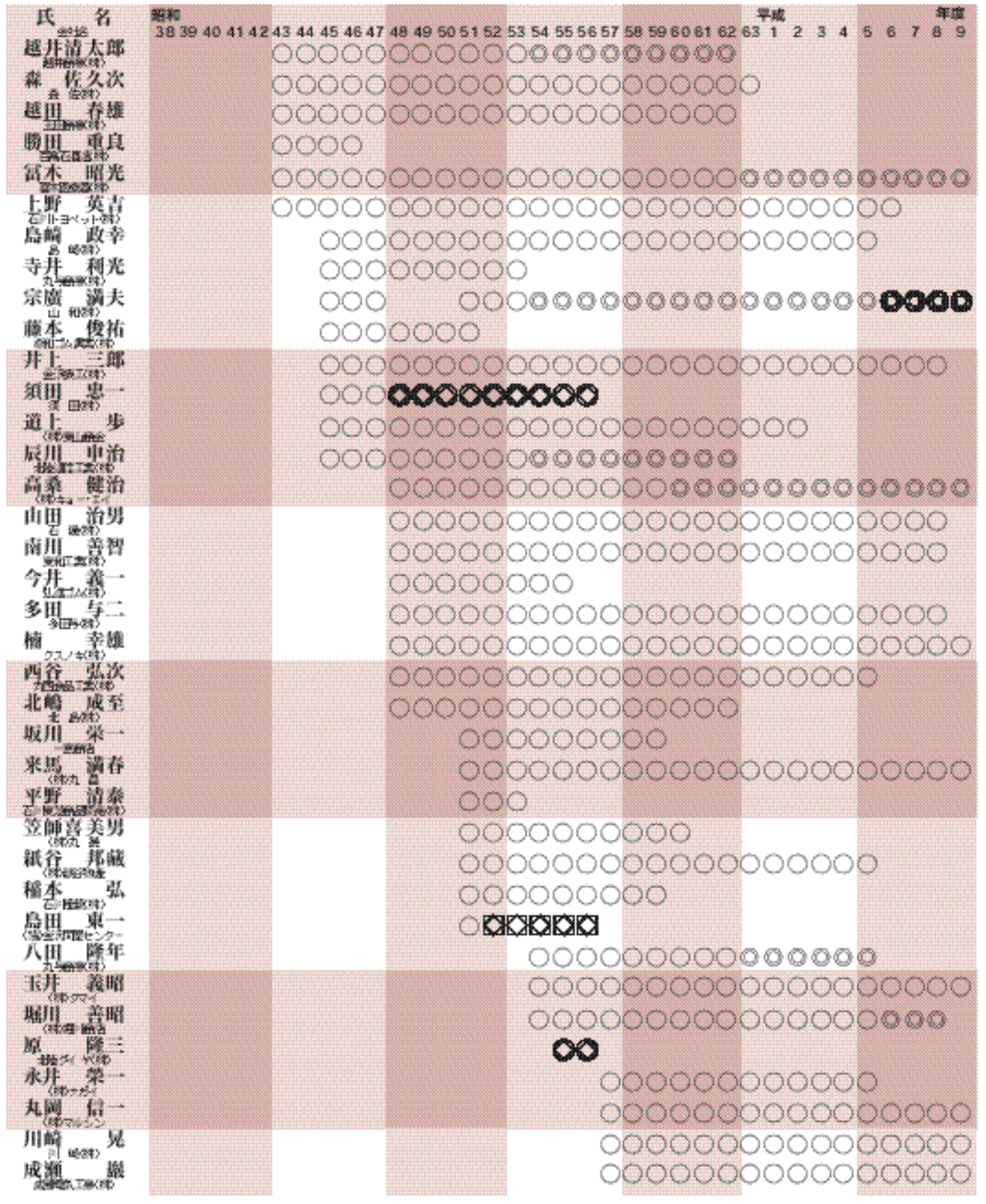
監事
山田 修三
北陸ペイント(株)

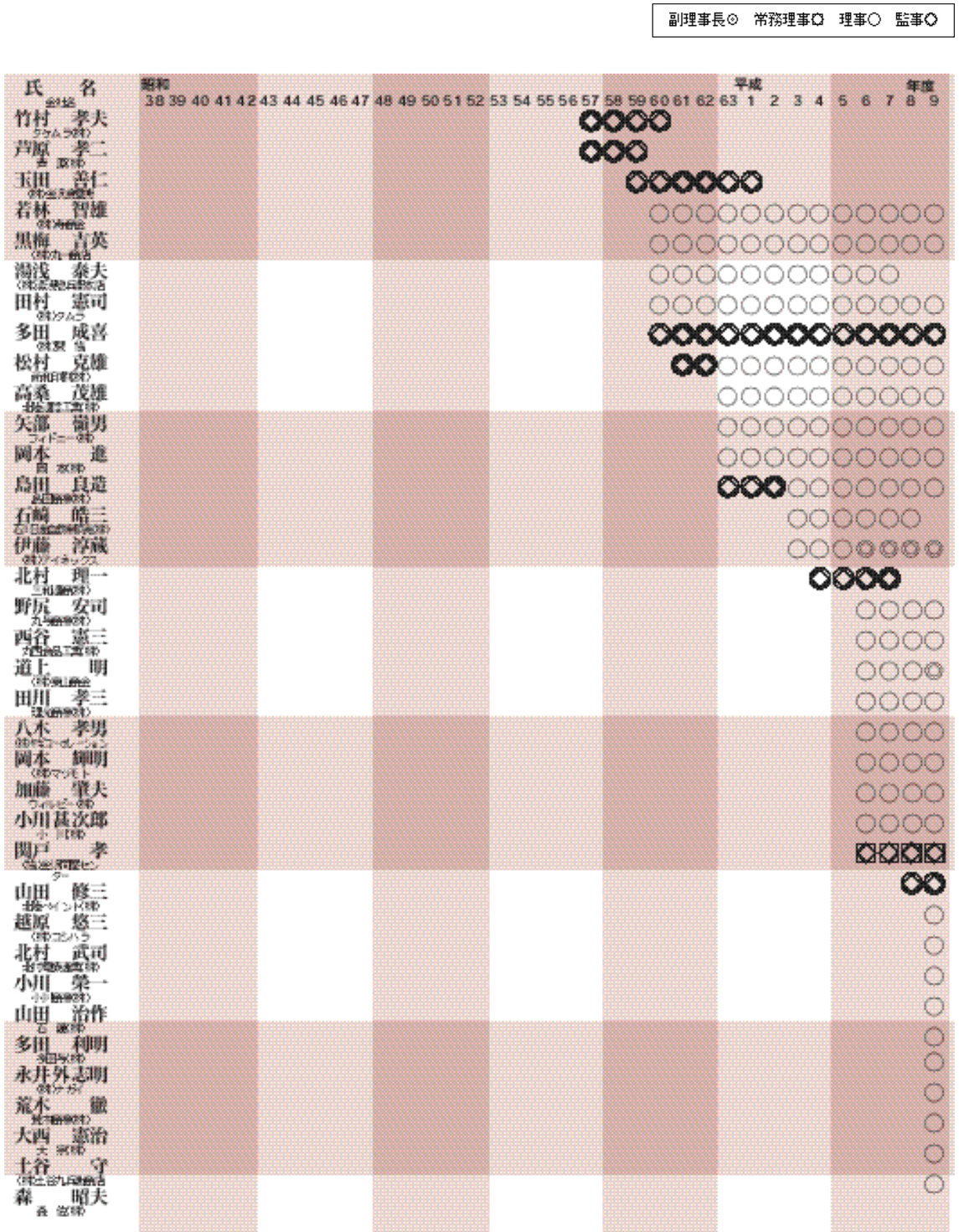
参与
金子 哲夫
(協)金沢問屋センター

【歴代役員在任一覧】

名誉理事長☆　理事長●　理事長代理理事♣　副理事長◎　相談役理事♣
専務理事◇　常務理事□　理事○　監事◇　参与□







草創期から今日まで、金沢問屋センターの発展・繁栄に尽力された物故組合員の方々のお名前をここに掲載し、その功績を讃えるとともにご冥福をお祈りいたします。

【物故組合員】

島崎　政幸　島崎㈱社長……命日 昭和38年10月13日
井上　孝為　金沢機工㈱社長……命日 昭和39年 9月18日
東　与三松　東㈱社長……命日 昭和42年 8月17日
大田　吉一　北日商事㈱会長……命日 昭和43年 7月28日
今井　庄蔵　弘進ゴム㈱社長……命日 昭和43年10月 6日
守岡　多吉　丸喜繊維㈱社長……命日 昭和43年10月31日
高田　甚造　㈱東羊社長……命日 昭和43年11月30日
田村　勝治　㈱田村勝治商店社長……命日 昭和44年 5月 2日
松村　豊之　尚和印刷㈱社長……命日 昭和44年 6月18日
田中　清行　㈱たなかや社長……命日 昭和44年11月29日
吉野　省吾　丸与商事㈱社長……命日 昭和45年 2月 1日
勝尾　　勇　勝尾商事㈱社長……命日 昭和47年 2月 7日
湯浅惣兵衛　㈱湯浅惣兵衛本店会長……命日 昭和47年 4月 5日
土谷九兵衛　㈱土谷九兵衛商店会長……命日 昭和48年 9月 9日
北島　徳松　北島㈱社長……命日 昭和48年10月29日
田中　友二　田中衣料㈱社長……命日 昭和49年10月17日
来馬　与吉　㈱丸昌 社長……命日 昭和49年11月19日
川崎　久松　㈱川崎商店社長……命日 昭和50年 4月10日
橋爪　弥雄　㈱橋爪商会社長……命日 昭和50年 7月 4日
山田藤太郎　石織㈱会長……命日 昭和51年 9月21日
上野　彦助　石川トヨペット㈱会長……命日 昭和52年 2月24日
藤本　俊祐　泰和ゴム興業㈱社長……命日 昭和52年 3月13日
島田　良平　島田商事㈱社長……命日 昭和52年 8月13日
寺井　利光　丸与商事㈱会長……命日 昭和54年 4月18日
丸岡　光次　㈱マルシン会長……命日 昭和54年 8月17日
多田　喜市　㈱賛協会長……命日 昭和55年 2月 9日
立野　　清　北村電機産業㈱専務……命日 昭和55年11月12日
今井　義一　弘進ゴム㈱社長……命日 昭和56年 5月26日
川端　嘉市　㈱川助社長……命日 昭和57年 1月23日
冨木喜久男　冨木医療器㈱会長……命日 昭和57年 3月21日
湯浅　安恒　㈱湯浅惣兵衛本店社長……命日 昭和57年12月14日
斉田甚太郎　斉田商店会長……命日 昭和58年 2月 2日
北村　辰弥　北村電機産業㈱社長……命日 昭和58年 2月14日
柚木　　健　㈱武蔵電業社社長……命日 昭和58年 9月22日
岡田　　寛　㈱三玉商店社長……命日 昭和59年 2月 3日
西谷外次郎　丸西食品工業㈱会長……命日 昭和59年 5月 1日

藤木　顕博	藤木工業㈱社長	命日 昭和59年 5月14日
高桑　　清	共栄電機㈱会長	命日 昭和59年 9月19日
笠師喜美男	㈱丸菱社長	命日 昭和60年 6月19日
紙谷栄次郎	㈱紙谷物産会長	命日 昭和60年12月21日
室　　七勇	㈱室七 会長	命日 昭和61年 1月16日
五井　孝夫	㈱五井建築設計研究所会長	命日 昭和61年 7月 3日
二山　清次	金沢問屋町急便協同小組合理事長	命日 昭和62年 3月 4日
小森外次郎	金沢シュランク㈱社長	命日 昭和63年 1月31日
北嶋　成至	北島㈱社長	命日 昭和63年 3月12日
辰川　申治	北陸通信工業㈱会長	命日 昭和63年 4月26日
若林　保四	㈱寿商会会長	命日 昭和63年 6月28日
森　佐久次	森佐㈱社長	命日 昭和63年12月22日
吉野卯太郎	㈲吉野利工具社長	命日 平成元年 9月 9日
田村喜美子	㈱タムラ会長	命日 平成元年 9月12日
石黒　傳六	明希㈱社長	命日 平成元年11月17日
竹内　重俊	加陽月星ゴム㈱社長	命日 平成元年12月22日
大沢　銈人	㈱大沢商店社長	命日 平成2年 7月20日
米澤　勝治	㈱小鍛冶本店社長	命日 平成3年 1月 3日
原　　隆三	北陸ダイヤ㈱社長	命日 平成3年 3月13日
大坪顕一郎	大坪商事代表	命日 平成3年 3月30日
中西　藤二	中西産業㈱会長	命日 平成3年 5月 4日
道上　　歩	㈱東山商会社長	命日 平成3年 7月 7日
宮本　利雄	丸宮商工㈱会長	命日 平成4年 1月13日
堀川善一郎	㈱堀川商店会長	命日 平成4年 2月25日
堀江喜久雄	石川ゴム製品㈱会長	命日 平成4年10月 5日
小川甚次郎	㈱小川会長	命日 平成5年 1月28日
土谷　　茂	㈱土谷九兵衛商店会長	命日 平成6年 3月13日
上野　英吉	石川トヨペット㈱社長	命日 平成7年 3月31日
上野　富造	石川トヨペット㈱会長 中央自動車工業㈱会長	命日 平成7年 7月 7日
中山　忠光	山和㈱会長	命日 平成7年12月27日
中山　達夫	山和㈱社長	命日 平成8年 5月21日
北村　理一	三和通商㈱社長	命日 平成8年 5月27日
米浜　栄一	㈱丸菱社長	命日 平成8年 7月23日
井口総一郎	㈱井口商店会長	命日 平成9年 4月 8日
須田　忠一	須田酒販㈱社長	命日 平成9年 9月 8日

歴史に学び、未来に向かって

【編集を終えて】

金沢の西、田畑の中に30年前、忽然と姿を現した金沢問屋センター。8万坪の広大な土地と100社にのぼる企業が、全国の卸団地第1号として前例のない、暗中模索の中、パイオニア精神で進んだ疾風怒涛の草創期10年、1つ1つハードルを越え、切磋琢磨で着実な成長の20年、めまぐるしい流通変化と経済環境に挑戦し、新たなビジョンを描きながら発展を続けた30年。

問屋センター完成30周年にあたり、この歴史的記録と先達の精神を改めて学び、来たる21世紀に向かって力強く前進する軌跡をまとめ、この節目をともに相互共生の道を拓き、未来を探るための一歩と位置づけ、「Trial for new century 30周年記念誌」を刊行いたしました。

「ing 限りなき前進」をテーマに掲げ、構成を「Swing　それは、彼のひとことから始まった。」「Running　走り続けた日々がある。」「Wing　輝ける未来に向かって。」の３部構成としました。表紙デザインは“未来を創造し、組合員一丸となって前進する限りなき成長”を球体で表現し、また、左表紙より記念誌、右表紙より企業紹介と新しい試みも模索しました。そして見やすく、楽しくをめざし、できる限り写真や図形を取り入れました。

この記念誌が、30年の歴史に学び、未来に向かって輝かしい前進の糧となれば幸いです。

最後に、3月より記念誌部会をスタートして以来、委員の方々、事務局、関係各位の多大なご協力に心より感謝申し上げますとともに、次の50周年に向けて、金沢問屋センターの限りない発展を祈念して止みません。

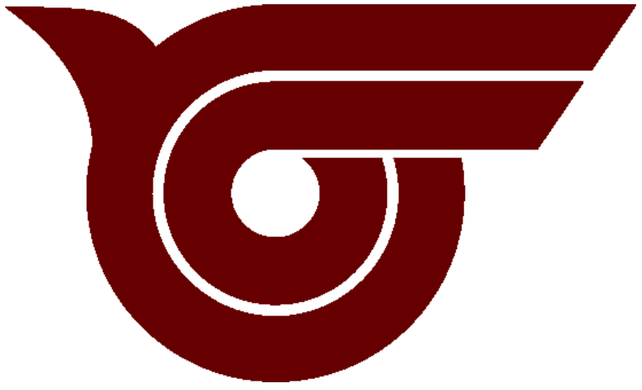
完成30周年記念事業特別委員会
記念誌部会部会長　若林　智雄

【編集委員】

部会長	㈱寿商会	社長	**若林 智雄**
委員	島田商事㈱	社長	**島田 良造**
〃	尚和印刷㈱	社長	**松村 克雄**
〃	一恵商店	代表	**坂川 恵造**
〃	ヱイワ機工㈱	社長	**永尾 治**
〃	大宗㈱	社長	**大西 憲治**
〃	㈱たなかや	課長	**田中 清一**
〃	同信産業㈱	所長	**浅谷 茂**
〃	ナカダ㈱	社長	**中田 外義**
〃	㈲ネーミングこしの	社長	**越野 勉**
〃	㈲吉野利工具	社長	**吉野 竹英**
事務局	㈶金沢問屋センター	課長	**川崎 眞人**

平成9年10月発行
協同組合金沢問屋センター
完成30周年記念誌 ing［イング］

編　集　完成30周年記念事業特別委員会
　　記念誌部会
発行人　協同組合金沢問屋センター
　　理事長　宗廣　満夫
　　金沢市問屋町2丁目61番地
印　刷　尚和印刷株式会社
制　作　株式会社 生活文化社



【協同組合金沢問屋センターシンボルマーク】

メンバーズプロフィールは右表紙からはじまります。☞

協同組合金沢問屋センター完成30周年記念誌

Member's Profile

［イング］

組合員一覧

堅い絆に結ばれた今を見る。

Ring

古来より人は火のまわりに集い、火を囲んでコミュニケーションを図ってきた。同様に、金沢問屋センターを形づくる加盟約140社が堅い絆で結ばれ、同じ未来を見つめながら、内なる火を燃やし続け大きな輪を描く。そんな希望と祈りをこめて。

MEMBER'S PROFILE

KANAZAWA TOIYA CENTER

組合員一覧

MEMBER'S LIST

繊維関連企業

【ア】
㈱相川……10
㈱アイネックス……39
石繊㈱……26
一恵商店……19
糸生㈱……27
岩崎㈱……11
㈱ウィンズ……10
㈱大沢商店……19
㈱オータニ……11
大坪商事……41
岡本㈱……19
小川㈱……25
小川商事㈱……25
小倉㈱……19
織田寝具㈱……17

【カ】
㈱加賀絹……40
川崎㈱……33
北島㈱……38
久江田㈱……28

【サ】
斉田ベビー㈱……19
㈱賛協……11
ジャパンプレミアム㈱……17

【タ】
大宗㈱……25
泰和ゴム興業㈱……27
多田与㈱……16
㈱たなかや……27
㈱タムラ……40
塔島㈱……11
㈱トルハート……28

【ナ】
㈲中嶋帽子……27
中西㈱……18
㈲ネーミングこしの……16

【ハ】
東㈱……27
福助㈱……11
㈱北陸衣料商会……26
北陸ダイヤ㈱……16

【マ】
㈱前垣……34
㈲マツモトシャツ……17
㈱丸一商店……12
㈱丸昌……20
丸宮商工㈱……24
㈱丸吉商店……32
丸与商事㈱……38
丸六㈱……42
㈱室七……26
㈱モードラサ……28
森佐㈱……34

【ヤ】
㈱ヤギコーポレーション……34
山村㈱……24
山和㈱……20

百貨関連企業

【ア】
アサヒ冷機……10
荒木商事㈱……34
石川ゴム製品㈱……41
石川立山サッシ販売㈱……10
石川トヨペット㈱……32
石川日産自動車販売㈱……39
イシワラ㈱……17
㈱井口商店……24
ウィルビー㈱……8
エイワ機工㈱……40

【カ】
㈱樫村金沢支店……41
カナカン㈱……18
金沢機工㈱……24
金沢シュランク㈱……9
㈱金沢度量衡……39
金沢問屋町急便協同組合……32
㈱紙谷物産……8
加陽月星ゴム㈱……33
川上産業㈱……39
㈱川助……38
北村電機産業㈱……27
㈱キョー・エイ……8
共栄商会……16
クスノキ㈱……43
㈱五井建築設計研究所……41
弘進ゴム㈱……38
㈱小鍛冶本店……40
㈱コシハラ……34
㈱寿商会……34
㈱小堀酒造店……18

【サ】
齊田商店……20
サンデン㈱……24
三和通商㈱……8
島田商事㈱……40
尚和印刷㈱……17
新電子㈱……33
㈱スズケン……40
須田酒販㈱……35
㈱星光堂……20

【タ】
大王製紙㈱……11
太洋興業㈱……18
タケムラ㈱……18
㈱タマイ……28
中央自動車工業㈱……17
㈱土谷九兵衛商店……33
東芝北陸ライフエレクトロニクス㈱……24
同信産業㈱……43
東洋精器工業㈱……10
トーヨータイヤ北日本販売㈱……33
東和工業㈱……16
トナミ運輸㈱……32
冨木医療器㈱……39
㈱トミショープラン……38

【ナ】
内外電機㈱……9
㈱ナガイ……42
ナカダ㈱……32
中西産業㈱……26
中西セメント商事㈱……26
成瀬電気工事㈱……42
南陽㈱……8
西本産業㈱……8
㈲ノワキ……42

【ハ】
㈱橋爪商会……28
ハットリ産業㈱……10
㈱東山商会……41
東山メタルビル工業㈱……12
百萬石酒造㈱……32
フィドニー㈱……33
藤木工業㈱……25
北日商事㈱……38
北陸通信工業㈱……25
北陸ペイント㈱……9
㈱掘川商店……26

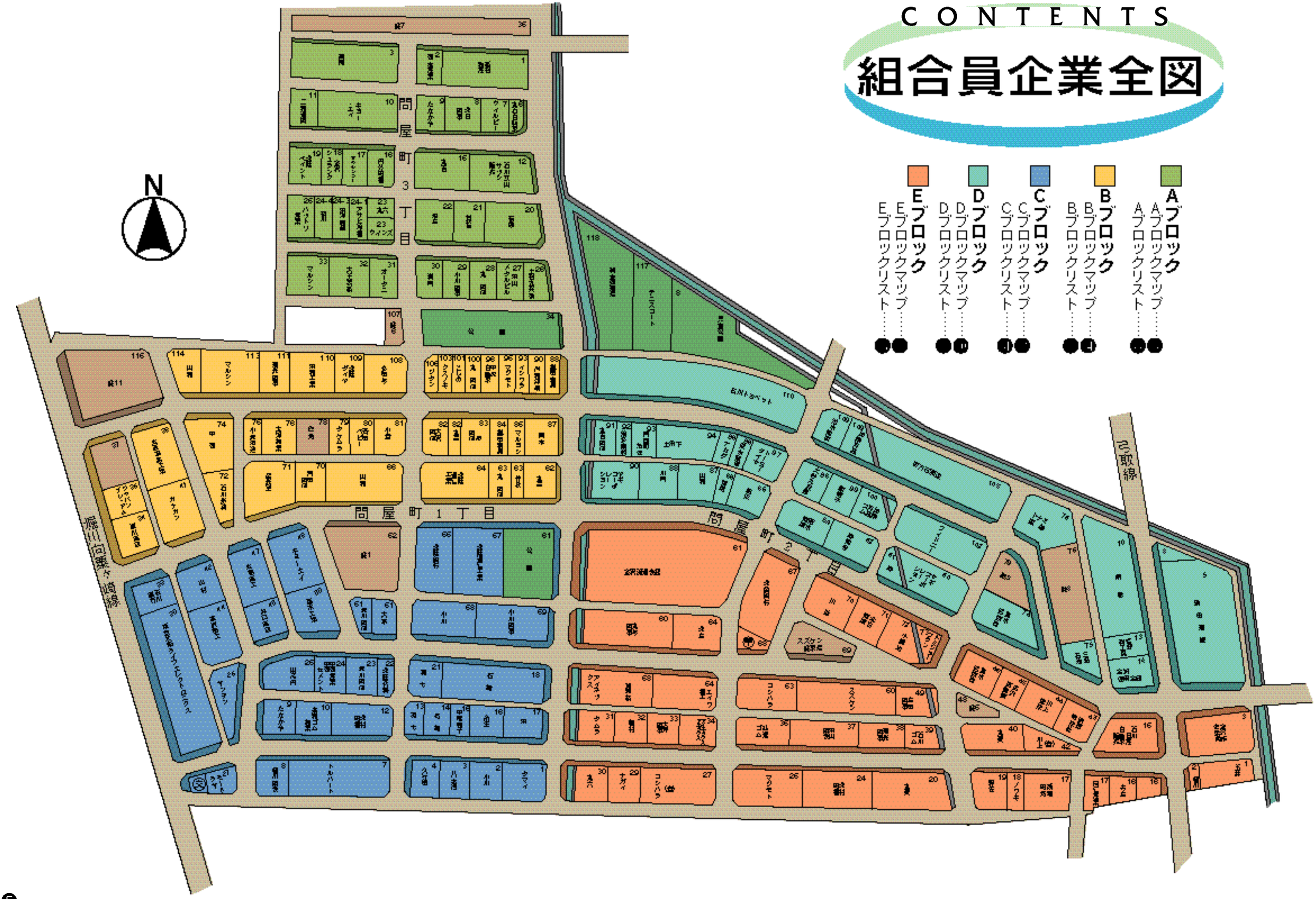
【マ】
㈱マキシンコー……9
㈱マツモト……42
丸石自転車㈱……9
㈱マルシン……16
丸西食品工業㈱……18
㈱丸菱……42
㈱丸吉……9
㈲マルヨシトレーディング……19
㈱武蔵電業社……39
明希㈱……34

【ヤ】
㈱八木熊……28
山之内㈱……25
㈲吉野利工具……35

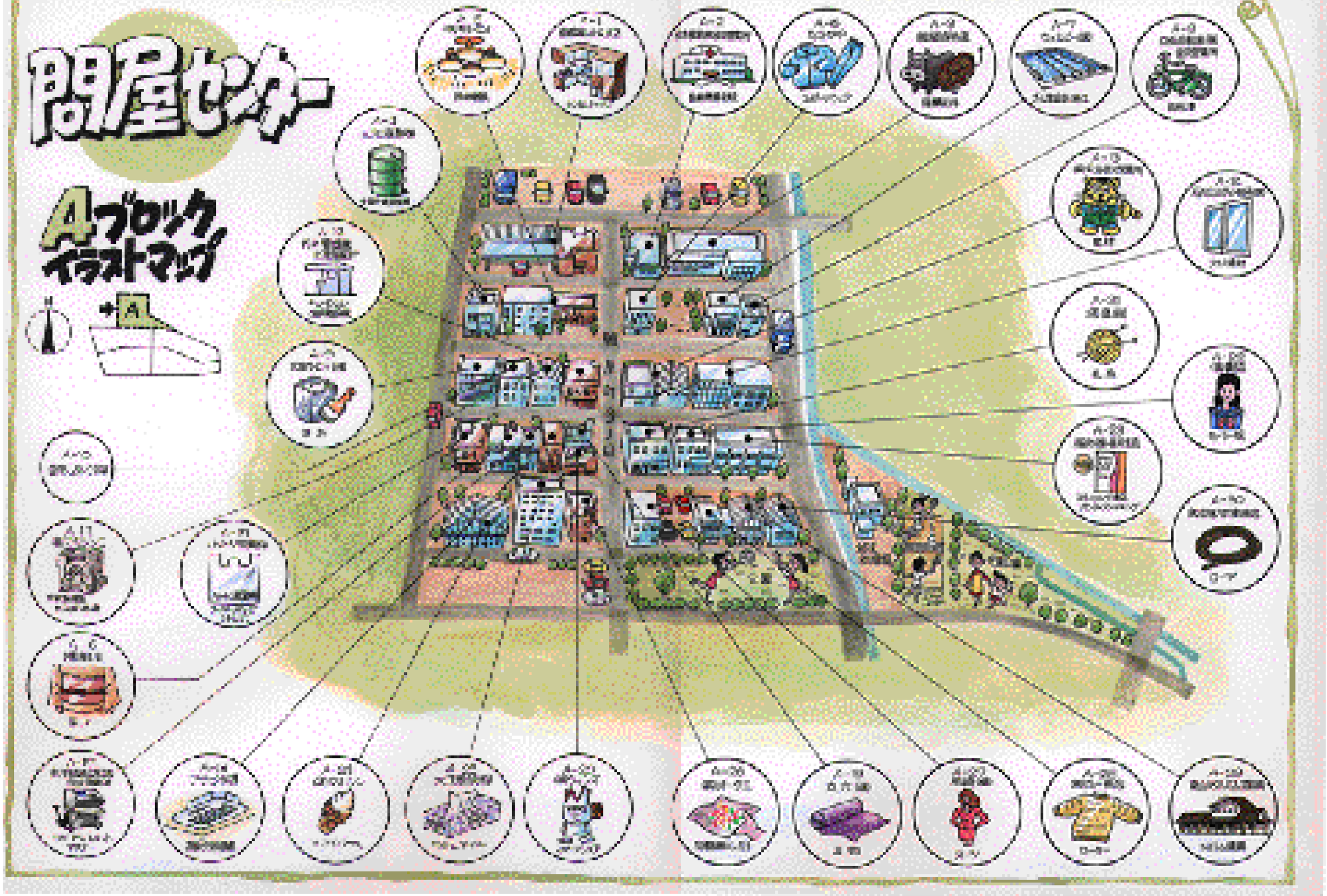
【ラ】
理光商事㈱……41

CONTENTS

組合員企業全図



Aブロック
Aブロックマップ……
Aブロックリスト……
Bブロック
Bブロックマップ……
Bブロックリスト……
Cブロック
Cブロックマップ……
Cブロックリスト……
Dブロック
Dブロックマップ……
Dブロックリスト……
Eブロック
Eブロックマップ……
Eブロックリスト……



問屋センター
Aブロック
イラストマップ

Aブロック

協同組合 金沢問屋センター組合員紹介

①代表者名　②資本金　③営業品目

金沢シュランク㈱

金沢市問屋町3丁目18番地
TEL（076）238-6584

①林　實
②1,000万円

A - 10

北陸ペイント㈱

金沢市問屋町3丁目19番地
TEL（076）237-6010

①山田修三
②1,000万円
③塗料･塗装用品･機械工具･清掃用品･消火器

A - 9

丸石自転車㈱ 金沢営業所

金沢市問屋町3丁目6番地
TEL（076）238-0136

①藤本泰雄　所長／本江秀喜
②5億5,000万円
③完成自転車及びパーツ・健康機器

A - 8

西本産業㈱金沢営業所

金沢市問屋町3丁目2番地
TEL（076）237-7511

①西本保夫　所長/村上昌功
②25億円
③医療機器販売･メンテナンス･レントゲンフィルム販売

A - 2

㈱紙谷物産

金沢市問屋町3丁目1番地
TEL（076）237-6622

①紙谷邦蔵
②2,000万円
③畜産物・水産物加工卸

A - 3

南陽㈱金沢支店

金沢市問屋町3丁目3番地
TEL（076）237-7700

①中村正治　支店長／野岸　伸
②1億6,100万円
③住宅設備機器及び建築資材の販売、施工管理

A - 1

内外電機㈱北陸営業所

金沢市問屋町3丁目16番地
TEL（076）238-5521

①丹羽一郎　所長／山口　登
②1億7,000万円
③電気工事材料製造販売

A - 12

㈱丸吉金沢営業所

金沢市問屋町3丁目15番地
TEL（076）237-6281

①吉田 繁　所長／小森雅芳
②2,182,332千円
③合板・建材・住宅設備機器

A - 13

㈱マキシンコー

金沢市問屋町3丁目17番地
TEL（06）763-2101

①牧村順二
②2億7,670万円
③ウォーム･ベベル･遊星減速機ジャッキ･クラッチ･回転自動棚

A - 11

ウィルビー㈱

金沢市問屋町3丁目7番地
TEL（076）237-7667

①加藤肇夫
②5,000万円
③プール、体育館、器具、新日鉄スタンパッケージ、シールハードの設計施工

A - 7

㈱キョー・エイ

金沢市問屋町3丁目10番地
TEL（076）237-7211

①高桑幸一
②2,400万円
③電設資材･空調機器･家庭電化製品･通信機器･住宅用設備機器の卸販売

A - 5

三和通商㈱

金沢市問屋町3丁目11番地
TEL（076）238-5311

①小寺正一
②1,800万円
③化成品販売及びFRP関連事業　建築工事及び建材･断熱材の販売・加工

A - 4

Aブロック

協同組合 金沢問屋センター組合員紹介

①代表者名　②資本金　③営業品目

㈱オータニ

金沢市問屋町3丁目31番地
TEL（076）237-8021

①大谷忠二
②1,000万円
③友禅袋物･小物･ハンカチ･象嵌ネックレス･ タイピン･民芸品観光土産品

A - 26

塔島㈱

金沢市問屋町3丁目22番地
TEL（076）238-5811

①塔島彦夫
②2,500万円
③毛糸･手芸材料･手編製品･糸・ボタン･和洋裁付属品

A - 21

㈱相川

金沢市問屋町3丁目24番地4
TEL（076）238-4810

①相川幸雄
②1,000万円
③帯〆･帯揚―ツ身･四ツ身･草履バッグ･足袋

A - 16

石川立山サッシ販売㈱

金沢市問屋町3丁目12番地
TEL（076）238-6220

①竹腰元志
②1,200万円
③ビル用アルミ建材販売･住宅用アルミ建材販売･エクステリア商品販売

A - 14

岩崎㈱

金沢市問屋町3丁目30番地
TEL（076）238-5556

①岩崎正晴
②1,200万円
③婦人服･婦人服地（スーツ・ワンピース ･コート･ブラウス･セーター･ パンツ）

A - 27

福助㈱金沢支店

金沢市問屋町3丁目20番地
TEL（076）238-5535

①辻本　章　支店長／加藤政宏
②33億8,050万円
③パンスト･婦人、紳士、子供の各種靴下・紳士、婦人肌着･足袋シューズ･シャツ

A - 23

㈱賛協

金沢市問屋町3丁目21番地
TEL（076）238-1741

①多田泰雄
②1,000万円
③カンコー学生服･体育衣料･紳士、婦人洋品及び生活関連繊維製品

A - 22

アサヒ冷機

金沢市問屋町3丁目24番地1
TEL（076）237-1151

①東藤价介
③冷凍･冷蔵･空調設備･冷熱応用機器

A - 18

東洋精器工業㈱ 金沢営業所

金沢市問屋町3丁目24番地3
TEL（076）237-6211

①阿瀬正治　所長/佐伯英夫
②6,000万円
③自動車足廻りサービス機器（タイヤ･ホイール･アライメント）

A - 17

ハットリ産業㈱

金沢市問屋町3丁目25番地
TEL（076）238-5411

①服部厚三
②1,000万円
③ポリエチレン、ビニール、包装資材の卸

A - 15

大王製紙㈱金沢営業所

金沢市問屋町3丁目32番地
TEL（076）237-0355

①井川高雄
②224億円
③印刷用紙、包装用紙、家庭紙の製造･販売

A - 25

㈱ウィンズ

金沢市問屋町３丁目23番地１
TEL（076）238-5515

①植竹　格
②1,000万円
③スポーツウェア・ファッションパーツ･スポーツ関連アクセサリー

A - 20

Aブロック

協同組合　金沢問屋センター組合員紹介

①代表者名　②資本金　③営業品目

㈱丸一商店

金沢市問屋町3丁目28番地
TEL（076）237-1588

①黒梅吉英
②4,000万円
③婦人Tシャツ・セーター・紳士洋品
ワーキングウエア・グンゼ製品全般

B－31　B－8　A－28

東山メタルビル工業㈱

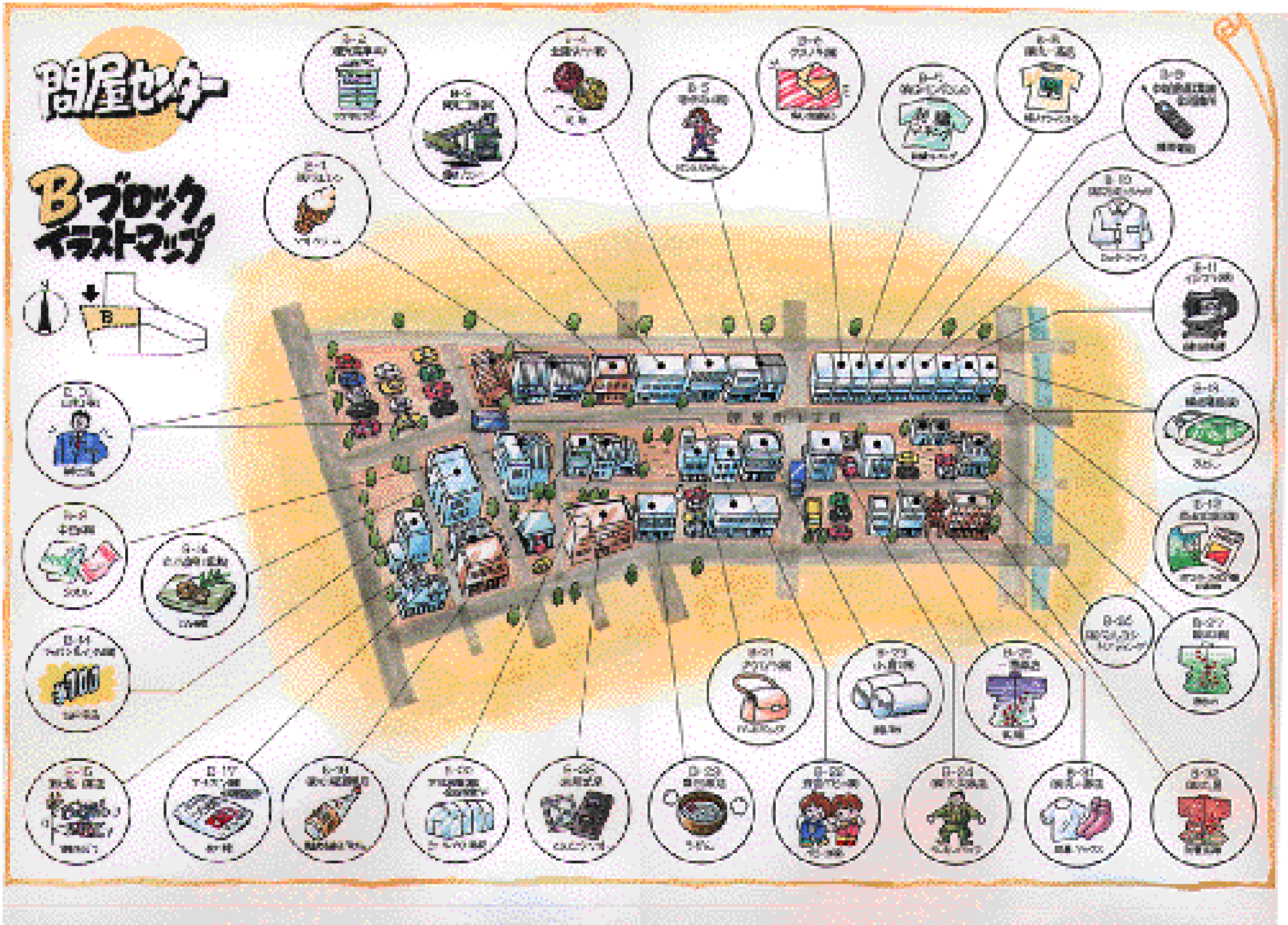
金沢市問屋町3丁目27番地1
TEL（076）238-5308

①飯山輝雄
②2,000万円
③川鉄建材（株）の販売指定施工店・
販売商品名＝川建メタルビル（システム建築）

A－29

問屋センター

Bブロック イラストマップ



Bブロック

協同組合 金沢問屋センター組合員紹介

①代表者名　②資本金　③営業品目

イシワラ㈱

金沢市問屋町1丁目93番地
TEL（076）221-0025

①田口弘勝
②1,000万円
③包装資材及び荷造機械

B－11

㈲マツモトシャツ

金沢市問屋町1丁目95番地
TTEL（076）237-5354

①松本光也
②500万円
③カッターシャツ・カジュアルシャツ・ジャケット・スラックス・セーター・ブルゾン

B－10

中央自動車工業㈱ 金沢営業所

金沢市問屋町1丁目96番地
TEL（076）237-6561

①福辻道夫　所長／土屋英行
②10億100万円
③自動車部品、用品の総合卸並びに輸出入と移動体通信事業全般

B－9

東和工業㈱

金沢市問屋町1丁目110番地
TEL（076）237-6181

①南川善宏
②4,000万円
③骨材・生コン製造設備、公害防止・産業廃棄物処理設備の設計施工

B－3

北陸ダイヤ㈱

金沢市問屋町1丁目109番地2
TEL（076）237-5165

①原　功
②1,125万円
③ダイヤモンド毛糸・ダイヤ編針・ダイヤαプラチナ下着・婦人製品

B－4

㈱マルシン

金沢市問屋町1丁目113番地
TEL（076）237-4611

①丸岡信一
②1,600万円
③洋食、中華を主体とした業務用の食材全般及び関連機材の販売

A－24　B－1

織田寝具㈱

金沢市問屋町1丁目88番地
TEL（076）237-4535

①織田和弘
②2,000万円
③北陸で唯一、羽毛、羊毛、木綿わたまで一貫生産する寝具製造卸企業です。

B－13

ジャパンプレミアム㈱

金沢市問屋町1丁目36番地
TEL（076）237-7744

①池端　達
②1,000万円
③低価格景品類の企画開発大卸・百円業界向商品の企画製造大卸・輸出入

B－14

尚和印刷㈱

金沢市問屋町1丁目90番地
TEL（076）237-8171

①松村克雄
②1,200万円
③ダイレクトメール・ポスター・包装紙・出版物・カタログ

B－12

㈲ネーミングこしの

金沢市問屋町1丁目101番地
TEL（076）237-7501

①越野　勉
②300万円
③総合電子刺繍・金モールエンブレム・別注刺繍ワッペン・圧着マーキング

B－7

クスノキ㈱

金沢市問屋町1丁目103番地
TEL（076）237-8561

①楠　幸雄
②1,000万円
③洋紙・包装用紙・包装資材・ケース類・透明フィルム・加工販売

B－6

多田与㈱

金沢市問屋町1丁目108番地
TEL（076）237-7251

①多田利明
②1,000万円
③レディースファッション

B－5

Bブロック

協同組合　金沢問屋センター組合員紹介

①代表者名　②資本金　③営業品目

(有)マルヨシトレーディング

金沢市問屋町1丁目85番地
TEL（076）237-6063

①宮　美佐子
②300万円

B - 26

岡本㈱

金沢市問屋町1丁目87番地
TEL（076）237-4561

①岡本　進
②1,000万円
③加賀友禅・京友禅・西陣袋帯・和装小物

B - 27

斉田ベビー㈱

金沢市問屋町1丁目80番地
TEL（076）237-4441

①斉田泰吉
②1,000万円
③ベビー用品・アウター類・新生児類・寝具類・ひな人形・五月人形

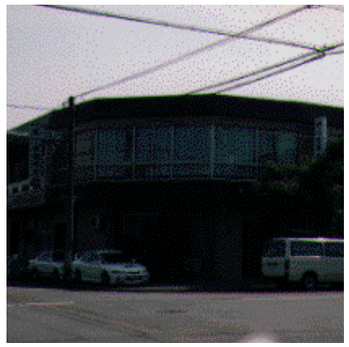
B - 22

㈱大沢商店

金沢市問屋町1丁目82番地
TEL（076）237-6425

①大沢忠之
②1,000万円
③ワーキングウエア・防寒服・紳士カジュアルウエア

B - 24



小倉㈱

金沢市問屋町1丁目81番地
TEL（076）238-6226

①小倉外志朗
②1,000万円
③化合繊の原糸及び織物

B - 23

一恵商店

金沢市問屋町1丁目83番地
TEL（076）237-6351

①坂川栄一
③高級呉服・ 加賀友禅・和装小物

B - 25

中西㈱

金沢市問屋町1丁目74番地
TEL（076）232-1151

①中西弘信
②2,400万円
③タオル・寝装品ギフト・入浴剤ギフト・ノベルティ商品製造卸

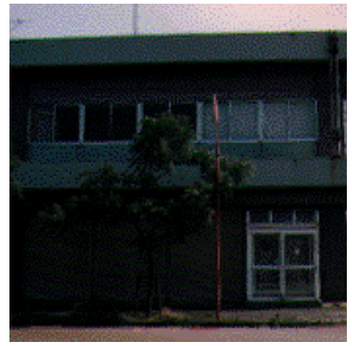
B - 18

太洋興業㈱金沢営業所

金沢市問屋町1丁目76番地
TEL（076）237-7531

①中村哲雄　所長／後藤祥司
②9億1,582万5千円
③農業用資材､包装資材の加工販売　土木・建設資材の販売

B - 20



㈱小堀酒造店

金沢市問屋町1丁目75番地
TEL（07619）3-1171

①小堀幸穂
②2,500万円
③清酒萬歳楽・加賀梅酒・霊梅酒・霊芝入キャンディ「梅の実」などの製造販売

B - 19

タケムラ㈱

金沢市問屋町1丁目79番地
TEL（076）239-1133

①竹村信一
②1,000万円
③婦人用バッグ・ビジネス用鞄・ランドセル・財布など鞄類全般

B - 21

丸西食品工業㈱

金沢市問屋町1丁目38番地
TEL（076）237-5141

①西谷憲三
②2,500万円
③佃煮・惣菜・漬物・珍味・金沢名産品・ごり佃煮・くるみ煮・かぶら寿司

B - 16

カナカン㈱金糖営業所

金沢市問屋町1丁目41番地
TEL（076）237-5125

①角間俊夫　所長/二口光雄
②4億円
③砂糖・小麦粉・油脂・澱粉・乳製品など製菓、製パン材料卸売業

B - 17

Bブロック

協同組合 金沢問屋センター組合員紹介

①代表者名　②資本金　③営業品目

山和㈱

金沢市問屋町1丁目66番地
TEL（076）237-8161

①宗廣満夫
②3,000万円
③紳士スーツ、礼服、ブレザー、コート、スラックス・洋品・イージーオーダー

D－14　B－30

㈱星光堂北陸営業所

金沢市問屋町1丁目71番地
TEL（076）238-5210

①飯原　茂　所長／望月佐知也
②2,400万円
③CD・ビデオソフト・ミュージックテープ・ゲームソフト・他

B－28

齊田商店

金沢市問屋町1丁目70番地
TEL（076）237-5958

①齊田八平
②1,000万円
③うどん・そば・丼物

B－29

問屋神社

㈱丸昌

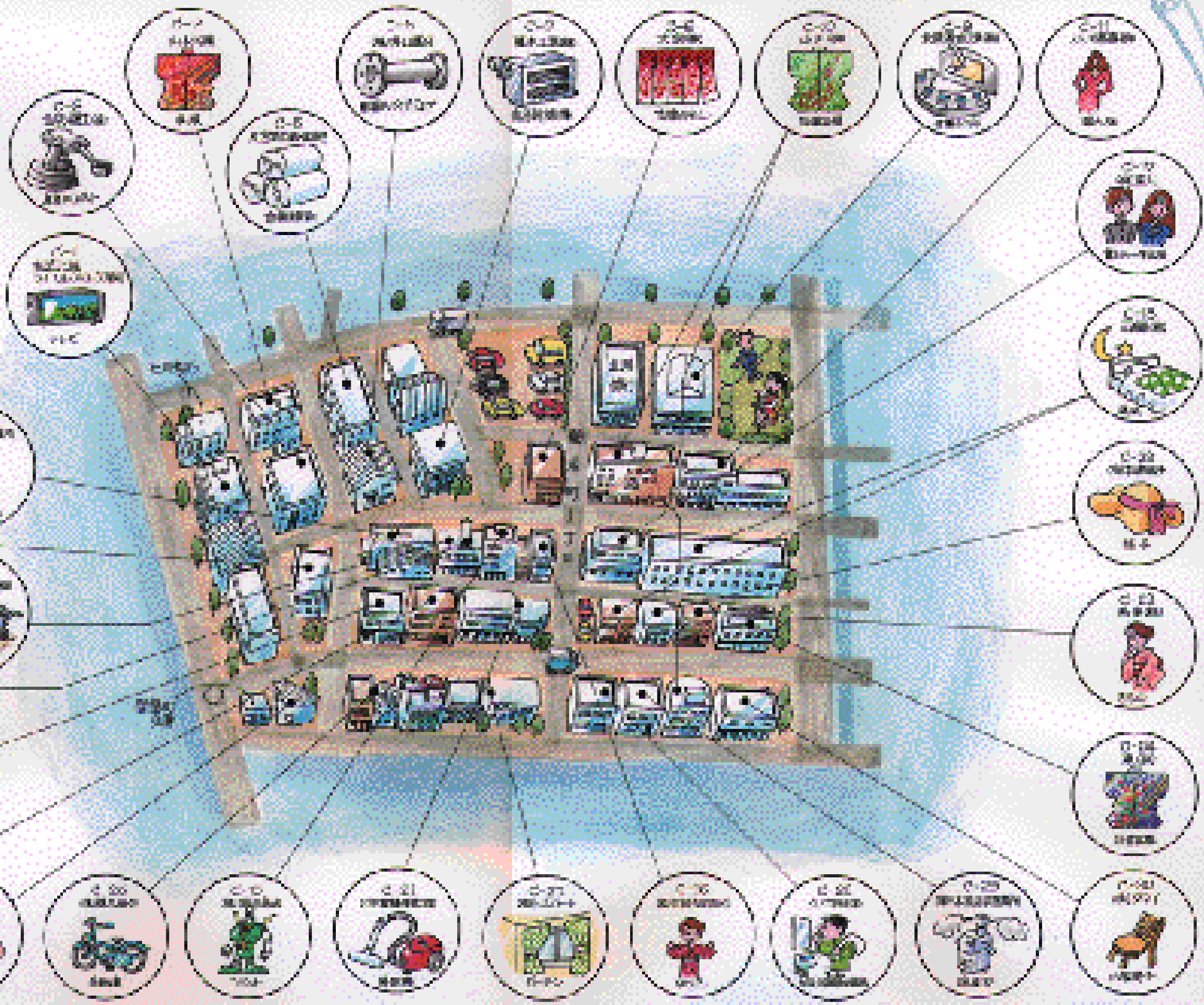
金沢市問屋町1丁目62番地
TEL（076）237-8541

①来馬達也
②4,000万円
③加賀友禅・京染呉服・西陣織物・和装小物・寝装寝具

B－32

問屋センター

dブロック イラストマップ



Cブロック

協同組合 金沢問屋センター組合員紹介

①代表者名　②資本金　③営業品目

大宗㈱
金沢市問屋町1丁目51番地
TEL（076）237-2221

①大西憲治
②2,500万円
③加賀友禅･染加工一式･宝石･寝装寝具･インテリア用品･玩具･袋物損害保険代理店

C - 8

北陸通信工業㈱
金沢市問屋町1丁目57番地
TEL（076）238-1111

①辰川伸一
②63,588千円
③OA機器の販売、ソフト開発、情報通信、映像音響システムの構築

C - 9

藤木工業㈱
金沢市問屋町1丁目50番地
TEL（076）237-5445

①藤木顕世
②2,000万円
③食品乾燥機 ･魚類乾燥機 ･塗料焼付乾燥炉など各種乾燥装置

C - 7

金沢機工㈱
金沢市問屋町1丁目44番地
TEL（076）266-8001

①井上三郎
②5,120万円
③CNC自動工作機械･補要機器・搬送システム･切削、測定工具･セラミック部品

C - 3

山村㈱
金沢市問屋町1丁目42番地
TEL（076）237-6311

①山村英一
②1,000万円
③高級呉服から和装小物まで日本の伝統を明日に伝える呉服一般

C - 2

東芝北陸ライフエレクトロニクス㈱
金沢市問屋町1丁目30番地
TEL（076）237-1111

①石田昌吉
②1億円
③エアコン、テレビ、冷蔵庫、パソコン、ワープロなどの東芝の家電製品卸

C - 1

小川商事㈱
金沢市問屋町1丁目59番地
TEL（076）237-4646

①小川榮一
②3,500万円
③婦人服･洋品･各種ユニフォーム･宝飾品･貴金属

C - 11

山之内㈱北陸営業所
金沢市問屋町1丁目25番地
TEL（076）238-6540

①山内高嘉　所長／指原浩一
②1億円
③食品製造業者の方々に調味料、添加物のご提案及び食品の分析業務

C - 12

小川㈱
金沢市問屋町1丁目58番地
TEL（076）237-5678

①小川甚次郎
②7,200万円
③加賀友禅･せせらぎ･着物全般･宝飾･寝装・プレタ･バッグ他

C - 10

㈱井口商店
金沢市問屋町1丁目45番地
TEL（076）237-7414

①井口伸一郎
②1,480万円
③配管用パイプ、継手、バルブの販売及び各種加工

C - 6

丸宮商工㈱金沢店
金沢市問屋町1丁目47番地
TEL（076）237-8711

①宮本善司
②3,600万円
③合繊織物＆合繊編物の総合卸及び輸出

C - 5

サンデン㈱北陸支店
金沢市問屋町1丁目26番地1
TEL（076）237-8155

①牛久保雅美　支店長／茂木一幸
②110億円
③冷凍冷蔵ショーケース･自動販売機･店舗設備･住宅空調

C - 4

①代表者名　②資本金　③営業品目

糸生㈱
金沢市問屋町1丁目16番地
TEL（076）238-8808

①小阪邦弘
②4,800万円
③高級呉服･寝装品･ギフト･婦人服･宝石貴金属･冠婚葬祭全般アドバイザー

C - 23

㈱たなかや
金沢市問屋町1丁目9番地
TEL（076）237-5304

①田中清隆
②1,200万円
③タオル･ギフト･ユニフォーム　スポーツウエア･リネン用品

A - 6　C - 19

泰和ゴム興業㈱
金沢市問屋町1丁目10番地
TEL（076）237-5661

①藤木民子
②1,000万円
③高圧ホース･工業用ゴム･樹脂製品･寝装インテリア用品･ゴルフ用品

C - 20

北村電機産業㈱
金沢市問屋町1丁目11番地
TEL（076）237-4003

①北村武司
②4,800万円
③住宅電気、産業、OA、エレベーターなど設備機器類･家電商品全般

E - 29　C - 21

東㈱
金沢市問屋町1丁目17番地
TEL（076）237-8131

①東　清
②5,000万円
③加賀友禅･呉服･宝石･毛皮･バッグ･フォーマルウエア

C - 24

㈲中嶋帽子
金沢市問屋町1丁目15番地
TEL（076）237-5465

①中嶋正治
②300万円
③帽子製造、卸業

C - 22

㈱堀川商店
金沢市問屋町1丁目23番地
TEL（076）237-5761

①堀川善昭
②2,800万円
③玩具･人形･民芸品･節句品･育児用品･ベビー衣料

B - 15　C - 15

㈱室七
金沢市問屋町1丁目21番地
TEL（076）237-4101

①室　七蔵
②1,200万円
③富士ヨット学生衣料･グンゼ･コーカン･トミヤアパレル

C - 17

㈱北陸衣料商会
金沢市問屋町1丁目22番地
TEL（076）237-4055

①中村紀夫
②1,000万円
③旅館、ホテルなど宿泊施設への業務用衣料、寝具卸販売

C - 16

石繊㈱
金沢市問屋町1丁目18番地
TEL（076）237-5151

①山田治作
②4,950万円
③加賀友禅･和装･寝装･アパレルナイティ･ホームファニシング

C - 18

中西産業㈱
金沢市問屋町1丁目24番地2
TEL（076）237-1118

①中西藤夫
②2,000万円
③建築用板硝子・サッシ・シャッター・パーテイション・住設機器

C - 14

中西セメント商事㈱
金沢市問屋町1丁目24番地1
TEL（076）237-5600

①中西千賀男
②1,500万円
③各種セメント販売･セメント系建材の販売、施工･杭打工事･地盤改良工事

C - 13

Cブロック

協同組合　金沢問屋センター組合員紹介

①代表者名　②資本金　③営業品目

㈱八木熊金沢営業所

金沢市問屋町1丁目3番地
TEL（076）237-6888

①八木熊吉　　所長/伴　正宏
②2,538万円
③化学製品卸売業･繊維用経糸薬剤･合成樹脂・焼却炉ほか

C - 29

㈱モードラサ　クリード事業部

金沢市問屋町1丁目27番地1
TEL（076）237-6121

①佐々木聰二郎　事業部長/小野健治
②3,000万円
③婦人洋品衣料･セーター･カットソー

C - 25

㈱橋爪商会

金沢市問屋町1丁目8番地
TEL（076）237-4621

①橋爪弥寿雄
②1,700万円
③いま話題の電動自転車、オーダー車、MTB車、子供車全般

C - 26

久江田㈱

金沢市問屋町1丁目4番地
TEL（076）237-5575

①久江田義久
②2,000万円
③タオル･ギフト用品全般･繊維製品･ホテル、旅館用必需品

C - 28

㈱タマイ

金沢市問屋町1丁目1番地
TEL（076）237-7070

①玉井利明
②1,000万円
③木製家具･オフィス業務用家具・家内装飾品･屋外家具･遊具

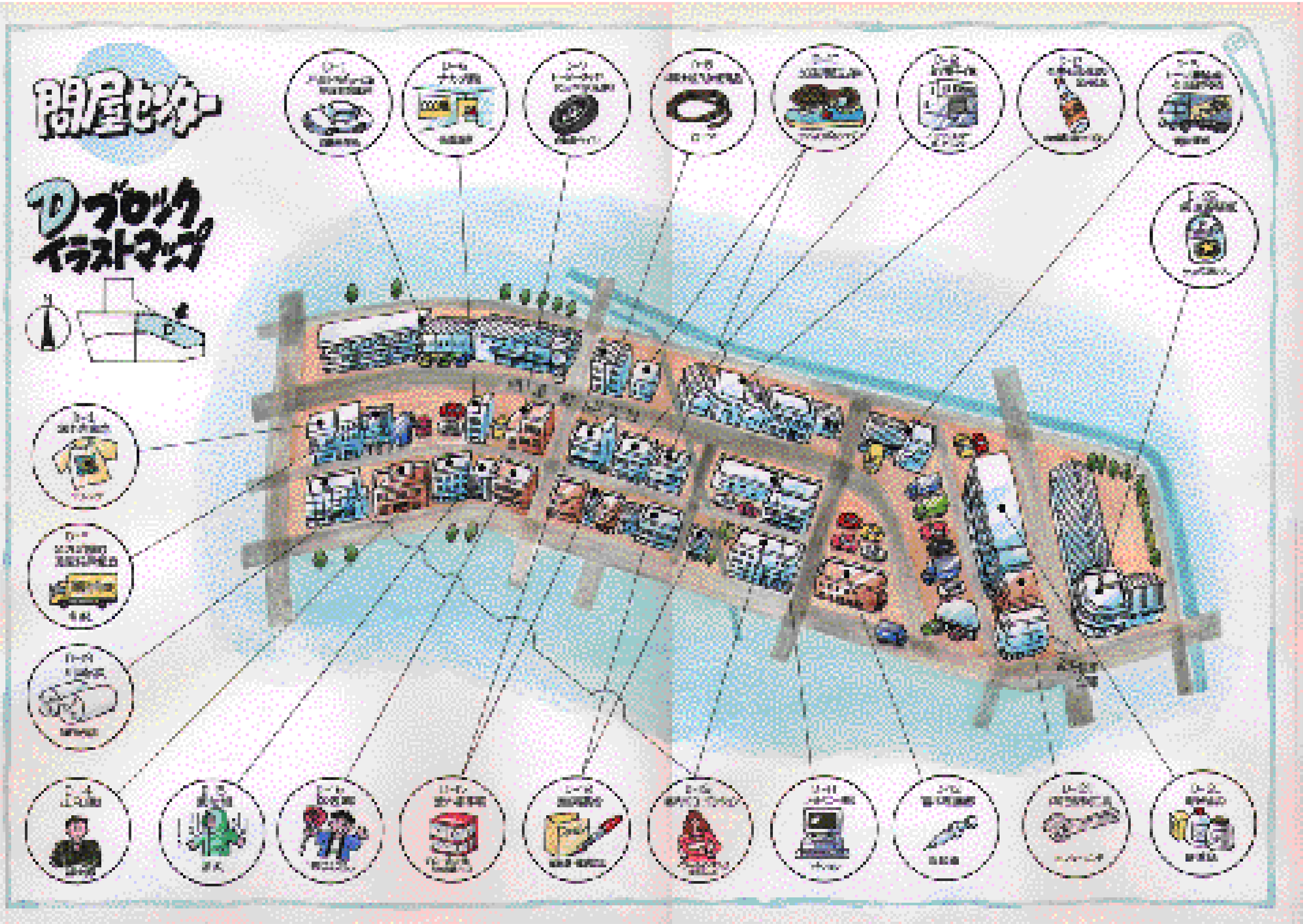
C - 30

㈱トルハート

金沢市問屋町1丁目7番地
TEL（076）237-6821

①下道外男
②5,000万円
③カーテン･カーペット･クロス･ブラインド･床材･室内装飾資材･その他

C - 27


問屋センター
Dブロック
イラストマップ

Dブロック

協同組合 金沢問屋センター組合員紹介

①代表者名　②資本金　③営業品目

フィドニー㈱

金沢市問屋2丁目102番地
TEL（076）237-0594

①矢部嶺男
②3,000万円
③オフィス関連家具･OA機器･文具・紙製品･包装機器･資材･業務用家庭紙

D - 11

トーヨータイヤ北日本販売㈱

金沢市問屋2丁目97番地
TEL（076）237-5351

①江渕　豊
②4,000万円
③自動車タイヤ･ホイール

D - 7

トナミ運輸㈱ 金沢航空支店

金沢市問屋町2丁目78番地
TEL（076）238-6088

①南　義弘　支店長/小川克昭
②141億円
③貨物自動車運送事業･貨物運送取扱運送事業･利用航空業･国内国際航空輸送

D - 3

石川トヨペット㈱ 問屋町営業所

金沢市問屋町2丁目110番地
TEL（076）237-2300

①要明英二　所長/新出徳夫
②1億3,000万円
③自動車販売･自動車整備･損害保険代理店･通信事業

D - 1

新電子㈱

金沢市問屋町2丁目99番地
TEL（0422）31-2987

①寿時龍太郎
②1,950万円
③インサーキットボードテスター　マイクロコンピュータ応用装置、設計開発

D - 9

㈱土谷九兵衛商店

金沢市問屋2丁目98番地
TEL（076）237-5535

①土谷　守
②2,000万円
③ワイヤロープ･繊維ロープ･安全用品･包装資材･清掃用品･緑化資材

A - 30　D - 8

ナカダ㈱

金沢市問屋町2丁目96番地
TEL（076）237-5055

①中田外義
②2,000万円
③展示企画・会場設計・設営ディスプレイ・POPサイン・店舗施工・エキシビジョン

D - 6

金沢問屋町急便協同組合

金沢問屋町2丁目93番地
TEL（076）237-4438

①谷内山信彦
②325万円
③商業宅配を中心に即日配達を実施しています

D - 5

川崎㈱

金沢市問屋町2丁目88番地
TEL（076）237-5231

①川崎　晃
②1,500万円
③輸出及び内地向各種織物

D - 13

加陽月星ゴム㈱

金沢市問屋町2丁目100番地
TEL（076）237-7021

①竹内重則
②1,000万円
③月星（ゴム靴･布靴･革靴）スターレックス･コンバース･ニューバランス

D - 10

㈱丸吉商店

金沢市問屋町2丁目91番地
TEL（076）237-6063

①宮　宣雄
②1,000万円
③婦人服(ブラウス・Tシャツ･セーター･パンツ)

D - 4

百萬石酒造㈱ 金沢支店

金沢市問屋町2丁目105番地
TEL（076）237-6565

①西村泰彦　支店長/市野重信
②5,000万円
③清酒（沢の鶴および百萬石関係商品)･食品（奈良漬･酒粕･杜仲茶）

D - 2

Dブロック

協同組合 金沢問屋センター組合員紹介

①代表者名　②資本金　③営業品目

須田酒販㈱

金沢市問屋2丁目5番地
TEL（076）237-5511

①金津満喜
②1,000万円
③サッポロビール・サントリー・和洋酒・飲料水

D - 22

㈲吉野利工具

金沢市問屋町2丁目13番地
TEL（076）237-6101

①吉野竹英
②300万円
③電動工具・作業工具・切削工具・土木用品・建築金物・園芸用品

D - 21

荒木商事㈱

金沢市問屋町2丁目84番地
TEL（076）237-7333

①荒木　徹
②3,800万円
③家庭でディリーに使用する家庭用品（清掃・洗濯など）のホールセラーです

D - 17

㈱寿商会

金沢市問屋町2丁目82番地
TEL（076）237-6266

①若林智雄
②1,800万円
③代理店／シャープ・カシオ・東芝・ミノルタ・キングジム・ゼブラ・マックス・事務用品・OA機器

D - 18

㈱前垣

金沢市問屋町2丁目86番地
TEL（076）241-7201

①前垣内照三
②4,800万円
③雨の日の快適さを追求、多用途な雨衣づくり

D - 15

明希㈱

金沢市問屋町2丁目10番地
TEL（076）266-4141

①石黒裕明
②2億円
③医薬品一般

D - 20

㈱ヤギコーポレーション

金沢市問屋町2丁目80番地
TEL（076）237-1122

①八木孝男
②26億4,185万円
③ファッションユニフォームの企画・販売

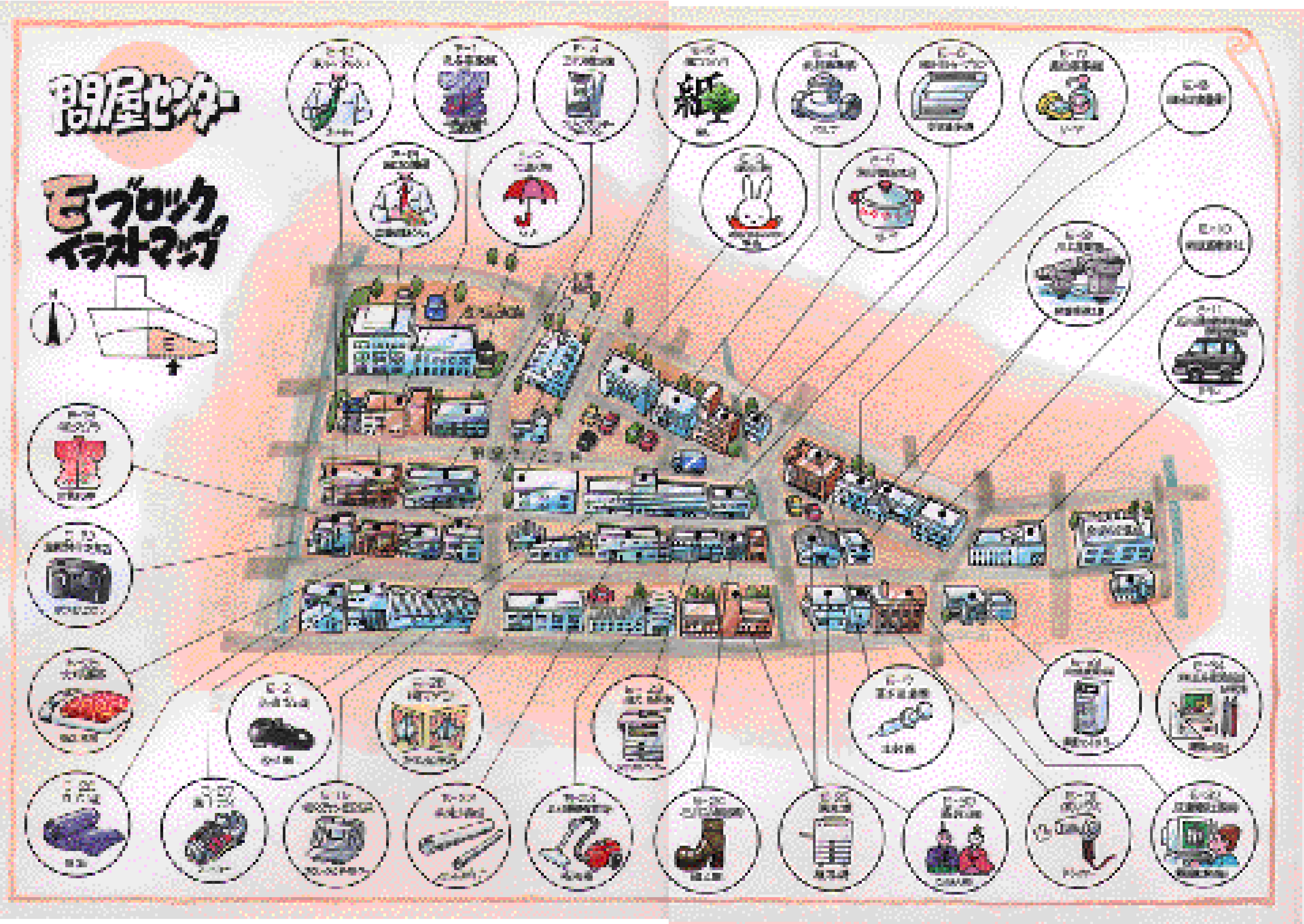
D - 19

森佐㈱

金沢市問屋町2丁目85番地
TEL（076）237-8888

①森　昭夫
②1,000万円
③綿布・染・加工品・祭用品・祭衣装旗・幕・のぼり・ベビーライフ用品・寝具・婦人洋品・ユニフォーム

E - 30　D - 16


問屋センター
Eブロック
イラストマップ

Eブロック

協同組合 金沢問屋センター組合員紹介

①代表者名　②資本金　③営業品目

石川日産自動車販売㈱ 問屋町営業所

金沢市問屋町2丁目15番地
TEL（076）237-4191

①羽柴弘祐　　所長/波佐谷義尚
②7,000万円
③日産最高級車プレジデントから大衆車マーチまで30車種の取扱い

E－11

冨木医療器㈱

金沢市問屋町2丁目46番地
TEL（076）237-5555

①冨木昭光
②9,600万円
③医療器械・理化学機器・衛生材料・医事用コンピュータ・計量器

D－12　E－7

㈱川助

金沢市問屋町2丁目70番地
TEL（076）237-5255

①川端嘉平
②1,000万円
③日用品・化粧用小物・FANCY雑貨

E－3

丸与商事㈱

金沢市問屋町2丁目60番地
TEL（076）237-6111

①石山外司郎
②6,000万円
③加賀友禅・現代のきもの特選呉服・婦人服・ジュエリー・ブライダル寝具

E－1

㈱武蔵電業社

金沢市問屋町2丁目43番地
TEL（076）238-3341

①柚木国香
②1,000万円

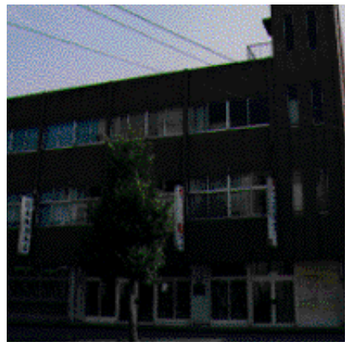
E－10

川上産業㈱

金沢市問屋町2丁目44番地
TEL（076）237-7361

①川上嘉一
②1,000万円
③肥料、セメント、建材販売・耐震補強工事・地盤改良工事

E－9



㈱小鍛冶本店

金沢市問屋町2丁目72番地
TEL（076）237-6415

①今井豊造
②1,000万円
③家庭金物・建築金物・土木工具・釘・針金・度量衡・水道用具

E－5

北日商事㈱

金沢市問屋町2丁目71番地
TEL（076）237-5501

①大田祐一
②2,400万円
③工業用ゴム・プラスチック製品・配管、土木資材

E－4

㈱アイネックス

金沢市問屋町2丁目58番地
TEL（076）237-4411

①伊藤淳蔵
②2,000万円
③ネクタイ（ライセンス・インポート・PBブランド)及びメンズグッズ

E－12

㈱金沢度量衡

金沢市問屋町2丁目45番地
TEL（076）267-4888

①玉田善明
②1,000万円

E－8

㈱トミショープラン

金沢市問屋町2丁目73番地
TEL（076）239-0555

①冨木昭光
②1,000万円
③『人と環境の健康』をコンセプトとして『空気』と『水』の関連商品施工・販売

E－6

北島㈱

金沢市問屋町2丁目64番地
TEL（076）237-4336

①北嶋浩成
②1,000万円
③洋傘・スカーフ・マフラー・毛皮・雨衣・医薬品

E－2

Eブロック

協同組合 金沢問屋センター組合員紹介

①代表者名　②資本金　③営業品目

弘進ゴム㈱

金沢市問屋町2丁目35番地
TEL（076）237-4541

①今井　仁
②1,000万円
③長靴・手袋・地下たび・合羽・布靴・革靴（土木・農作業・炊事・釣用・安全・スパイク他）

E－21

大坪商事

金沢市問屋町2丁目33番地
TEL（076）237-7011

①大坪顕伸
③寝装品・ヴァレンチノ・オーランディ・婚礼布団・綿毛布・こたつ掛・布団

E－20

㈱樫村金沢支店

金沢市問屋町2丁目32番地
TEL（076）237-5221

①浅田富彦　支店長/幸前吉藏
②4億5,000万円
③映像ハードウェアの各種製品から映像ソフトウエアまで25万点にのぼります

E－19

エイワ機工㈱

金沢市問屋町2丁目54番地
TEL（076）237-8851

①永尾　治
②3,000万円
③産業用空調機、加湿器の製造販売

E－14

㈱コシハラ

金沢市問屋町2丁目53番地
TEL（076）237-8181

①越原悠三
②1,800万円
③印刷用紙・情報関連用紙・包装資材及び機器・和紙・文具紙製品・家庭用紙

E－15

㈱加賀絹

金沢市問屋町2丁目58番地
TEL（076）237-8261

①伊藤淳蔵
②3,000万円
③加賀友禅／ネクタイ・和装工芸小物・財貨物・風呂敷・卓布・のれん・呉服

E－13

㈱東山商会

金沢市問屋町2丁目37番地
TEL（076）237-8151

①道上成光
②1,700万円
③引抜鋼管・機械構造用鋼管・ステンレスパイプ・アルミ合金型材・溶接棒

E－22

石川ゴム製品㈱

金沢市問屋町2丁目39番地
TEL（076）237-7233

①堀江一雄
②1,000万円
③アキレス、スポーツマドラス代理店・婦人靴

E－24

理光商事㈱

金沢市問屋町2丁目38番地
TEL（076）237- 4455

①田川孝三
②1,000万円
③リコーOA機器の販売及びメンテナンス

B－2　E－23

㈱タムラ

金沢市問屋町2丁目31番地
TEL（076）237-6366

①田村憲司
②2,500万円
③加賀友禅・和装呉服・婦人服・舶来品

E－18

島田商事㈱

金沢市問屋町2丁目49番地
TEL（076）237-4344

①島田良造
②1,000万円
③ソープ・入浴剤・洗剤ギフト・化粧品・香り・ヘアケア・ヘアカラー・ティッシュ

E－17

㈱スズケン 金沢支店

金沢市問屋町2丁目50番地
TEL（076）237-7171

①別所芳樹　支店長/増井史郎
②85億5,300万円
③医薬品・診断薬・医療機器・医療材料・薬粧品・動物薬・医療食品

E－16

Eブロック

協同組合 金沢問屋センター組合員紹介

①代表者名　②資本金　③営業品目

㈱五井建築設計研究所

金沢市問屋町2丁目1番地
TEL（076）237-8441

①新村利夫
②1,000万円
③建築の設計及び監理などのコンサルタントです

E－34

同信産業㈱金沢営業所

金沢市問屋町2丁目16番地
TEL（076）237-5611

①早川須恵夫　所長／浅谷　茂
②4,950万円
③空調機器・油空圧機器・電子部品及びシステム・環境機器システム・伝道機器

E－33

成瀬電気工事㈱

金沢市問屋町2丁目17番地
TEL（076）237-4181

①成瀬　巖
②8,800万円
③電気設備工事の設計施工からメンテナンスまで総合的に対応します

E－32

丸六㈱

金沢市問屋町2丁目30番地
TEL（076）237-0601

①篠原　勉
②4,000万円
③加賀友禅、高級呉服、洋品の卸・小売店活性化システム提案

A－19　E－26

㈱ナガイ

金沢市問屋町2丁目29番地
TEL（076）237-5100

①永井外志明
②2,000万円
③靴・スニーカー・サンダル

E－27

㈱丸菱

金沢市問屋町2丁目20番地
TEL（076）237-8811

①米浜俊一
②4,000万円
③OA機器・オフィス家具・測量機器などの販売及びアフターサービス

E－25

㈲ノワキ

金沢市問屋町2丁目18番地
TEL（076）237-5201

①野脇　功
②500万円
③理容椅子・器具・業務用化粧品（理美容用）

E－31

㈱マツモト

金沢市問屋町2丁目25番地
TEL（076）237-5626

①岡本輝明
②4,800万円
③壁紙・カーテン・ジュータン・ブラインド・襖紙・和紙・掛軸

E－28

コンクリート工事　（４２年２月）　⇒

●前理事長

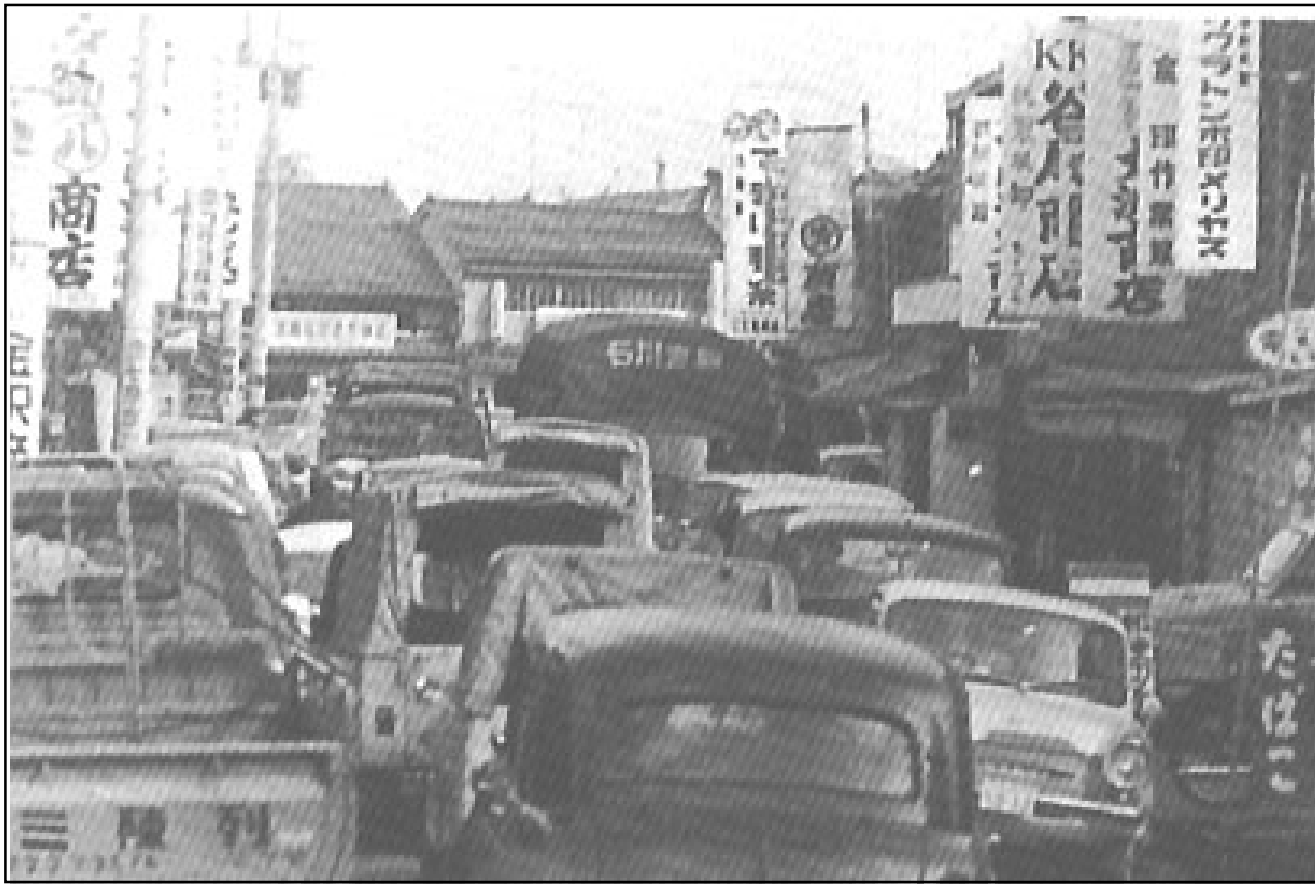
越原哲郎／Tetsurou Koshihara

⇒

晴れやかに問屋センター完成式を祝う組合員とその従業員ら

⇒

⇒



問屋センターができる前の
旧鍛冶片原町。

⇒

●参与

金子哲夫／Tetsuo Kaneko

⇒

研修室＜視聴覚室＞
（４階・１１２室）

●前相談役理事

荒木 登／Noboru Araki

⇒

●副理事長

高桑健治／Kenji Takakuwa

⇒

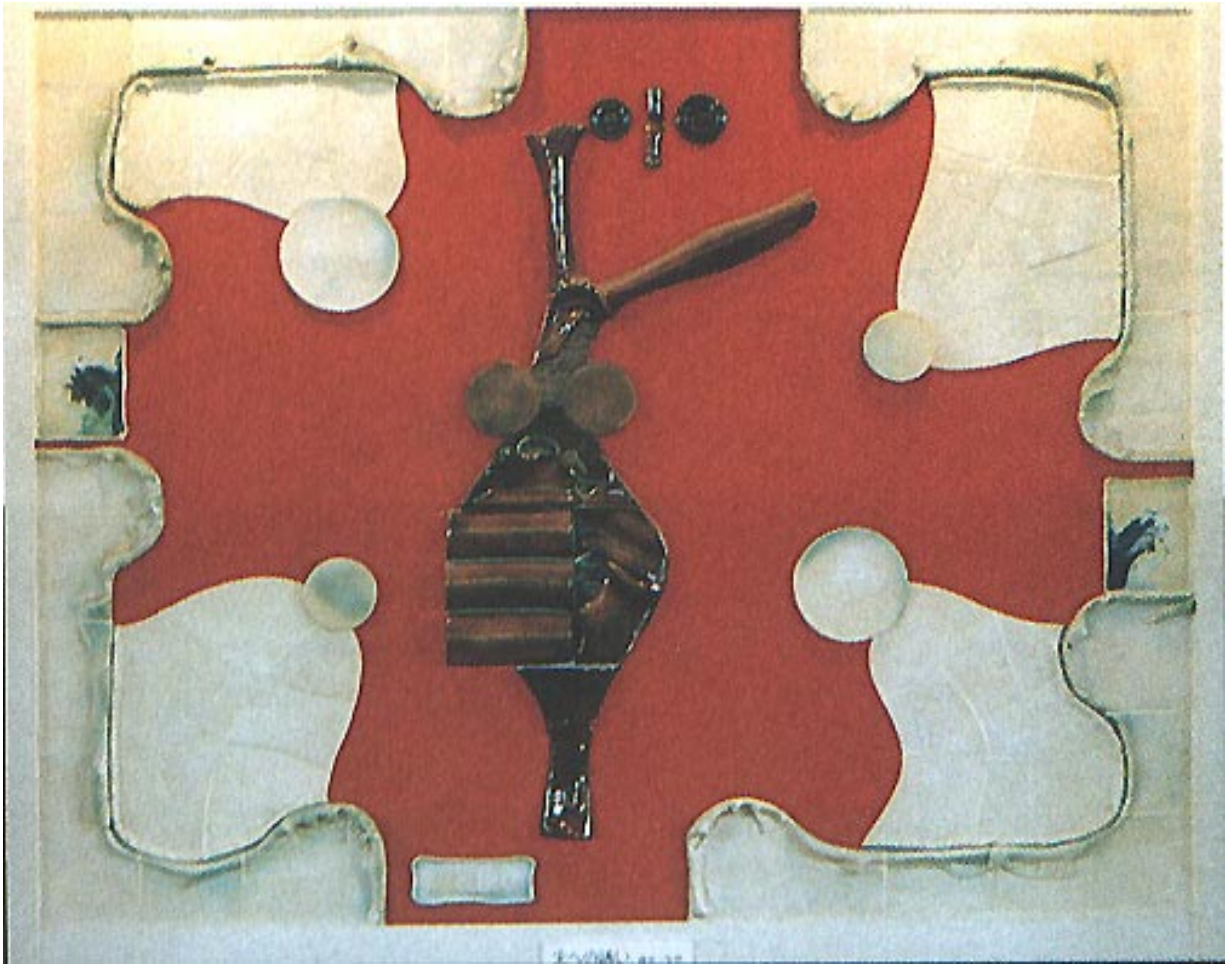
●司会

若林智雄／Tomoo Wakabayashi

1938 年生まれ　　株式会社 寿商会 社長

金沢問屋センター理事

⇒



タイトル

「朱への誘い」

●作者／高光一生（陶芸家）

金沢流通会館ホワイエ・陶版

⇒

●理事長

宗廣満夫／Mitsuo Munehiro

⇒

小ホール
（2 階・121 坪）

タイトル　　●作者／高光一也（画家）

「赤い屋根の見える風景」

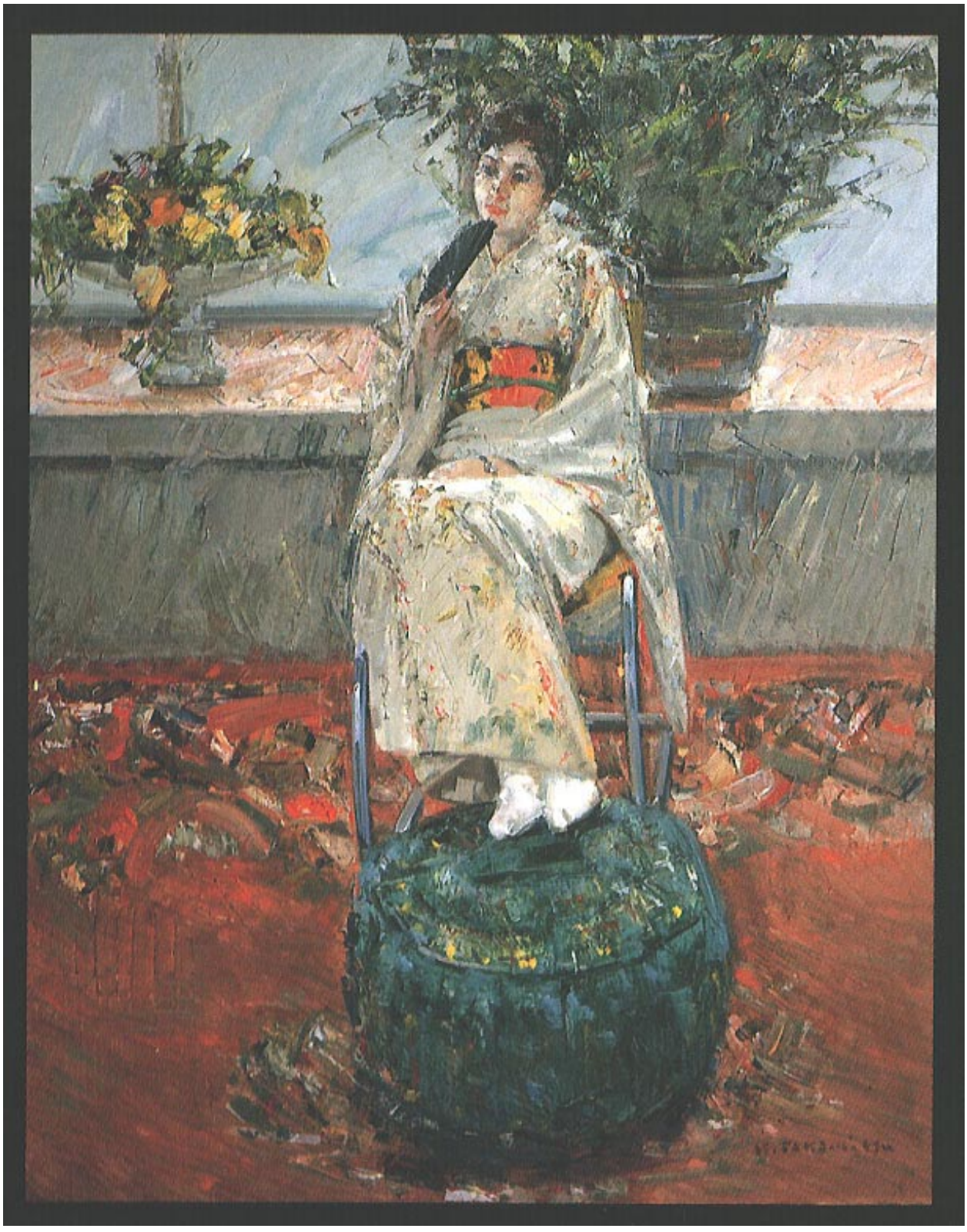
金沢流通会館・応接室

⇒

大ホール･パルス
（１階・３５０坪）

談話室

（４階・２８席）⇒



タイトル

「婦人座像」

●作者／高光一也（画家）

金沢流通会館・役員会議室

⇒

役員会議室

（3階・４４席）

タイトル
「和」

●作者／小川甚次郎　（元理事長）
金沢流通会館・応接室

⇒

和　室
（４階・２７畳敷）

太坪商事

SUZUKEN

N ナカイ

株式会社ノワキ

NISSAN
ブルーバード
ローレル
NISSAN

島田商事株式会社

DOSHIN

TOMEI Medical Instruments

日交観トラベル

丸千商事株式会社

株式会社

寿商会
寿商会

YAGI

TOYO TIRE
TOYO TIRE
トーヨータイヤ

新電子
株式
会社

土谷ローズ
土谷ローズ

トナミ運輸
TONAMI

丸吉旅館

TOYOTA
TOYOPET
マークII
コロナ
コルサ
IN

Creed

富士自転車
FOR BABY

久江田株式会社

TANAKA

株式会社
堀川商店

七

北陸衣料商会
北陸衣料商会

中西セメント興業(株)

中西セメント販事
産業(株)

AOIMI

NACHI

SANDEN

株式会社
星光堂

なべうどん
そば・丼
おお福

大沢商店

中西株式会社

丸西食品工業 株式会社

カナカン株 企画室

商
マツモト

自動車部品製造
中央自動車工業株式

合和印刷株式会社

東和工業株式会社

㈱マルシン

(株)
こしの

㈱クスノキ

多田与株式会社

株式会社 丸一商店
アパレル卸商社

株式会社 貴協

岩崎株式会社

洋

アサヒ冷機

東洋精器工業㈱
金沢営業所
TOYOSEIKI

ASAHI

九

すまいる
南陽

Chaurraise

株式会社 キョーエイ